

の

達

人



紀田 & 松田の  
FAX交遊録

深遠なるアブルの精神に魅了された  
文芸評論家と前社長  
知の探索メディアとも書えるラックに彩られた  
彼らふたりの日常生活を  
三年間に及ぶFAX通信を通して綴る  
紀田&松田のラキントレジャーワールド

M

a

C

紀田順一郎  
+  
松田純一  
著



この本は一口に言って、パソコンユーザーに関する私的ドキュメントである。わたしたちは一九八五年冬から現在までの足かけ三年余、FAXによる手紙のやりとりをしてきた。文書とか書簡といった大袈裟なものではなく、気軽な「文字で書いたお喋り」である。毎日パソコンの話題を中心に、時には本や映画の話題、家族の消息にまで及ぶ。お互いに多忙な仕事を持ち、しかも時間のサイクルがずれがちな間柄として、FAXは合理的な手段であった。その結果、当たり前のことだが、お喋りの記録が残り、パソコンユーザーとしての日常がリアルタイムに記録されることになった。

パソコンの世界にいる者は誰でも、この世界の三年間が他の世界の十年以上に匹敵するという。絶え間ないハードウェアの進歩、ソフトウェアの更新、そしてパソコンというものに対する視点の変化など、三年前と現在とでは雲泥の相違というほかはない。このFAX書簡集は、内容的にいえばパソコン界の「戦中期」から「戦後」までの日々の推移を、Macという機種中心ではあるが、かなりの程度物語る結果となっていると思う。

無論はじめから公表を予期したものではないので、原文にはもつと頻繁に固有名詞が出てくるが、編集に当たって内容、形式、分量について若干の整理と統一をほどこした。本文中具体的な名前を挙げさせていただいた向きには、本書の趣旨があくまでもパソコンユーザーの日常生活の記録にあるということ、ご了承を願いたいと思う。

サミュエル・ジョンソンのことばに「年をとるにつれて新しい知己を作っていくかない人間は、必ず自分が取残された感じを味わうはずだ。君、人は自分の友情を絶えず補修せねば駄目だ」というのがある。本書の共著者である松田純一さんとの出会いは、わたしにとつてひとつの転機をなすものであった。いま技術評論社の理解を得て、こうした交友の記録が活字になることに、新たな感慨を覚えるものである。これからも友情の補修のために、MacとFAXが駆使されることであろう。メディアの真の意義が、人間関係の新しい展開にある、という認識のもとに……。

# Macの達人——紀田&松田のFAX交遊録

## 【目次】

- まえがき 紀田順一郎——3  
巻頭対談「FAXで語ろうMacの世界」——7  
FAX交遊録「一九八五年〜一九八七年のMacをめぐる冒険」——23

## 一九八五年

- 冬 ■ FAX通信、始まる ◆ 市販のワープロソフトに不満——24

## 一九八六年

- 一月 ■ 新年早々MacPlusの発表 ◆ 紀田、OA書齋の完成——29  
二月 ■ カラーラベルと蔵書票に凝る ◆ 松田、パソコンルームの模様替え——33  
    ● Mac COLUMN 1 「私が選んだMacのソフトBEST3」 紀田順一郎——44  
三月 ■ 大漢和辞典よもやま話 ◆ 松田、無停電電源装置を設置——46  
四月 ■ 飛び交うMacPlusの情報 ◆ 紀田&松田、山の上ホテルにて食事——52  
五月 ■ 漢字Talkは期待はずれ ◆ 好評の新一太郎——60  
    ● Mac COLUMN 2 「ウィンドウから見えるアメリカ」 松田純一——70

# 一九八七年

- 六月 ■ ハードディスクに不安 ◆ 秘技・松田式三色分解法の発見——72  
七月 ■ Mac Plus にアップデート完了 ◆ アップル・コンベンション開催——82  
    ● Mac COLUMN 3 「日本初のアップル・コンベンションの日」松田純一——93  
八月 ■ 米国製マニュアルのセンスに脱帽 ◆ 松田、演算星組を訪問——94  
九月 ■ MAC10で漢字Talkを使う！ ◆ 紀田、イメージライターII購入——102  
    ● Mac COLUMN 4 「Mac12の楽しみ」紀田順一郎——114  
十月 ■ 「MACワールド日本語版」が「MAC+」と改称 ◆ 神田に0ーショップオープン——116  
十一月 ■ 三原山大噴火 ◆ 紀田、ハードディスクMAC10購入——123  
十二月 ■ Mac用ペイントソフト続々登場 ◆ 紀田、演算星組に電脳手帳の企画案出す——131  
    ● Mac COLUMN 5 「Macに向く人、向かない人」紀田順一郎——142
- 
- 一月 ■ システム手帳のトレンド到来 ◆ Macの周辺機器に注目——144  
二月 ■ Mac SE、Mac IIの発表 ◆ 松田、NIFを訪問——153  
    ● Mac COLUMN 6 「それでも98から離れられず……」紀田順一郎——162  
三月 ■ エプソンの98互換機が話題に ◆ 演算星組のCG展示会開催——164  
四月 ■ 花子売上好調 ◆ Mac SEとレーザーライタの使い勝手に感激——170  
五月 ■ Mac II、各雑誌で評判 ◆ 松田、Mac用大型スクリーン購入——178  
    ● Mac COLUMN 7 「アップルフリークの素顔」松田純一——185  
六月 ■ 一太郎バージョンアップ ◆ 紀田、「本棚の本」にMacで作成した書齋の図を掲載——186

- 七月 ■ Mac II カラーモニタ、入荷遅れ気味 ◆ 松田、「SIGGRAPH'87」に参加——194
- Mac COLUMN 8 「SIGGRAPH'87 見学記とアメリカ」松田純一——202
- 八月 ■ Mac 用フルカラーソフト続々発表 ◆ 松田、ついに Mac II 入手——204
- 九月 ■ システム手帳セット STRIKER 発売 ◆ 噂の HyperCard を入手——213
- Mac COLUMN 9 「21世紀の Mac」紀田順一郎——222
- 十月 ■ 演算星組製 CYBERNOTE について出来 ◆ 紀田、Mac II 入手——224
- 十一月 ■ HyperCard 用スタックウエア入手 ◆ 秋葉原で人気の PC-286 L——231
- 十二月 ■ FAX 通信も早や二年目に突入 ◆ 松田、Mac Expop ツアー申し込む——238
- Mac COLUMN 10 「Macintosh II とカラー動向」松田純一——246

編集部が覗いた紀田&松田のパソコンルーム——248

Mac 年表——252

あとがき 松田純一——254

装丁 カバー・表紙 坂井哲也デザイン室

■ 脚注に(紀)とあるのは紀田順一郎(松)は松田純一によるコメント。それ以外は編集部による。(協力: Mac Japan 編集部)

巻頭対談

FAXで語ろう

Macの世界

紀田順一郎×松田純一

## Appleに始まるパソコン遍歴

——まず、お二人のパソコン歴を伺いたいのですが。

紀田●そうですね、今から七年前、PC-88が出る直前くらいに、義弟が長期単身赴任するというので、虎の子のApple IIを一式貸してくれたんです。それまではパソコンとは無縁だったのですが、それ以来Appleに病みつきになってしまってます。ただ、商社に勤めていた頃は、貿易実務のかたわらファイリングを担当していたので、情報整理には興味を持っていました。だからパソコンを使い始めた理由も、みんなが言うようにワープロを使いたかったというのではなくて、情報整理に利用したいというのがハナからあったんです。

松田●しかしそのころのAppleは、漢字は出ないし、カナも出ない……。情報整理をやるために、というのはずいぶんと珍しい取り組み方だったんでしょね。

紀田●ええ、はじめは洋書や洋画のコレクションのデータベースを作っていたから漢字は不要だったんです。そのうち独立して、自分の本の執筆管理やスケジュール管理、日本語の本の整理にも使いたくなって、それでAppleは

困ったものだな、と。そこでPC-88を買い、さらにIBM 5550やワープロ専用機などを買い足していったわけ。98も持っています。そういう国産機との格闘の流れの間もAppleから終始離れられず、Macへ転向していったわけです。

松田●私の場合は、もともとメカニックなことが嫌いではなかったもので、十一年くらい前、十万円持って秋葉原へワンボードマイコンを買いに行ったのが始めですね。富士通のLKit-8というやつで。買ったけれど結局当時は何もできなくて、まともにパソコンらしいものを使ったのがコモドールのPET、それからやはりApple IIですね。そしてMac、98というぐあいです。ただ、その頃ほとんかく漢字も出ませんから、パソコンが仕事に使えるだろうとは思ってもみませんでしたね。私の場合、個人的に絵が好きだったもので、カラーの使えるAppleを買ったんです。高い機械でしたけど。

## なぜMacを選んだか

——お二人がMacを選ばれた理由は何でしょうか。

松田●Apple IIを使って遊んでいるうちに、今度も



つと凄いマシンが出るぞということで、自然な形でMacに入って来ちゃったという感じですね。

紀田●でも初期のAppleユーザで、今でもMacを使っている人は非常に少ないですね。みんな98に乗り換えてしまっている。ただ、それにもかかわらず私がMacへ進んだ理由は、グラフィックスへの興味と、もう一つはDT Pのようなレイアウト的な表現に昔から興味があったからですね。単に事務的に印刷されたものではなく、体裁よくきれいに見せるということですね。

松田●本文中でも出てきますけど、先生のお得意なディスプレイのラベル作りなんかも、ひとつのレイアウトですよ。



紀田●そうそう。よく人からそんなことまでしなくてもいいんじゃない、ムダじゃないかと言われるんですが(笑)、そこがMacと実用一点ばりの機種との違いがあるわけですね。松田●98などはどうもビジネス一辺倒で、実用機というかOAの匂いがしますね。

紀田●もちろん98でもゲームはできるしおおいに遊べるのだけど、Macと比べると知的な遊戯性っていうのがないんです。「大番頭」、「小番頭」なんて名前のソフトから、知的な香りを感じるという方がムリなんであってね(笑)。あとは、Appleに対する信頼ですね。かつてステイプ・ジョブズがApple IIを「二十世紀の知的自転車」と表現していたんですよ。気軽に使いこなせる、小回りの利く道具っていう意味ですね。個人の知的生産にかかわる可愛い道具なんです。Macを一目見たときから、そういうコンセプトが感じられて。とにかく、可愛くて可愛くてしょうがなかった。

松田●ええ、ええ(笑)。

紀田●朝パツと目を覚ますと、机の上にMacが見えるんですよ。そうすると「ああ、今日も愉しいことがあるな」という感じになるわけ(笑)。98を見てもそうは感じない。理屈じゃないんですよ。だいたいコンピューターの歴史は

弾道の計算から始まっている。多くの先端科学と同じく、元は軍事目的なんですよね。それがAppleのおかげで、コンピュータが日常生活の中に入ってきた。Appleの精神というかひらめきというか。二人のステイブは、いい意味で教養があると思う。この二人は、言っていることや製品開発の方を見ても若い世代の知識人ですね。だから僕は、彼らの作るものは非常に信用しているんです。それがMacというのが続いてきた背景にあると思う。

松田●そうですね。

紀田●Macをパッと立ち上げれば、「Welcome to Macintosh」って出て来るでしょ。こういうのは国産のコンピュータにはちょっとないですよ。もうそろそろやめてもいいんじゃないかと思うんですがね、あの「How many files」って出るやつ。あれが参るんですよ(笑)。

松田●最初のMacは128Kでした。確か一九八四年一月にMacの出荷が始まって、私はその年の秋ごろ手に入れたと思うんですがね。

紀田●僕はね、最初カタログを見たときは買う気は起こらなかったんですよ(笑)。LisaやApple IIIの販売が非常にもたついたし、Macも大丈夫かな、という気がした。ところが本郷のESDで見たとたん欲しくなって、「こ

れいな」なんて独り言を言ったら、すぐ送りますよということになり、引っ込みがなくなつて(笑)。先に送ってきたやつたんですよ、それからお金の工面をして……。松田●あの販売店は、そういう大胆で嬉しい対応をしてくれましたから(笑)。

——松田さんの場合、128K、512K、Plus、IIと四段階を経ていらしたんですね。

松田●そう。もう、まともにちゃんと歩んできましたね。先生もそうです。歩まざるを得なかったところがあるんですが(笑)。そのへんの葛藤というのは、本文の方で見ていただきたいですね。

## ESDで知り合った二人

——お二人がお知り合いになったきっかけは。

松田●先程の本郷のESDという会社なんです、そこはAppleユーザーの唯一の楽しいたまり場で、当時Appleの情報源というのはそこだけという状態だったんですよ。そのESDで出している「Appleマガジン」という機関紙を手伝わせていただいていたんですが、ちょうど紀田先生に記事を書いていただいて。それがMacで作った

ラベルとか地図、そしてびっくりしたのは原稿用紙とかだったんです。「Macは印刷機だ」という先生の有名な言葉があるんですが、実際にああやって作った具体例を見たのはそれが初めてだったんです。それが、ちょうど私がやっていたことと非常に似ている部分があつて、厚かましくも先生にお手紙を差し上げたのがきっかけなんです。それから何回か手紙のやりとりをしたんです。

**紀田** ●私にはもともと、パソコンを身近に日常の文具として使いたいという理想があつたから。でも、それをいくらか説明してもわかってもらえなかつた。あるとき人にMacで作成した原稿用紙を見せたんですが、自分たちにはあまり関係がないってというような顔をされてしまった。なんだか変わったことやっている人だなあ、くらいにしか受け取られなかつた。そこでカチンと来てESDの店長に見せたら、こちらは案に相違して「面白いからぜひ松田さんの編集してるAppleマガジンに投稿してくれ」と。あの雑誌がまたマニアっぽくてねえ(笑)。

**松田** ●私がやっていた頃はワープロで打ったものを版下にしていただけですけども、その前は、直筆の原稿をそのまま版下にしちゃうという……。よくも悪くも面白い雑誌でしたね。

**紀田** ●それで、一九八五年初めくらいから一年ほど、手紙のやりとりがあつたんです。僕が松田さんに本を送ったり。その後に私がFAXを買ったんです。

**松田** ●私もまたまた自宅にFAXを持っていたものだから、お手紙のやりとりの間に、FAXがあるんだつたらその方が簡便でいいと、先生のほうからご提案があつたんです。



## FAXを個人で買ったわけ

——そもそも松田さんは、どうしてFAXをお買いになったのでしょうか。

松田●ひとつは新しもの好きで、買ってしまったということですね(笑)。どうしても必要な物ではなかったですから。ただ私は思い付き人間なので、パツと頭に浮かんだことをちよつとメモして、会社から自宅へ、自宅から会社へと流して利用していたんですよ。例えば何日の手形を落とさなくちゃいけないと自宅で思いついたら、忘れない、うちに会社宛てにFAXしておく。翌日会社で必ず見ますからね。それから、その頃少しパソコン雑誌に記事を書かせていただいたりしたので、これもFAXがあった方が便利だ、と。立派な理由があったというより、面白そうだなと思って買ってしまったという感じですね。先生のほうは、お仕事がらみで導入されたのでしょうか。

紀田●そう、もつと痛切ですよ。私の住む郊外は郵便の集配が一日に二回なので、原稿を必死に書いて投函しても、翌日回しにされてしまう。FAXがあれば当日書いても間に合いますからね。こうした事情を学生に話したら、FA

Xにすればと、リース会社を紹介してくれたんです。

松田●そのころ先生のご関係になつている出版社とかには、当然FAXはおありになつたんでしょう？

紀田●いや、ところがそれがありませんよ(笑)。コンピュータ雑誌とかソフトウェア会社ではあるのが当然という感じだったけど、一般の出版社にはあまりなかったみたいです。一九八五年ころには、かなり普及していましたが。松田●一年くらいでずいぶん増えましたね。個人としては我々は、FAX初期ユーザーなんですよ。

紀田●私の場合、松田さんとの通信だけは仕事に無関係なんです。それだけに思つてもみない効用を発見しました。よくパソコンを買うときに、目的をはっきりさせてから買えと言うけど、あれは短絡的だと思う。新しいツールはまず買って手元に置くことで、思つてもみなかった使い方を発見することがあるんですよ。こういうことは、使つてみないとわからないから。

## ほんなにあらぬFAXの長所

——他の伝達手段に比べて、FAXの長所というのはどんな点でしょうか。

松田●まず電話と比べると、相手が不在であろうがなからうが気にせずに、こちらの言いたいことを伝えられるという点がありますね。受け取る方も、食事をしたり、お風呂に入っているときに飛んで行って電話に出る必要がない。これもまたかなり大きいメリットです。現在のところFAXは、非常に現代的でスピーディな方法だと思えますね。留守番電話というのもありますが、私はどうも苦手で、「ピーと鳴ったら」というメッセージを聞くと絶対に喋りたくなくなってしまう。それに、これは是非記録しておいて欲しいのですが(笑)、これだけ長い間先生と交信をやらせていただいて面白いのは、電話でご連絡をとったことが今まで一度もないんですよ。

——そうなんですか。

松田●ひとつには、電話をかけてしまうとこのパターンが壊れてしまうんじゃないかなという危惧があるんですけど(笑)、確かご自宅に電話してご用件をお伝えしたことは一度もないですね。

紀田●そうですね。それに電話がジリジリと鳴るよりも、FAXがチリンチリンと鳴る方がいい。一階にいて二階のFAXが鳴るのが聞えるときなど、家内が「あ、松田さんよ」と言うんですよ(笑)。

## 記録が残るのがFAXのポイント

紀田●その他FAXのいい点は、原稿のオリジナルが手元に残ることです。電話だと文面に残らない。手紙も相手に出してしまえば、それまでですよ。梅棹忠夫の『知的生産の技術』に、日本人は手紙のコピーを取らないという指摘があるんですが、あれを読んだときに本当にそうだなと思った。ビジネスでは「言った」「言わない」が問題になってくるから、必ずコピーをとっておきますが、個人の場合はそうでもないですからね。でもFAXだと、一度作った原稿が自分のところに残ったまま相手に送信できる。手紙のコピーが残れば、一つ一つの状況がかなり詳しく書き残されることになりますよね。私たちのFAXにも大袈裟に言う和生活の流れのようなものまで出ていると思うんです。こういう特性は、他のメディアにはないんですよ。

松田●パソコンがある環境で考えれば、電子メールというものもありますよね。これなら(オリジナルが)ちゃんと残っている。でも、FAXだとパカパカとワープロで打った物を機械に差し込んで電話をかけるだけなので、パソコン

通信よりも取り扱いがずっと簡単です。それに、電子メールも随分と使っているんですが、やっぱり印刷した紙や用紙を媒体としているFAXの方が、何か存在感があるんですね。

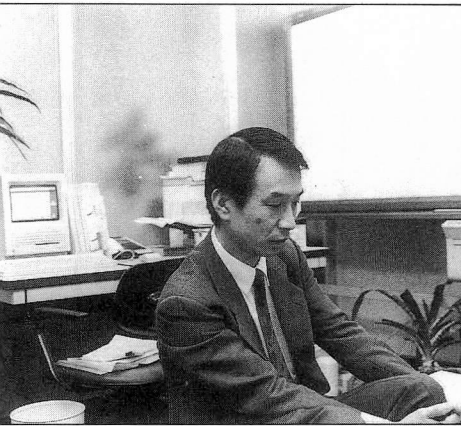
**紀田** ●手紙と比べた場合ですが、FAXだとレスポンスが早い。早く返事を出そうという気持ちになるところがありますね。これが手紙だと、やはり構えてちゃんとしたものを書こうと思ってしまうから、遅くなるんでしょうね。そのほかFAXが普通の郵便と違うところは、ワープロで打ってからそれをプリントアウトしてFAXで送るという、そのプロセス自体が一種のシステムになっている感じがするんです。ところが、ワープロで打ち出したものを封筒に入れて切手を貼ってしまうと、もはやシステムではなくなってしまうような気がする。日本の郵便事情は確かにいい方だけど、それにしても、ポストに入れたとたん「あなた任せ」の世界に入ってしまう。FAXだと相手の書齋に直行しますから、ダイレクトな体温が感じられますよね。普通の手紙よりももっと気楽なものだから、FAX通信は若い人にも勧めたいですね。

——導入のための費用やランニングコストはどうでしょう？

**松田** ●枚数的に非常に多い場合はともかくとして、実際は費用も安いです。封書は六十円しますが、FAXなら都内で十円そこそこで送れますからね。

**紀田** ●ランニングコストは安いですよ。導入時に限って機器のコストの問題はありますが、利便性や快適さを買っているんだと考えるべきでしょうね。それに機械もだんだん安くなってきてますしね。

**松田** ●ええ、もう実際には、七万円ぐらいでまともなのが手に入る時代ですから。



——FAXが向かない人と言うのはいるでしょうか。

紀田●そうですね。このあいだ読んだ本に「カウチポテトの性格分析」というのが載っていたんですよ。それによると、カウチポテトに共通する性格は「一人が好きで、リアルなものよりも間接的な疑似体験を好み、情報に飢えていて、常に高感度でありたい」と思っている。電話よりも無機質なファクシミリを好む」とあったのですが、これは私にもかなり適合するんですよ。本が好きで孤独を愛する人間はカウチポテトの元祖なんですね。となると、営業マンというか、積極的に外に出かけて行き、人に会って一杯呑むのが好きだというような人には、FAX通信はあまり向かないかもしれない。直接的な人間関係だけで仕事をする人よりも、一度人間関係とかを咀嚼して整理してからコミュニケーションをしようというような人に、FAXは向いているのでしょうかね。

## Macの情報をリアルタイムに交換

松田●ま、幸いにお互いの家にファクシミリがあったという状況がよかったということもありますけれども、そのやり取りのテーマというか内容が、パソコンであり、またMacであるということが、これまで続いているゆえんで

もありませんか(笑)。

紀田●それが柱になっていますね。やはりMacという強力な共通の話題があるからで、98ではこうもいかなかったと思う。Macだと話題がやたらにあるから。とにかくFAXだと、今考えていることがリアルタイムに伝えられる。そういう意味で鮮度の高さ、臨場感というものを感ずるんです。そして、そのためにも話題が多くて動きの激しいテーマ、この場合はMacのようなものがないと続かなかつたでしょうね。

——Macについてのやり取りは、実際にはどんな内容のことが多かったのでしょうか。

紀田●主にMacの情報交換ですね。特にソフトの使い心地に関すること。それから、Macユーザーとしての考えをお互いに吐露しあうこともあるし、当然のことながら、Macの世界をめぐる客観的なユーザーの動きとかも反映されていると思う。あとは、Macの新機種が出るたびに一度は経験する問題なんですけど、ソフトの互換性があるかどうかとか、あるいは上位機種に乗り換える必要性があるのかどうかなどは、非常に話題になりましたね。

松田●新機種に関してお互いに入手した資料をお送りしたり、いただいたりしましたね。あとは、こういうふうに使

▼松田のFAX通信票

宛先 紀田順一郎様	送信者 松田純一
年月日 12/10	FAX 0482(23)0919
	用件
	枚数 2

フランクミラージュでございます。皆様のお加減はそのま、いかがでしょうか。

先先生のお書きになりましたとおりワープロを使えば遠くドストロブが降りそうですが、私も5550の機、一本即を使っております。自分も購入したと同時に本体とプリンター共に第二水準の5550も欲しているが第二水準機を安く手に入る。11/25号で漢字を入力し読みを入れていくのは本当に楽になります。原因は良くわかるとは思いません。

近々オーム社製の第二水準機が出ると思いますが、それは印刷物でしょうか、できるならばがソフトに収録して欲しい位です。しかし従来には自分の辞書は自分でつくると聞いておいてはおります。

先日、清水の舞台から1000位、飛び下りたつもりで「PARADISE」を手に入れましたが、漢字が良くありません。修理に出す予定はもう一つあります。原因は良くわかるとは思いませんがオーム社の目が動かし直りましたが1週間程、使い込んだ所ですんてしてしまいました。

ところで、最近のMacソフトでは「Accessory Pak1」、「SIDEKICK」が面白いと思いましたが、ご存知かと思いますが「Accessory Pak1」の「Print Cutter」がMacのフル画面を使って印刷機一度に印刷できる事。そして「Printer」もMacのPrintにプリントアウトをするMacPaintの作例ウィンドウの3面にインク、センサ、プリンタの各構成が表示され、ポインタの移動と連動して位置表示リアルタイムに変わります。

お急ぎでしたらお話ししたいと考えております。

5550の日本語ワープロ、98、99でまだ作りがらみOEMを組んでも動く動くようなソフトをかけた製品ですが面白い事を経験しました。それは、このプロジェクトをはずす為にPC-98901を使ってみたら勝手にコピーを動かしてきました。もしV5、0のバージョンアップをお考えならお話ししたほうがいいかもしれません。長々と申し訳あつたんですが、詳細については別途お話しをお待ちしております。

このフランクミラージュ通信、先先生の高貴な手で作ってました。

12月10日

えるよ、というソフトの変わった使い方というか、裏ワザみたいな話もありました。

紀田●また、FAXと並んで宅配便のやりとりもしていましたよ。データディスクとか著書とかを交換したり、エクスボのカタログを送っていたりしてましたから、FAXはもつと手軽な情報手段として利用してましたから

——ちなみにお二人は、どういった形でFAXを送られているのでしょうか。

紀田●私の場合ワープロで入力し、プリントアウトしてFAX送信したあと、その日の日付のファイルネームをつけて、ディスクに保存しておきます。

——ちなみにワープロは何をお使いですか。Mac専用のワープロですか。

紀田●私は一太郎を使っています。

松田●実は私も(笑)。98はワープロ専用機にみたいになっちゃって、片方でMacが動いていて、98では一太郎という状況設定が多いものだから。

## 文科系ユーザーのつばやき

紀田●僕はよく「文科系ユーザー」という言い方をするんだけど、コンピューターで何ができるかを考えるユーザーというのは少ないですね。コンピューター自体をいじくるというのが、多くの人の姿だったわけですよ。フタを開けてROMをひっこぬいたり、そういうメカマニアアつていましてよ。もちろん僕らにもその要素はあるけれど、もうちょっと違う使い方があっていいかと。その頃から自分が文科系ユーザーなんだと意識し始めたんです。そういうニーズにはMacはやはり合っていると思った。



松田●よく言われることですけど、ああいうマシンはブックボックスでいいんだと思うんです。なんでこういうふうに動作しているかというのは、別に知る必要はない。自分がやりたいことを、どうしたら実現できるかだけを考えればいいんじゃないか。事実Macは、そうした主旨で作られた機械ですから。日本の場合だと、ひとつアプリケーションを買って来ても、多少MS-DOSの知識がないとインストールさえできない。ゲームするのに、ソフトを使うのに、なんでOSのことまで知らなくちゃいけないのか。今までは知ってて当然、知ってる人だけが使えるんだ、というところがあったわけですよ。ところがMacの場合、買ってきたものは即使える。コピーだって、アイコンとアイコンを重ねればできるというふうに、非常に斬新な考え方で使えたわけですから、やはりこれだ、と思いましたがね。

紀田●それに、特にソフトは文科系の関心に合うものが多いですね。グラフィックソフトが多いのもそうだし、フォントだって奇想天外なものがある。これは明らかに文科系の思考を持った人間の発想ですよ。そんなわけで、どのソフトでも使っていても楽しいし、使ってみようという気がおこる。それから、日本人は会社の生活がほとんどですよ。個人の時間の大部分を会社にとられてしまうので、コ

ンピューターを本来の意味でパーソナルな用途に使いたいというニーズがない。データベースといっても経理用しか考えつかない。そういう日本の社会独特の問題もありますよね。

## ソフトに見る文化の違い

松田●向こうでは、バイブルのデータベースがあるなど、アプリケーションが生活に根づいている。そういう文化的、社会的習慣の違いが大きいですよね。

紀田●デスクトップパブリッシングもMacが開いた有力な分野だと思いますが、日本ではDTPというと、会社の中での連絡とかマニュアルの作成しか考えない。むこうでは同人誌とか主婦の新聞、地域活動の連絡誌などを考える。それだけ個人の生活というのがあるんですよ。

松田●日本人は、とかく実用的なものにばかり走るところがあるし。そういう点を考えると、特にソフトの分野で日本はまだまだ寂しいですね。例えばメーカーやソフトハウスが、もつとおじいさんやおばあさんも喜んで使えるようなシステムやソフトを作ってくれば、個人の道具にもなってくるのでしょうか。……私の知り合いに、その日の夕

食のメニューをMacで作っていると主婦がいらつしやるんです。例えば夕食が、ごはんと味噌汁と芋の煮ころがしと焼き魚なら、そのメニューをMacPaintで作って印刷して、旦那さんや子供が帰ってくると「今日の夕食はこれよ」と言う。何の役にたつのかといえはそれまでですが、コミュニケーションの大切なきっかけにもなると思うんです。

紀田●そういう精神に応えるように、ソフトも入って来ていますよね。カローリーを計算したりメニューを作ったりするMacRecipeとか、ワインを選ぶソフトもある。

——最近出ている国産のグラフィックスソフトなどは、Macに似ているものが多いようですが。

紀田●ほとんどマネが多いですね。

松田●そうですね。ソフトを使っていると、このプログラムミソグをした人は必ずMacを持つてるなって思う時がある。実に似ているんですよ。例えばジャストシステムの「シルエット」というソフトなんですが、タイトルを編集する画面なんか、マニユアルに書いていない隠しコマンドなんか、MacPaintと一緒なんですよね。あれは、単にプログラムを書いたら偶然にできたなんてレベルのものじゃない。これは絶対にMacを使っている、よく研究して

いるはずですよ。

紀田●Macの雑誌の投稿欄に、会社が98を採用したからMacを諦めますと言った投書が毎月のように出ているけど、集団志向っていうのじゃないか。もう少し、右にならえじゃなくて、自分に自信を持って、いいと思ったらそれを買いたいと思う。

松田●特にサラリーマンは、会社とのデータの互換性を重視しがちですが、別に会社との互換性を個人で確保する必要は本来ないわけですよ。自分で使いたいパソコンを買えばすむことなのに、会社に98があるから自分もパソコン買わなければならぬ98じゃないといけないうんだけれど、発想は、何か寂しい感じがしますね。会社の仕事というのを自分の家庭にまで持ちこまざるをえない環境っていうのが、やはりあるんでしょうかね。

紀田●あと、これまで98かMacかと迷っていた人は、やはりMacは日本語入力が悪くということがあったからだと思いますね。

松田●ただ、日本語システムもいろいろ出て来ましたが、Mac IIのレベルでは、もう98のワープロとは全く遜色のないものになってきたと思うんです。またパブリックドメインとして作られたもので、OSレベルで日本語禁則処理

ができるソフトがある。これはMacだけですよね。あつという間にこの一年で、フロントエンドプロセッサも、BRIDGEとTURBO JIPとVJEと、3つ揃っちゃって、どれを選ぶかという時代になって来た。今度はアウトラインプロセッサまでちゃんと出てきますし、面白くなっていくと思いますね。

紀田●ハードウェアの進歩っていうのは速いから、私は樂觀しているんです。むしろなかなか追いついていかないのは、使う方の意識です。それから、ソフトの製作者、開発者の意識ですよ。

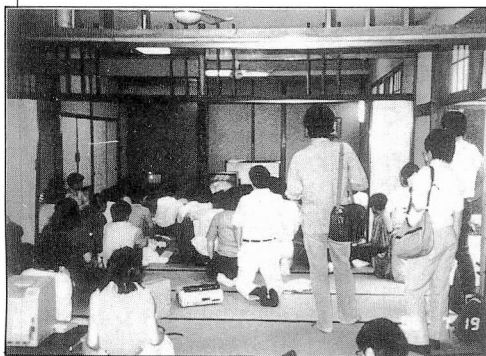
## Macユーザーたちの屈折

紀田●Macユーザーっていうのは、ユーザーであることに對する誇りを感じる一方、なんとなく少数派としての屈折をも感じざるを得ないところがある。

松田●ステイタスでもありますが、なんかその矛盾したのも感じましたね。

紀田●うちに来た人にMacを見せると、「面白いパソコンだね」とは言ってくれるんですが、そこで話が終わってしまふ。たいていは、いやー、残念ですが98を買いました、

と(笑)。そういうのを見ると、みんな輪を広げていきたいな、って思っているのになかなかうまくいかない……そういう苛立ちみたいなものは感じましたね。それにアツブル・コンベンションのときは、Macユーザーがたくさなんて嬉しかったんですが、それでもマニア的と言うか仲間うちで小さく固まってしまつて、ある種の雰囲気というものが出てしまつてきている。ときどきそういうのがやりきれなくなることがありましたね。



▲アップル・コンベンションのにぎわい

松田●ただこのところ、企業でも割合まとまった台数のMacを導入するという会社が増えたり、それに、初めて触わるパソコンがMacだという非常に幸せなユーザーが多くなってきましたから、ちよつと様子が変わってくるかもしれませんね。

紀田●最近では驚くべきパワーユーザーもたくさん出て来ましたしね。私はパソコンをこんな風に使っているんだと、それもMS-DOSってのは何なんだ、と聞いてくるような人達が、けっこう生活の中で自分なりに使いこなした始めた。これはいい傾向ですよ。パソコン選びにしても、メーカーの営業政策に過ぎない些細なスペックの違いを、神経質に一覧表にしても始まらない。そうした狭い世界を広げるといふ意味で、毛色の変ったユーザーが入って来るのは歓迎すべきですし、パソコンの世界を活性化していると思うんです。

## 身体の一部としてのMac

松田●先生が先ほどもおっしゃってたんですけど、朝起きてMacを見ると嬉しいというのがありますね。会社から帰宅すると、まずFAXを見てMacの電源を入れるるとい

うのが日課ですから。そういう意味で、Macはからだの一部になっていくのかもしれない。

紀田●僕なんか一太郎使っただけでも、ふつと気付くとマウスを探してることがある(笑)。あれには参るなあ。特にグラフィックスのソフトを使っていると、終わってからも指がマウスを持った形に固まっちゃっている。

松田●マウス症候群ですね。私の場合もMacというのが、何か自分の分身みたいになってきていて、切り離せないという感じはしますね。生活に密着しているというか、頭脳の延長のような。自分の頭の外部記憶装置になっているのかもしれないんですけど。もしあれが一カ月や二カ月使えないとなると、寂しいでしょうね。

紀田●実際私は家を改築している時にMacを使えなかったことがあるんですが、寂しいっていうか、空虚な感じがしましたね。またそういう時に松田さんがどんどんデータディスクを送ってくれるんで(笑)、早く見たいし大いに困りましたよ。

——お二人にとってのMacの世界、Macを一言で言うとうと。

紀田●ある意味じゃ恐ろしい世界ですね。恐らく僕はよっぽどのがないかぎり、いい新型がでるかぎりMac

を追っかけて行くと思うんですよ。そうすると、なんだか一生のお付き合いになるんじゃないかってね。そういうものって他にあまりないですからね、なんだか怖くなる。

松田●Mac IIが出た時も、これは果たして個人ユーザーの機械なのか、なんてことを随分言われましたよね。どうしてもなくちゃならないものかと言われても、そうじゃないし。それでいて、追求せざるを得ない自分が恐いっていうわけで。気がついたら、今でいうスーパーコンピュータみたいな、マッキントッシュ・クレイかなんかが机の上に乗っていたりするかもしれないね(笑)。

## 知の開発メディア、Macの未来は

——お二人が今後のMacに期待されることは何でしょうか。

松田●そうですね、個人的な期待といえどもちろん、より高性能でより速くて価格の安い機械が出てくれれば言うことないですが。ただ、グラフィックスなどの面では、ハード、ソフトともある程度の水準まで出揃って来ていると思うんです。あとは、それらをいかに使えるかという自身の問題が大きいんじゃないかという気が非常にします。

やはり今後は、どんな機械が出て来ようと、設計思想や開発思想は今までのAppleであってほしい、信頼を裏切つてほしくないですね。Macユーザーのよりどころというのは、そこにあるんじゃないかと。

紀田●私の周りでMacが欲しいという人には、音楽家や社会科学系の研究者など今までパソコンユーザーじゃなかった人がたくさんいるんですが、Macの値段を聞くと逃げちゃうんですよ。実はこれは大きな問題なんです。知的生産に必要なものとして、つまり文具のようなものとして使うためには、本来そんなに高いものであつてはいけないと思う。企業ならばすぐコストを回収できるかもしれないが、個人の知的生産と言うのは利とは結びつかないものであるべきだし、そうでないと自由に発想も伸びないんです。今のパソコンの値段というのは、特に日本では企業向けばかりで、個人の知的生産に使うユーザーを対象にしている。そういう意味でも、ある意味ではもっとコストダウンできるはずですよ。もうこのような普及段階まで来たのだから、根本的に発想を改めてもっと合理化してほしいですね。

松田●特に値段のことに关してですが、ソフト、ハードともにやはり高すぎますよね。日本とアメリカの流通経路はわかりませうけれど。

紀田●ソフトが、ビジネスマンの小遣いで買えなきやいけないですよ。

松田●十万円を超えるものが軒並ですからね。特に日本語化のQuarkXPressというDTPソフトは十八万円だとか。個人が買うべきものじゃないのでしょうか、これでは小遣いどころかボーナス一括払いでもちよつとという感じですね。

紀田●Macの場合は、OAというよりも個人の創造性としてのを伝統としてきたソフトや、ハードの作り方をしてきた。そういうコンセプトであるからこそ、ここまで成長してきたと思うんです。OAだとしても画一化、能率化が主になりますから、クリエイティブなソフトはできない。アメリカではIBMとの競争もありますから、OA的な要素も検討されていくと思いますが、Mac本来の性格を今後とも保ち続けてもらいたいですね。

松田●Macのソフトの話になってしまいますが、ここはこういう機能がほしいなとか、こういうことをやりたいんだけどな、っていうのがありますよね。日本のソフトの場合はそこまで終わりなただけど、Macの世界は現実にはそういうものがあるか、なくてもすぐに出て来るんです。例えば、こんなことしたいんだけどと友人に相談すると、

「それ、どこかで見たよ」とか「何週間か前にCompuServeのPDSからおつことしたよ」と言われる。そうすると、沢山のユーザーが同じことを考えてるんだなということが、実感として分かるんですね。一体感というか。それが度重になると、やめられなくなつてしまふ。

紀田●特にグラフィックス系のソフトにありますね。根本的にいいところはみんな残り、ユーザーがほしいと思った機能は次々に加えられていく。あれは快感ですよ。あと、ユーザーが増えますと、CATのようなスケジュール管理プログラムとかMOREやBusinessFileVisionなども、ぜひ日本語化してほしいですね。

松田●そうですね。やっぱりいくら使いやすいソフトだからといって、英語の壁というのは、広い層を対象とするかぎり当然ついてまわる問題ですからね。よいものは日本語のものがほしいとこですよ。

——— 本日はどうもありがとうございました。

FAX交遊録

一九八五年〜一九八七年の

Macをめぐる冒険

紀田順一郎×松田純一

WINTER

冬

FAX通信、始まる◆市販のワープロソフトに不満

松田純一様

FAX拝見いたしました。非常に綺麗に出ています。

現在ほとんどの連載はFAXで送っていますが、出版社によっては編集者が自社のFAX番号を知らないという頼りないケースもあります。かのIBMでさえ、FAXで送りたいから番号を知りたいというと、係がないのでという返事をする始末。ようやく聞き出して送信したところ、半日もたつてから、届いていないがどのFAXに送ったのか、などと言ってきたのには驚きました。

ただFAXで困るのは、対談速記などのように枚数がかさむ場合です。簡単な内容のものでも三十枚くらいになることがあります。送信に時間がかかってしまいます。

個人では郵送の方がまだコスト的には安いと思いますが、もともと拙宅の方面は郵便事情があまりよくないため、ハガキ一枚にせよ徒歩で十分離れた町田市内まで投函

\*拙宅の方面

紀田の自宅は横浜市緑区の閑静な郊外にある。



に行かなければなりません。たまりかねてFAXを購入した次第です。

徒<sup>あだ</sup>し事はともかく、お誘いの件ありがとうございます。ぜひ近日中にお目にかかりたいと存じます。

十一月二十五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAXありがとうございます。FAXとIBMのお話は、考えさせられるものがありました。

ところでIBMと言えば、先日IBMのユーザー登録者に送られる『STATION』というマガジンに先生が大きく載っていらっしやるのを嬉しく拝見しました。その『STATION』ですが、実は二十七ページにお恥ずかしい限りですが家内が載っております。「ペケ社員からテクノ社員へ」という題ですが、ペケ社員がテクノ社員に変身するためにIBM5550を購入したのですから、金がかかる女房の見本みたいなものです。

神保町の地図をこのあとに送信いたしますので、是非一度ご連絡を頂戴したいと思います。

十一月三十日

松田純一

\*「STATION」誌  
一九八四年創刊のIBM「OAK  
ラブ」機関誌(季刊)。紀田は第六  
号(十一号)に「ワープロ書斎日記」  
を連載。松田夫人は第六号に登場  
した。(紀)



松田純一様

先日はFAXありがとうございました。『STATION』誌の「OAクラブ伝言板」に奥さまが載っていたようとはまことに驚きでした。実はあの雑誌は、この欄しか興味がないため、拝読していて感服しておりました。家内はパソコンに関してにはまったくダメですので羨ましく限りです。

5550は移動したりドリルの動きに悩まされているうちについてダウンし、修理を呼ぶことにしました（無理して年間契約しています）。折あしく土曜日でしたので、きゅうきよ98に替え、久しぶりで一太郎を触っています。55よりも小回りはきまますが、第二水準の漢字を多用する文章には困ります。近くオーム社版の第二水準辞書が出るということですが、まったくIBM以外のワープロは基本的に問題があると思います。第二水準の漢字が登録できないという、ワープロ特有の思わざる不便もあります。最近あるパソコン雑誌に、第二水準には不用な漢字が多いからむしろ漢ROMなど不要だという趣旨の解説が出ていますが、どうかと思います。

しかし一太郎も、ひとところから見れば親切な作りのソフトです。一太郎といひS W I N Gといひ、98には五万円前後のいいソフトが出ていますね。そこへ行くとMacのソフトはやや低迷しており、米国市場での威信低下ともからんで気もめまます。

神保町に出た折りには、ご連絡を差し上げたいと思います。

十二月八日

紀田順一郎

\*5550  
IBM5550のこと。

\*一太郎  
この頃はVer.2でした。

\*Mac  
この頃は512KのMacである。

紀田順一郎様

フアクシミリありがとうございます。先生のおっしゃるとおり、ワープロを使えば使うほどストレスがたまりそうです。私も5550の他、一太郎を使っています。第二水準漢字をいちいちJIS番号で入力し、読みを入れていくのは本当に嫌になります。私のようなアマチュアでさえこうなのですから、第二水準漢字は必要がないという方はまともな文章を入力したことがないとは思えません。オーム社版の第二水準漢字辞書も、できるならディスクセットに記録して販売して欲しいくらいです。しかし現実には自分の辞書は自分で作るしかない諦めてはおりますが……。

先日清水の舞台から十回くらい飛びおりたつもりでParadiseを入手しましたが、調子がよくありません。修理に出すか交換して貰うつもりです。原因はよく分かりません。アクセス時の音が始めから気になっていましたが、一週間ほど使いこんだところでダウンしてしまいました。

ところで最近のMacソフトでは、AccessoryPak1、Sidekickが面白いと思えました。AccessoryPak1のPaint Cutterは、Macのフル画面を使って四画面を一度に切り張りできます。そしてRulerをMacPaintにインストールするとMacPaintの作業ウィンドウの三辺にインチ、センチ、ピクセルの中から選んだ定規が表示され、ポインタの移動と連動して位置表示がリアルタイムに変わります。お会いできましたら、お目にかきたいと考えております。

\*Paradise

MACIOというハードディスクを出していたサイドパーティー。

\*Sidekick

Macで使われるデスクアクセサリ(DA)の便利なものをまとめたBorland社製のパッケージソフト。IBMPC版もある。

\*AccessoryPak1

SiliconBeachSoftware社から発売されたMacのユーティリティ集。文中のPaintCutterやRulersを始め、フォント集がセットになっていたもの。

神保町においでの際はぜひご連絡をお待ちしております。

十二月十日

松田純一

松田純一様

Sidekick は実に有用なソフトですね。ところで MacPaint にせよ、Helix にせよ、使い込むほどに容量不足でイライラさせられますので、ハードディスクは必需品ですね。これまで購入しなかったのは、Apple 社のものを待望していたためと、もうひとつは DynaMac とのからみです。小生の機種は例の MassTech のボードを入れていますので、キヤノンの純正アップグレードができず、要するに高価な犠牲を払って漢 ROM を入れるか、それともディスク周りを改良するかの選択を強いられていたわけです。

それに現在の A & A の良い出来ばえを見るにつけ、現在のオーソライズされた方向にばかりに乗ってしまうのも躊躇されるのです。漢字 ROM を備えておいて悪いことはいないでしょうが、もっと有効な投資はないものかと思っていました。おっしゃるように、来年も Mac は金食い虫となりそうですね。その最大のもの、ディスクを別格とすれば、1200 ポーのモデムとレーザープリンタではないでしょうか。

お風邪を召しませんよう、くれぐれもお気をつけてください。

十二月二十五日

紀田順一郎

\* Helix

オデスタ社が一九八五年に開発した Mac 専用リレーショナル・データベース・ソフト。現在の Double Helix II の前身。テンプレートや計算機能に独自の方法を採用し、出力に際してのプレゼンテーション性を考慮した唯一のデータベース。(紀)

\* DynaMac

Mac による日本語処理を念頭におき、CPU に漢字 ROM を直接つけてしまうという快挙(?)に出たが、限られたソフトしか使えなかった。漢字 Tark の登場により、やがて市場から消えた伝説的な機種。

\* キヤノン

ご存じアッフル製品の日本販売代理店。窓口はキヤノン販売株アッフル企画部アッフル販売推進課。なお Canon は昭和8年前身の精密科学研究所設立当初、カンノン(観音)と読ませていた。創立者の信仰によるものだが、戦後一九四七年、輸出先(欧米)での発音に従いキヤノンカメラ株と改称。(紀)

一九八六年

JANUARY

1月

新年早々MacPIIの発表◆紀田、  
OA書齋の完成

松田純一様

—あけましておめでとうございます。新書齋が大晦日ぎりぎりに完成し、FAXを移動したので、その間にご連絡をいただいたかもしれないませんが、失礼しました。ミニコンピュータ、5550、98、それに留守番電話などをまとめてレイアウトしましたが、スペースの関係でMacは別の場所に置かざるを得なくなりました。全体としていわゆるOA書齋のでき損いという光景で、だいぶ予算もオーバーし、しばらくソフトも買えないのかと思うと暗たんたる思いです。

Apple IIcはとうとう設置場所がなくなつて、これが潮時、近日中に処分しようかと思っております。II用ソフトの残骸を見ているとここ三、四年の記憶が蘇り、大袈裟にいえば感無量です。時の流れといおうか、ファミコンが話題になる時はあつても、もはやApple IIが論じられることはほとんどなくなりました。

\*新書齋  
本書二四八ページ参照のこと。

\*Apple II  
一九七六年開発。CPUに6502を用い、RAMは4Kだったが、当時としては大容量。スロットが八つついていたのは、今日のパソコンより進んでいた。(紀)

PaintCutterのデータディスクとしてお送りいただいたボードレールなどの像は実にハーフトーンの線がきれいに出ていますね。

本年もよろしく願っています。

一月六日

紀田順一郎

紀田順一郎様

新年おめでとうございます。新しいOA書齋の完成にお祝いを申し上げます。

さて、昨年末の先生のFAXにMacの漢字ROMの事を書いておられましたが、『PC WORLD』常連のM氏からの情報ですと、A社の無改造漢字ROMボードが良いようです。これには第二水準ROMも載るように設計されているようですし、何人かでまとめて注文すれば六万円以下で購入できるとの事です。

ところでPaintCutterのファイルとしてご笑納いただいた物はThunderScanで取り込んだものです。ThunderScanの当初の物はメーカーから直接購入したのですが、どうにも調子が悪かったのです。故障だと言ってクレームを付ける程でもなかったため、思い切って買い換えた二代目なのです。いろいろ聞きましたところ、初期ロットには問題が多かったようです。

暮れから正月にかけて、気になっていたソフトや小物を集めてきました。マウスの置き場所 MousePocket ソフトでは UltraFont、三次元グラフィックソフト Easy3D

\*ThunderScan

Mac用のプリンタ、イメージライタのインクリボンの代わりに装着すると、なんとプリンタがスキヤナに変わってしまうという、ユニークかつ大胆な製品。スキヤン速度は遅いが、解像度は抜群。付属のソフトもすぐれたもの。こういう発想はMacならではの。(最近どこかがマネしましたが……)

\*Mouse Pocket

Macの側面などにつける、プラスチック製のマウス専用ポケット。ここには Kensington社製のものを指。(松)

を購入しました。MacPaintから図形データは使えないようですが、このEasy3Dで作成したデータはMacPaintへ移すことは可能なようです。

また先生もご承知の事かと思いますが、少々興味のあるニュースが目につきましたので念のためお知らせ申し上げます。

①九日付けの日経産業新聞朝刊に、エルゴソフト社がPC-9801用を始めとしてEGWordを発売する旨の記事がありました。

②同紙に、1MBMacが「マッキントッシュ・プラス」として来週発売になるとの記事が載っていました。

それでは、本年も宜しくお願い申し上げます。

一月十日

松田純一

松田純一様

FAX拝見しました。EGWordの98版が出るのもMacの売行きが悪いからとのこと、困ったものですね。エルゴの方々も一時は拙宅に見えられたものですが、98の方目が向いてしまったのでしょうか。

ついに1メガのMacPlusが発表になりました。今後の標準機になるとすれば、いよいよ大容量時代に入ったことになりますね。キヤノンあたりはこれに漢ROMを埋めこみ、Excelで即漢字入力ができるように持つていくということです。問題はハー

\*MacPaint

Macintoshが発売された

とき、MacWrite(英文ワ

ードプロセッサ)とともに本体に

付属されたアプリケーション(現

在はMacPaint2となり、

CLASの社より別売)。Macの

ユーザーインターフェースの規範

となつたばかりでなく、以後のベ

ィントソフトはすべてMacPaint

の真似と言つてもいいほど

の莫大な影響を与えた。作者は、

一九八七年に発表されたHype

rCardの作者でもある、Bil-

lAtkinson。

\*EGWord(ジーワード)

Mac用初の日本語ワープロソフ

ト。文章一括変換をする変換効率

は、当時としても他の機種ワー

プロの追隨を許さないものだった。

「EG」だと米国人が「エグワー

ド」と発音してしまうので、最近

は「EGWord」と表記するよ

うになったとのこと。

\*MacPlus

メモリが512Kから1MBへと

倍に増え、SSSインターフェ

ースなども装備した、第二世代と

もいふべきMac。日本ではこれ

と同時に漢字Taskが発売、発

売された。

ドディスクとの関連ですが、サードパーティーのディスクに従来のソフトを載せただけでは速くならず、アップデートが必要なわけで、その意味でApple製ハードディスクが従来ソフトをサポートしていないということなのだそうです。いずれにせよMac発売以来の激動の年になりそうで、ウォッチングしていかなければと思います。追記・Plusへのアップデート(キヤノン)は128Kからが十五万円、512Kからだとな九万円だそうですね。割安ですので、ハードディスクより先に購入しようかと思っています。純正ハードディスクはソフト側が対応するまでは買えませんが、いまのところバックアップ機能がないということですので、魅力薄です。

一月二十七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

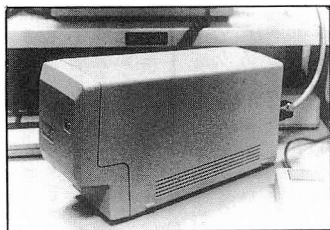
お騒がせいたします。二十七日付けのFAXありがとうございます。MacPlusの件、私も早々にアップデートしようと考えていますが、聞いたところでは四月にならないと始まらないようです。MAC10ハードディスクを購入してしまった手前、Apple純製ハードディスクには無関心を装っておりますが、それにつけてもMAC10は使いやすいです。ハードディスク本来の使い方としては邪道なのかもしれませんが、日常使用するソフトをあれもこれもと詰め込んで使っております。

先日秋葉原で十二色一セットのカラーディスクセットを見つけました。ディスク

\*Excel

ビジネスには欠かせない表計算ソフト。これの登場は、アメリカでも日本でも、Macの売れ行きに大きく貢献したと思われる。操作性の良さは、1-2-3などは雲泥の差。現在ではWindows上で動くIBM-PC版もある。

\*MAC10ハードディスク  
左の写真参照のこと。





もカラーだと、ラベルを作るにも一段と楽しみが湧きます。つい沢山買い込んで来ましたが、一箱別便にて送らせていただきますので御笑納ください。

今日一日中チャレンジャーの事故の話ばかりでしたが、偶然にも先日「宇宙からの帰還」というビデオを買ってきてアポロ計画等を初めとするNASAの記録を見たばかりでしたので、何か不思議な感じがする日でした。

一月二十九日

松田純一

FEBRUARY

2月

## カラーラベルと蔵書票に凝る◆松田、パ ソコンルームの模様替え

松田純一様

Z's STAFFなどを用いた画面サンプルのデータディスクット、ありがとうございます。カラーの画面はやはり迫力がありませんね。国産ソフトもいよいよMacPaintの墨を摩するものが出て来たようで楽しみです。最近向うのソフトディーラーの広告で、今月、ブローダーバンドのThePrintShop (Mac版) が出そうなることを知りました。例の玩具っぽいのは困りますが、きっとMac的に改良されているのではないかと  
思います。

\*チャレンジャーの事故  
一九八六年一月二十八日(日本時間二十九日)、乗組員七人を乗せた米国のスペースシャトル、チャレンジャーが、折り返し直後に爆発。米国の宇宙開発史上最悪の事故と言われた。

\*ThePrintShop  
もつとはApple II用のソフト。便箋、グリーティングカード、ポスターなどを好みのデザインで作ることが可能。88用もあります。Broderrbund社製。

とりあえずはお礼まで。取材先で風邪を背負い込んできて、参っております。

二月一日

紀田順一郎

紀田順一郎様

Mac用のPrintShopが出るとのニュースは初耳ですが、今から楽しみなことです。カラーリボンを上手に使えば良いものができそうです。先日秋葉原ラジオ会館七階の富士音響で、イメージライタに使用できるカラーリボンの交換用を見つけました。今までは赤、青、黄しか持っていなかったのですが、紫、茶、緑を一個三百円で買ってきました。先生はよくカラーリボンをお使いのようですが、米国から取り寄せていらっしやるのでしょうか。

Mac Plusの件ですが、本日買ったニュースによると今までのソフトの40%位が走らないようです。ある人に言わせると、Plusの仕様にするよりアメリカから800KBディスク（ROM付き）のみを取り寄せて、自分で取り付けた方が良くかもしれませんとのこと。漢字ROMボードですが、Mac専用のドライバー（工具）付きで五万円で購入できる見込みになりました。余談ですが、素人がMacを開けるためには先の専用ドライバーが必要ですが、本体カバーをあけるには割箸をクサビ形に削ったものが一番良いようです。これだと少々力を入れてもMac本体の樹脂より割箸のほうが柔らかいので、傷をつけなくて済むようです。なにやら段々、Apple

\*秋葉原ラジオ会館

秋葉原駅東口出てすぐ、電気店ヒルの中心的存在。敗戦直後、ここに盗賊の住む地下壕があったのを、復員帰りの電気商野村誠一が整地してビルを建設、歳月を経て現在43軒の電気店がひしめく。最上階には野村の庭園付き住居がある。

(紀)

\*イメージライタ

一九八四年発売の、Mac用の標準ドットインパクトプリンタ。一九八六年一月には、さらに精度の高いイメージライタIIも発表される。カラープリントが可能なのが特徴。

e IIでもいじっている具合になってきましたか……。

早くお元氣になりますように、お祈り申し上げます。

二月一日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございます。Mac Plusのソフトがかなり走らないというのは残念で、当座は見送ったほうがよいのかもしれないですね。II+やIIeのときと同じことで、やがては多くのソフトがアップデートないし対応版となるでしょう。それまで静観するかどうかですが、ただMacの場合は主要ソフトであるExcelやHeliXあたりの対応が速く、これらがアップデートされたときが潮時といえるかも知れません。

カラーリボンは直接アメリカのディーラーから購入していますが、最近オレンジが出ました。昨年はGarage companyのきわめて幼稚なものしかありませんでしたが、最近の広告を見るとかなり洗練されてきているようです。ソフトはColorPrintですが、イメージライタII用のMacPaletteをぜひ使ってみたいものです。

二月二日

紀田順一郎

\*Apple IIでもいじっている  
具合

Apple IIというマシンは上蓋を開けると八つのスロットがあり、そこにランゲージカードを始め、いろいろなカードやインターフェースを抜き差しして楽しんだものである。それに対しMac Plusまでの機種は、本来ユーザーが内部をいじらないことを前提に設計されたマシンだった。(松)

\*ColorPrint  
MacPaint, MacDraw, FullPaintなどの代表的なグラフィックソフトで作った絵を、複数のカラーリボンを交換しながら、キメの濃い色彩で印刷するための優秀ソフト。(紀)

紀田順一郎様

本日初めてMac Plusを見ることができました。先生は既に入手されていると思いますが、Plusの英文カタログをもらってきましたので、念のためこのあとにお送りします。キーボードがテンキー付属になっていますが、これも別売だそうです。少々動かしてみました。随分とスピードが速くなりました。なにはともあれ、いろいろと話題にも事欠かず楽しみな事です。

さて先生のOA書斎には程遠いのですが、98関係のハードを入れるのを機にパソコンルームを模様替えしておりました。インクジェット・カラープリンタ（IO-720）とイメージスキャナ（PC-IN502）を入れましたが、イメージスキャナがけっこう良くできています。

ところで、一太郎の図形処理アプリケーションが発売予定のことですが、仮称が「花子」というようです。

昨日Apple IIeのシステムとソフト全てを買ってくださる方がいましたので、思い切って売却してしまいました。些か寂しく、大げさに言えば、自身の一つの時代が終わったような気がしてなりません。おかげで本棚などがらんとしてしまいました。お耳に入っておられるかと思いますが、A&AのMac日本語OSが新バージョンになりました。レベルアップは二千円だそうです。

二月十一日

松田純一

\*パソコンルーム

本書二五〇ページ参照のこと。

\*花子

当時一世を風靡した、二存じジャストシステムの図形処理ソフト。操作性はMac系のペイントソフトに遠く及ばなかったが、これがまた、なぜかとにかく売れた。

松田純一様

すばらしいカラーラベル拝受しました。早速使っております。こうしてラベルまで自作している人は、非常に少ないでしょう。メーカーのラベルなどは雲泥の差だと思えます。私の方はいまのところ、ビデオやフィルム整理用の方が枚数としては多いです。

Macのリボン交換方式なら重ね打ちがきくので、たとえばあるテキストチャーをブルーでプリントしたのち、そのテキストチャーの逆版をブラックで乗せると、非常に綺麗な深みのある色が出ます。しかし一般のカラープリンタでは無理ですので、一つの方法としては、ハイライトとなるべき色を決めておき(例えば文字の墨か赤)、その色の版だけを別に作成し、先に他の色の分をプリントアウトしたのち、コピーマシンで墨や赤を重ねるといふのはいかがでしょうか。

98の日本語入力用の辞書として、なかなかよいものが出ましたので、一冊お送りします(黒須重彦監修『ワープロ・パソコンの漢字辞典』日本実業出版社刊)。IBMの辞書も流用できますが、もうすこし「読み」とか部首検索が可能な能率本位の辞書がほしいわけで、その点かなりよくできています。また映画に関する旧著『映画コレクション入門』を同封しますのでご笑覧ください。絶版で、版元のストックから比較的きれいなものを探してもらったものです。

追伸 『日本古書通信』で荒川の古書店(稲垣)がサイレント映画のプロマイドを出品していますので、ご参考までと思います、添付させていただきます。ベティー・カ

\*カラーラベル  
色とりどりのカラーラベルを作る  
のが二人の何よりの楽しみ。左は  
その完成品。



\*『映画コレクション入門』

紀田順一郎著(海燕書房、一九七八年)。ビデオではなく、フィルムそのものによる映画コレクションのガイドブック。(紀)

\*『日本古書通信』

古書と愛書家を対象とした月刊誌。創刊一九三四年。日本古書通信社発行。(紀)

ンブスンやローラ・ラ・ブランテなどのプロマイドなど、なかなか出ませんね。

二月十三日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日、『漢字辞典』、『映画コレクションシヨーン入門』が届きました。また、カラープリントに関するヒント、ありがとうございます。早速テストしてみます。

本年秋季葉原で、M氏と西武グループのリンケージ・システム社のT氏にお会いし、ラベル用紙の件を話しましたところ、インクジェットに使用できる剝離用紙を特注すると、現時点では千枚位で十五万円以上かかるのではないかと言っておられました。リンケージ社は御存じのように画像処理関係専門の会社ですので、一部に同じような需要も出て来ているようなお話でした。

『PC WORLD』三月号に出ているMacの漢字ROMボードを入手しましたので、取り付けてみるつもりです。それによると、第二水準ROMも順次発売するとの事です。

サイレント映画のプロマイドの件ですが、私でも注文ができるのでしょうか。メリー・ピックフォードやエステル・テイラーなどが欲しいのですが、葉書で注文すればよいのでしょうか。

二月十五日

松田純一

\*稲垣

稲垣書店、東京都北区荒川の映画文献専門古書肆。研究者、マニアの支持者多く、矢口書店（神田神保町）木本書店（北区滝野川）と並ぶ映画専門店のビッグ3。（紀）

\*インクジェット

プリンタの印刷方式のひとつ。インクを細いノズルから吹き出して紙に定着させる。ドットインパクト方式に比べるとドットの密度が細かく、また音が静かなのが特長。

\*剝離紙

シール状になった紙のこと。Macで描いたイラストなどをこれに印刷すると、すぐに剥がせるラベルができるというわけ。

\*メリー・ピックフォード

サイレント期の米女優（一八九四～一九七九）。アメリカの恋人と呼ばれ、ダグラス・フェアバンクスと結婚。代表作『嵐の国のテス』（一九三三）。（紀）

松田純一様

FA X拝見。インクジェット用のラベル用紙は待望のものです。イメージライターのラベル用紙は、アップルユーザーズ・グループの秋山東一氏が作成中で、できたら頒布するそうです。形式はまだ最終的には決まっていらないようですが、myDisk・Labelerが3・5インチサイズを10×11インチの連続剥離紙にタテヨコ各三枚（計九枚）配置しているのを知って、同じ形式にするようです。

プロマイド広告は古書通信の広告ですので、誰でも注文できます。電話なさってみて、どうしても欲しいのがあるのだが、どのくらい注文者があるかと抽選を尋ね、なんとかよろしくという呼吸で、別にハガキを出しておけばいいと思います。抽選などと言っても誰も見ているわけではないので、結局熱意のある客のところへ行ってしまうのです。

自作「ワープロ蔵書票」の第三弾がようやくできましたので、別便にてお送りいたします。次回もすでに準備をはじめていますが、なにしろ時間がかかるのが難点です。二月十六日

紀田順一郎

紀田順一郎様

蔵書票が届きました。全体的に素晴らしい雰囲気が出ています。さて先日来お書きしている剥離紙の件ですが、やっと気にいるものが見つかりまし

\* myDiskLabeler  
デザイン用のソフトがとにかく多いのがMacの特徴だが、これはディスクに貼るラベルを作るためのソフト。このへんの感覚が国産のソフトとは違う！

\*ワープロ蔵書票  
紀田の蔵書票作りは有名。左はその作成例。



た。複数の専門会社に相談していたのですが拉致があかず、やっと昨日になってある会社から送られてきた見本が使える事が分りました。少量にせよ特注するからには、インクジェットはもとよりMacのラベルにも使え、さらにコピー機にも問題がないものと考え、次の仕様で注文しておきました。

- ① 約B5判の全一面の剝離紙
- ② 通常のプリンタ用紙のようにミシン目で折り畳んで連続している。
- ③ 用紙の両サイドにはパーフォレーションを付ける。
- ④ 用紙の色は白色

これなら、MacLabeler (ColorPrintも使用可)は勿論のことで、5インチの物でも十分使用可能だと思います。インクジェットでの色乗りも考えたため、イメージライタのインクが一般の用紙より少々乾き難いようですが、兼用なので仕方ありません。十日位で入手できる予定ですので、出来上がりしましたら是非お試しください。

プロマイドの件、有難うございます。葉書を出してみます。取り急ぎお知らせまで。  
二月二十一日  
松田純一

松田純一様

FAXありがとう存じました。風邪で二日寝こんでしまい、フラフラ二階の機械のところまで来たら着信してましたので、ことのほか嬉しい思いでした。

\*MacLabeler  
簡単にディスクの索引を作成し、  
ラベルを印刷することができるア  
プリケーション。プリンタ用のラ  
ベルが付属している (Ideation  
社)。



ColorPrint はなかなかよいソフトだと思いますが、少し遅いので小生は R A M デスク上にて使用しています。ハードディスクなら大丈夫なのでしょうが。

それから忘れていたのですが、リポンのインクを補充するための MacInker という簡単な道具がありますね。小生は旧タイプと茶色のインクを持っておりませんが、非常によく補充できるので重宝しています。リボンがシットリと生まれかえり、何遍でも再使用が可能なのは驚くほどです。コストも安いし。これは亜土電子あたりでも輸入しているのでしょうか。

ちょうど家内が外出するので、とりあえず M a c のオリジナルゲームを投函させます。キーボードの「E」が出ないという故障のため、小生の感想文が読みにくいかもしれませんが、乞御容赦。

二月二十七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

お体の具合はいかがででしょうか、くれぐれも御自愛くださいませよう。

昨日、初めて漢字 R O M ボードを取り付けるため M a c を開けてみましたが、思ったより簡単なので自信ができました。これなら取り外しも簡単です。ついでに C R T が少々縦横比が狂ってきたので、コア調節ドライバーを買って来て直したりもしてみました。トラブルもなく無事に取り付け完了となりましたが、今まであまり M a c で

\* MacInker  
ComputerLion社製品。42ド  
ルの原始的なツールながら、イン  
ク切れになった M a c その他の機  
種のリポンを再生するという強い  
味方。アダプタを用いれば、マル  
チカラーリボンにも使用可。白リ  
ポンを購入すれば自分で独自の配  
色もできる。(紀)

漢字を扱わなかったので、取り付け以前と比べてどの程度表示が速くなったのかよくわかりません。まあEGBridge等での日本語化の際に、100KB程の余裕ができることが最大のメリットなのでしょうが。しかしプラスにアップデートした場合には、漢字ボードも少々変更が必要とのことで面倒なことです。

ところでMacPlus対応のためでしょうか、最近はソフトの新しい物が少ないようで、98でお茶を濁しております。

Macのインクリボン補充機の件ですが、今のところ亜土電子には入っていないようです。MACWORDなどの広告には載っているのですが、私も一度注文してみようかと考えています。どこか国内で扱っているのが分りましたらお知らせします。

Macのキーボードの「E」が出ないとのこと、お困りのことと思いますがE・A・ポーの『黄金虫』、あるいはシャーロック・ホームズの『踊る人形』を思い出しました。やはり使用頻度が多いのでしょうか？

二月二十七日

松田純一

松田純一様

ただいま一太郎を叩いておりましたら、ちょうどFAXが届きました。いよいよMacをお開けになったとのこと、小生もMacの512Kを入れた時のスリルを思い出しました。

\*『黄金虫』、『踊る人形の秘  
密』

どちらも、英文字26字の中で「E」が一番よく使われることに目をつけて暗号を解いた、古典的ミステリーですね。

このところPlusはなんとも大評判にて、『nibbleMac』や『MACWORD』でも素晴らしく高い評価を出していますね。また『日経パソコン』にも「Macを選んで良かった」という熱烈なメッセージが出ておりました。メディアセールスの会報によると、Excelは旧来のバージョンでも動くと言うことですので、それならMicrosoft WordやFileなども大丈夫でしょう。危ないのはFilevisionやHelixなどではないかと思いますが、来週にでもキャノンに尋ねてみる積りです。

二月二十八日

紀田順一郎

\* Microsoft Word  
マイクロソフト社の代表的英文ワープロ・ソフト。

\* Business Filevision  
グラフィックス機能を駆使したり  
レイシヨナル・データベース。地  
図の特定地点など図形の必要箇所  
をボタンにして、イメージ本位の  
オペレーションを可能にした点、  
HyperCardの祖ともいえ  
る。NASAでも使われていると  
か。

おけるパーソナルな知的生産用に開発された最初のプログラム。使いやすいデータベースとしての基本システムを提供し、そのうえでユーザーの甲斐性に応じ、簡易言語 HyperTalk の活用による展開を行わせようというアイディアは、まことに小面にくいものがある。コンピュータソフトらしくないので戸惑う向きもあるが、このソフトはむしろ、図書館などで草の根データベースが発達している先進国の風土から出たものと理解すべきだろう。パソコンが本当に社会に根づくには、このようなソフトがあつと数十種類は生まれて、パソコン嫌いにも愛されることが必要。高価で熟練者しか使えないソフトがいくら出てもダメなのである。

惜しいところで次点組のソフトとしては、図形用の MacDraw、スケジュール管理用の MacProject、通信の Smartcom II などがあり、これにアイディア・プロセッサの MORE、印刷用の SiliconPress、DTP の Ready, Set, Go! などが続くというのが妥当なところか。個人的な好みとしては、データベース用の DoubleHelix II を強く推したい。その設計思想や感性的要素も含め、dBASE III など問題ではない。真の意味における知的生産ソフトであつて、私が開発者に会ってみたいと思ったほとんど唯一のソフトである。

以上クリエイティブなジャンルのみ限定したが、もともとゲームなどは Mac の本領ではあるまい。それよりも Mac に、メディア批評の対象にしてもよいソフトが多いことに注目したい。現状における日本のソフトはメディアになっていないし、また開発者本人にそのつもりもないから、きびしい批評を受けるとカッとなる。メディアなら、批評に耐えなければならない。パソコン誌の論争を見るにつけ、嘆息させられることしきりな昨今である。

私が選んだ

## MacのソフトBEST 3

数多い Mac のソフトの中で三つを選ぶとすれば、順不同でまずグラフィックス用の MacPaint を挙げたい。Mac の特性を最大限に発揮し、コンピュータ・グラフィックスの世界を大衆のものにした功績たるや、開発者ビル・アトキンソンも意図しなかったところであろう。現在モノクロしかサポートしていないが、PixelPaint や Illustrator88 などの、有力カラーグラフィックス・ソフトの源流である。それどころか DTP 一般のソフトや、日本のグラフィックス・ソフトもすべてこの MacPaint の影響を受けざるものはない。その意味では最も追随者の多いソフトで、現在でもこの独創性を超えるものはない。光ディスクをベースとした NeXT のグラフィックス・ソフトが、この影響からいかに脱するか刮目して期待したいところ。

次に、Microsoft Excel を挙げる。もともと Apple 系のソフトには、スプレッドシートの第一号として VisiCalc があり、時の流れで後発 IBM 用の Microsoft Multiplan に主流の座を奪われたといういきさつがある。この Multiplan に Mac の革命的な操作性をプラスしたのが Excel であるが、使用勝手はまったく異なる。

いったいスプレッドシートは、セル幅を決めたりセルの定義など基本的なコマンド操作が厄介だが、Excel はマウスによってセル幅を自在に調整できるし、プルダウンメニューを見れば、いちいち煩雑なコマンドを覚えることも不要。はじめて筆記感覚でスプレッドシートが使えるようになった。ビットマップをベースとしたシステムのため、罫線や出力形式も自由に整えられ、Mac 本来の特徴であるフォントの選択も可能。計算ばかりでなく、スケジュール管理や、簡便なワープロとしても活用できる。フレキシビリティとアイディア開発性を備えていることにおいて、ほとんど理想的な実務ソフトといえる。

データベースの HyperCard も、逸することはできまい。本来の意味に

MARCH  
3月

大漢和辞典よもやま話 ◆ 松田、無停電電  
源装置を設置

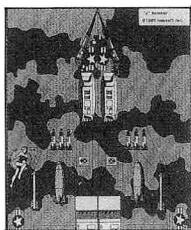
紀田順一郎様

ただいま、The Great International Paper Airplane Construction Kitという紙飛行機をプリントするソフトを試していますが、好き嫌いはともかくこれも大変ユニークなソフトです。緑色とか茶色でプリントした紙飛行機は、すてきなオブジェといった趣があります。アメリカ人が作ったものらしく(?)、点線の通りに折り込んで作っても左右対称にならなかつたり、うまく飛ばないものもあります。

本日B5判のラベル用紙を少しお送りしましたので、御笑納ください。これはインクジェット用としては良いのですが、イメージライタ用として使うには myDisk-Labeler の付属用紙と同じく少々紙厚のため、プラテンとヘッドの距離を最大にしても、ベタが多い場合などに汚れが目立ちます。今回は既製品を組合わせて作ってもらったため、細かな注文が出せませんでしたが、早々にイメージライタ専用のラベル用紙を作るつもりです。その他、先生のアイデア等がございましたら是非お聞かせください。取り急ぎご案内まで。

三月二日

松田純一



\*The Great...  
長つたらしい名前だが、要するに画面上で飛行機の図面を描き、プリントアウトして組み立てるといふソフト。こういう遊び、ころがMacの真骨頂です。

松田純一様

B5判ラベル用紙拝受しました。ありがとうございます。どしどし実行されていくところ、敬服するのみです。このような用紙の方が、myDiskLabelerのどれよりも便利ですね。サンプルの意匠やカラーも実に綺麗で、アメリカのMacファンが見たら脱帽ものでしょう。これで、映画のラベルなどを作ってみたいと思います。

映画といえ、さきの稲垣書店に注文した写真が届きましたが、あんまりよい凶柄のものではないのに（たとえば『つばさ』といってもクララ・ボウのものはなし）四点注文で数千円についてしまいました。

三月六日

紀田順一郎

紀田順一郎様

ラベル用紙が少しでもお役にたてば幸いです。Macで使うラベルとなりますと、イメーシライタの紙送りの問題などでやはり10インチの物が良いようですね。このイメーシライタ用のラベル用紙については、再度メーカーと検討中です。

昨日は衆議院議員の秘書をしている友人の事務所にNECの自動応答システムおよびビデオテックス・システムとホストコンピュータが入ること、行ってまいりました。この関係上、PC-9801をターミナルの一つとして幾つかのモデムと一緒に設置するのが私の役目となりそうです。近い将来には私の所にも強制的にビデオ

\*『つばさ』  
Wings（一九二七）。第一次大戦を背景にはじめて本格的な空中戦シーンをとり入れた米映画の古典。ゲリー・クーパーがわき役でデビュー、主演のヴァンプ女優クララ・ボウを食ってしまったことでも有名。（紀）

テックス端末が付けられそうです。政治的な使い方にはあまり興味がありませんが、とにかく大変な時代です。

本日、Mac用と98用に無停電電源装置を設置しました。私のようなアマチュアにとっては贅沢なのですが、ハードディスクを多用しているため、何度か決定的なダメージを起こしそうになったことがありますので。ハードディスクのアクセス中にコピーマシンの電源をONするのも、大変危険なことのようですね。いろいろ調べた結果、高見沢サイバネテックスという会社のTUPS500を購入しました。5アンペアの出力が可能なこと、過電流保護にはヒューズではなくブレーカを持つていること、バックアップ時間が100%負荷時10分、50%負荷時二十分可能なこと、そしてスルーコンセントを含めて六個の出力コンセントを用意してあることなどを考慮しました。コンパクトな設計と宣伝されていましたが、それでも98本体くらいの大きさがあります。これで安心して使用できますが、予想外の出費でもあり大変です。

三月八日

松田純一

松田純一様

FAX拝見。ビデオテックスの端末とは面白そうですね。情報検索の方面につながる可能性がありそうですね、興味があります。無停電電源装置もたいへんすばらしいことです。Apple II時代にGuardian Angelという周辺機器がありましたね。買おうかと躊躇しているうちにMac時代になってしまい忘れていましたが、小生も

\*無停電電源装置  
 停電などのアクシデント時に、バックアップ電源により数分間パソコンへの電気の供給を続けてくれる装置。その間にデータの保存などをすることによってディスク等の破壊を防ぐことができる。ハードディスク所有者にはもはや必須のアイテム？。



一考したいと思います。今回拙宅の改築にあたってはだいぶ電源の安全装置に資金を費やし、動力用を入れましたので、たとえば負荷ならコピーマシンぐらゐは絶対大丈夫になっているのですが、停電対策となるとゼロですので心配です。

風邪はなんとか峠を越したようですので、治ったら亜土電子あたりを覗いてみようと思います……。

三月十一日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAXありがとうございます。本日、サンフランシスコで二月十六日から十八日まで行なわれた Mac World Expo の記事を読みました。それによりますと、案の定カードパーティが 16MHz の MC68020 と MC6881、それに 4M バイトのメモリを搭載して DEC 社の VAX80 に相当するパフォーマンスを実現した Mac Super20 を展示したという記事が目を引きました。また、FullPaint という MacPaint の機能強化版ソフト、レーザーライタのアプリケーションソフトなどが出展されていたそうです。今年には本当に、Mac から目を離せない年になりそうです。

先生も風邪が峠をこされたとのこと、安心しました。神保町にお越しの折には是非お声をかけてください。懸案の(?)夕食をご一緒させていただく件も楽しみにしております。グルメ等には縁が遠い私ですが、懐石料理に白ワインが案外合うと山の上

\*MacWorldExpo  
毎年米国で行われるMacの  
ソフト・ハードのショウ。日本  
のMacのショップも、この  
ショウの間は店員がアメリカ  
に行っていて休みになったり  
する。

\*山の上ホテル  
駿河台の瀟洒なホテル。作家が原  
稿書きのためカンツメにされるの  
で有名ですね。

ホテルで教えてもらいましたので、ご案内したいと思います。

追伸 一太郎がバージョンアップするそうですね。

三月十二日

松田純一

松田純一様

Helix 発展版 DoubleHelix が来ました。こういうメモリ容量の大きなのを見ると、ハードディスク入手を急がなければと思います。Plusへの期待は大きいものがありますが、先日新宿の01ショップで店の人の人と四方山ばなしをしているうちに、現状ではROM以外はソフトがほとんど走らないという事で、ちょっと考えています。小生はほとんど海外から直接ソフトを取りよせているので、また一から買い直さなければならぬからです。ただし、BusinessFlevisionなどはもう次世代が出てしまっていますし、ThunderScanは新版にするつもりになっていたところですし、PFSなどは使う気にもならなくなっていますので、仔細に考えればそれほどダメージはないかもしれません。マイナーなディスクラベル用ソフトとか、デスクアクセサリー関係は諦めるほかないでしょう。それから当分は、カタログを見るとときPlus対応かどうか用心する必要があるでしょう。例によってしんどいことです。

一太郎のアップデートは朗報ですね。現行版も機能的にOASYSを凌ぐという噂で、ヨドバシあたりでは売場に山のように積んであるのがどんどん減っています。

\*一太郎  
いよいよVer.3に。

\*DoubleHelix  
一九八七年発売のHelix発展  
バージョン。

\*01ショップ  
ゼロワンショップ新宿店。三井ビル二階にあり、キヤノンとMacの製品を取りそろえている。

大雪のさい長時間停電があり、だいぶ苦しめられました。FAXも具合が悪くなり、諸方から一通も入ってきていません。調べてみたら後部スイッチが下りていたので、あるいはそのせいかもしれません。申しわけありません。宅配便も遅れているようで、二十三、二十四両日は送受ともに一件もなく、心配しております。とりあえず……。

「懸案」の山の上ホテルは大変期待しております。

三月二十四日

紀田順一郎

紀田順一郎様

先ほど帰宅しましたら『大漢和辞典を読む』が届いておりました。高価なご本を本当にありがとうございます。この本は、先生の蔵書票案内に書かれていた時から是非読んでみたいと考えていたものです。「大漢和辞典」そのものも本当は欲しいのですが、パソコンの置き場所が無くなってしまいそうなのでどうなりますやら。

昨日、こちらの方は本格的な停電こそなかったものの瞬間的に電気が寸断する状態が随分と続きました。先生のFAXのとおり、一時は電話も誤動作したりで散々でしたが例の無停電電源装置が初めて作動し立派に役目をはたしてくれました。

取り急ぎ御礼を申し上げようと遅い時間を省みず、FAX申し上げます。

三月二十四日

松田純一

\* 『大漢和辞典』を読む  
紀田順一郎編（大修館書店、一九八六）。諸橋轡次『大漢和辞典』の出版史、エッセイ、ガイド等を収録。（紀）



APRIL  
4月飛び交うMacユーザーの情報◆紀田の  
松田、山の上ホテルにて食事

松田純一様

FAX拝見。『大漢和辞典』は小生も今回の修訂版まだ買えず、縮写版で代用しております。机上では『広漢和辞典』のほうが使いやすいのですが、この種のものの中には中途半端では飽きてしまうのかもしれない。それから諸橋轍次氏の名著として、平易で心に滲みるような思いをしたものに『莊子物語』（二九六四）があります。小生は古書で見かけるたびに購入し、知友のかたがたにさしあげてきましたが、今回は松田さんに謹呈申し上げたいと思います。だまされたと思って、一章読んでいただければ幸いです。

myDiskLabeler の Ver.2.0 は御覧になりましたか。先日 Ver.1.1 を購入したばかりで、もうアップデートされるといいうのも小癪です。差額アップデートを考えていないうえプロテクトには熱心という会社ですが、MacPaint で作成した絵を入れられるしフォントも選択できます。システムに UltraFonts などを入れるとグッと変化が出ます。ただし文字だけのラベルでファイルディレクトリを入れる場合、一項ずつ Move しないとハングアップすることあり。おそらくバグでしょう。このところ安売りディ

\*『大漢和辞典』の縮写版  
一九五五年刊の元版（B5判、全  
十三巻）をそのままA5判に縮小  
した普及版。現在は元版のアップ  
デート版（修訂版という）が発売  
され、縮写版は絶版。（紀）

ラーは円高ゆえに国際取引が不利と思っているのか、応答がありません。  
四月二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

『莊子物語』のご本が届きました。是非楽しく読ませていただきます。

昨日、Macの音楽用ソフトであるConcertWare+のVer3を購入しました。以前ピアノやクラシックギターを楽しんでいた関係上、クラシック音楽が好きなのですが、このソフトもなかなか楽しめます。三連音符、途中での楽器（音色）の変更、そしてMIDI対応などが目新しい点でしょう。

『大漢和辞典』ですが、何日か前に知人にその話をしたところ、縮写版を持っているが全然使わないので持って行けという話になりました。今まで辞書の話が出たことはあっても『大漢和辞典』の話題は皆無でしたのに、これも面白い巡り合わせのような気がします。

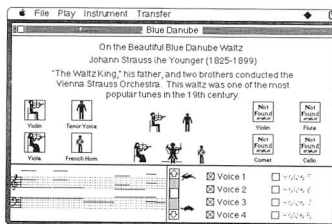
毎月のことながら月末はいろいろな意味で疲れます。さらに今日追い打ちをかけるように、来週から税務調査が入るとの通知があり暗い気持です。

ところで先生。税務調査あけ（十日～十一日、十四日～十六日）にでも懸案の件いかがでしょうか。

四月四日

松田純一

\*税務調査  
あらゆる業種を対象に、抽出的に狙いをつけて行われる税務署の監査業務。数年に一度はまわってくる仕組みとなっている。



\*ConcertWare+

松田純一様

ConcertWare+は、以前の作曲ソフトに比較して非常に進歩していますね。これできどき浮かぶメロディーを記録できたらと思います。

エルゴソフトからEGWord、EGBrigeのPlus用アップデートの案内がきました。従来のは使えなくなるということですが、最近バージョンからの更新料が三千円と、まずまずの値段でアップデートができそうです。

このところ著書の追い込みで往生していますが、懸案の件、十五日（火）に神保町に行きますので、ご案内いただけませんか？ もしよろしければ五時頃おうかがいたします。楽しみにいたしております。

四月八日

紀田順一郎

紀田順一郎様

お仕事の追い込みとのことですが、いかがでしょうか。本日まで税務調査にかかりきりでしたが、やっと解放されました。話には聞いておりましたが、金庫はもろろんのこと、その中の手下げ金庫まで見せることを要求され散々でした。難しいことは私も不得意ですが、もつと血の通った税制にならない限り、企業が喜んで税額を払うなんてことにはならないでしょうね。

本日帰りにタクシーで上野を通ってきましたが、花見の人々で結構なにぎわいでし

た。人々の楽しそうな顔を眺めながら国電に乗り換え、例の『壮子物語』を読みながら帰ってきたところですが、壮子のいう理想郷とはあまりにもほど遠い現実を省みて苦笑を禁じ得ません。『大漢和辞典』ですが、知人の縮写版を譲ってもらうことにしました。とりあえずというには大きな買物ですが、タダ同然だったこともあり、辞書読みの楽しみを味わうと共に活用の仕方を勉強してみようと思います。

今日は一週間ぶりくらいですが秋葉原を回ってきましたが、残念ながらこれと言った収穫はありませんでした。

懸案の件、ご返事ありがとうございます。嬉しく拝見しました。十五日（火曜日）の五時ごろ神保町の弊社でお待ちしております。

四月九日

松田純一

\*神保町の弊社  
松田の会社は神保町の真ん中にある。この界限に詳しいのも当然。

紀田順一郎様

Mac Plus に関する対応表が手に入りましたので、送信申し上げます。本当はもっと詳しいものがあるのですが、入手できませんでした。細かい字なのでお読みになれますかどうか。それからやはり ThunderScan は現在のバージョンではソフトは OK でも外部から電源をとらなければならないようです。MACIO は亜土電子の広告によると、プラス対応となっていますが、念のため現在確認中です。

四月十三日

松田純一

松田純一様

火曜日にご馳走にあずかり非常に恐縮しております。実においしい料理でサービスも行き届き、あのマスターのお人柄が反映しているのかと思えました。

Mac Plus の適応表、ありがたく拝見しました。目下の小生には主要関心事ですので、ことのほかありがたく思いました。アップデート・キットなるものが付くよう、当面最も使用頻度の高い MacPaint や Excel あたりは問題ないようですね。ただ、ThunderScan と Helix あたりが面倒なようで、これは困りました。ともあれ、安心したような反面がっかりしたような複雑な気持です。とりあえずお礼まで……。

四月十七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

夜分に失礼いたします。先日はご多忙のところ、お付き合いただきありがとうございます。ございました。垂土電子で Mac のクーリングファン、MacBreezer を見つけました。効果がどのくらいかは私もこれからなので不明ですが、幸いなことに音がまったく気になりません。

なおすでにご存じかと思いますが、SoundCap という一種のオーディオデジタルを見つけてました。これはカセットテレコなどから音声を Mac にデジタル化するもので、いったんとりこんだあとはデータのカット & ペーストはもちろん、Backward

\*ご馳走にあずかり  
山の上ホテルのレストラン「アピ  
アント」のこと。詳しくは本書六  
十二ページ参照。

\*MacBreezer  
Mac に内蔵する超小型冷却ファ  
ン。ファンといっても通常のもの  
とは違い、二枚の小さなプラスチ  
ック板を振動させてウチワのよう  
に風を起す方式のため、音がほ  
とんど気にならなかった。(松)

\*SoundCap  
音をマイク等から入力して Mac  
で録音・再生（いわゆるサンプリ  
ング）できるハードとソフトのセ  
ット。ピーブ音やタイプ音をサン  
プリングした音に替えるユーティ  
リティが付属している。また St  
udio Session の楽器の  
音源にもできる。



Amplify` Reverse を始めとして加工が可能になっています。これで完成したデータは StudioSession (今月末くらいに入手できる予定) や VideoWorks などの音源としても使えるとのことでした。Mac の音の良いのに改めて驚かされました。

四月二十三日

松田純一

松田純一様

MacBreezer は Mac 本体の回路に挿入するという意表をつく製品ですね。ちょうど『MAC WORLD』を見ていましたら、夏を控えて各種ファンが Kensington などから数種類も出ており、しかもそのすべてが本体のてっぺんに嵌め込むものばかりだったため、この MacBreezer がひととき革命的に思えます。

SoundCap はこれも従来の音楽ものとは違って、本格的なものですね。このような洗練されたソフトがどんどん出てくると先が楽しみです。すでにプレイヤーのカタログには名前だけではよくわからないソフトが急激に増えてきて、Apple II の場合では四、五年かかった成熟現象が早くも到来したのかと思います。

四月二十五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

本日十一時頃『東京情報コレクション』の本が届きました。ありがとうございます

\* StudioSession  
カセットテレコの画面で有名なミュージックソフト。楽譜で曲を入力し、楽器を選ぶとその曲を演奏してくれる。カセットデッキのようにちゃんとテープやカウンターが回転するので、みんな大喜び！

\* VideoWorks  
アニメーション作成ソフト。絵と音に強い Mac の本領を発揮できる。現在はカラーに対応した VideoWorks II になっている。

た。何か最近は、「東京」に関する書物が随分と多くなっていますね。一種のブームのようですね。「東京は住むところではない」という方も多いですが、私は小さなコンクリートの中に住んでいても、良い意味で刺激のある東京が好きです。

先に送らせていただきましたSoundCapのデータは安物のカセットプレーコーダから取り込んだものですが、CDで入力すると当然のことながらノイズがないのがよくわかります。『MACROWORLD』誌によると、これがハード込みで一五ドルだということですから驚きです。私は垂土電子で三万一千円で購入しましたが……。同時にMACIOハードディスクについて聞きましたところ、プラスでの動作は確認済みとの話でした。

それにしてもPlusへのアップデートは遅れそうです。ですが、現在すでに販売されているMac Plusの一部のROMはまだ最終バージョンではないとの情報もあり、どうなってるのかわかりません。また別の未確認情報によりますと、アップル社で漢字版のMac Plusを出すことに決まったとかの噂もあります。それについてもROMのアドレスを考えると、Apple II J Plusと同じ道をたどらざるを得ないなどの危惧も聞かれます。

四月二十七日

松田純一

\*『東京情報コレクション』  
講談社現代新書編集部編(一九八  
六)。秋葉原、神田神保町から麻布  
の温泉、荻窪のトマソンまで、従  
来ふれられなかった巨大都市の細  
部を徹底紹介した東京ガイド。

\*Apple II J+と同じ道  
Apple II J Plusは、A  
pple II PlusのモニタR  
OMを変更してカナ表示をさせる  
ようにしたため、一部のソフトで  
は問題が起こり、事実上このふた  
つの機種はフルコンパチでなくな  
ってしまったことを指す。(松)

紀田順一郎様

夜分お騒がせ致します。先生！ 風邪で寝込んでいなければよろしいのですが、具合は如何でしょうか？

本日届いた『日経バイト』に、Macの特集が載っていました。日経の記事ももう少し突っ込んだところが欲しいのですが、Macの記事自体が珍しいので読んでおります。

本日 MacLabeler を入手しました。MyDiskLabeler とは一風違ったものです。連続ラベル用紙が付属していましたが、印刷すると輪郭をプリントしてくれるので例の11インチラベル用紙でも使いやすいかも知れません。しかしグラフィックスが使えないのは残念です。

亜土電子でのニュースですが、ThunderScan のプラス用アダプタが五月中に入荷する予定だそうです。

おからだを大切にしてください。では……。

四月三十日

松田純一

松田純一様

— FAX 拝見しました。ご心配かけてあいすみません。『日経バイト』の Plus に関する記事、小生もざっと一読しました。バッチ処理機能がないなど見当はずれの批

評もありましたが、まずまずの特集ですね。昨日キヤノンの人に聞きましたら、十九日に日本語処理機能搭載のMacPlusの記者発表があり、晴海で大々的にデモするそうです。そのほか若干のサブライあり、ということでした。小生もプラスにはしますが、どうもバイトの記事ではCPUを変えたものも出るとの噂があるようです。この分野での噂は当たっていることがあるので恐いです。そうなるとまた、ソフトとの問題が出てきそうです。いまやアップルは生き残るために過激なことを平気でやるようになりつつあるので、油断なりません。

とりあえずご返事まで。明日は東京サミットの戒厳令下を、場所も国会図書館に行かねばなりませんので、憂鬱です。

四月三十日

紀田順一郎

■ ■

MAY 5月

■ ■

漢字Tarkは期待はずれ◆好評の新一太郎

松田純一様

MacLabelerは使いやすいですね。プリントアウトに際して、myDisklabelerのようにマージン合わせが難しくないので、非常に手軽です。マニュアルにはアイコンでバ

\*東京サミットの戒厳令下  
一九八六年五月東京で開催された  
第12回主要先進国首脳会議。中曾  
根、レーガン、サッチャー、ミツ  
テランほかが来日。丸の内、竹橋、  
霞が関周辺の警戒は空前のものが  
あった。

ックアップが取れるが、その場合は何回かブートすると使えなくなってしまう旨の注意がありますね。多分松85のようにカウントしているのでしょうか。

ところで小生『家庭画報』という雑誌に、神田辺りの喫茶店やうまいもの紹介をコラムで連載していますが、一つお願いがあります。先日ご馳走になりました山の上ホテルの和食が味といい雰囲気といい大変気に入りましたので、二、三お教えいただけないかと思うのです。小生がもう一度訪問すればよいものの、今日雑誌からの連絡で切りが早くなり取材時間がありませんので、まことに厚かましく恥しい限りなのですが、店名、料理名(セット名)、およその値段などをお教えいただけませんか。字数があまりないため詳細でなくて結構ですので、なんとかお助けいただけると有難いきわみです。とりあえず、お願いまで。

五月七日

恐惶謹言  
紀田順一郎

紀田順一郎様

FAX拜見しました。お問い合わせの件ですが、概略は以下ようになります。

◎店名 山の上ホテル別館一階 ダイニングレストラン「アビアント」

◎電話 ○三(二九三)二三一一(代表) 内線二二八

◎メニュー ・懐石料理(一汁八菜) ￥一二、〇〇〇

(二汁十菜) ￥一五、〇〇〇

\*松85のように  
往年の松85はプロテクトがきつかった。コピーツールなどでコピーをすると、システムを32回(?)以上立ち上げるときにオリジナルを要求して来ました。

\*「家庭画報」  
ペテラン女優がいつも花束を持って写っている表紙で有名な婦人雑誌。若い女優が水をひっかけられている「ザ・ベストマガジン」とあらゆる意味で対照的。女性向けにしては厚くて重たいので、レジまで持っていくのが大変。

\*アビアント  
昨今流行りの「おいしい店ガイド」といった本には、フランス料理店として掲載されていることもある。現在は値段に変更あり。

・天麩羅コース  
辛九、〇〇〇

・洋食  
辛九、〇〇〇より

※上記金額は一人分の値段で、税金・サービス料は別です。

是非またお時間のある時にでもご一緒させてください。

今日初めてAMIGAを触わせてもらいましたが、その色彩と音は素晴らしいものでした。使い勝手は初めてなのでよく分かりませんが、いくつもの分割したウインドウ内のアニメーションがそれぞれ高速に動いている様は圧巻でした。それにしてフルシステムでMacより安いのですから、Macもうかうかしてられないですね。Macのアップグレードが十九日から開始とのニュースが入りましたが、スムーズに行われるのかは疑問です。

五月七日

松田純一

松田純一様

昨日はグルメの件、恐縮でした。短文ながら紹介文を書いてみたいと思っております。今まで、三省堂地下のオクセンや筋向いのランチョンなどのほか、喫茶店としては古瀬戸、ロータス、サモアール、ラドリオほかを採りあげてきましたが、どうもマンネリ気味でしたので嬉しい限りです。

昨日は雑誌『プロンプト』主催のパネルに出ましたが、98やIBM-PCの話ばかり

\*AMIGA  
米国 Commodore 社のパソコン。  
Mac よりも低価格なので米国内では特にホビュースでは人気。

\*オクセン

神田駿河台下の三省堂書店地下二階にあるドイツ料理レストラン。

\*ランチョン

神田神保町二丁目にあるレストラン。吉田健一が古書店散策の途中、必ず立ち寄ったことで著名となる。

\*ラドリオ

カフェオレが売りもので、直木貴候補者が決定待ちに利用するサテーンといえはこの店。明大文学部の学生や一見文士風の出入りする。首都圏では数少ない文芸同人喫茶だが、80年代に入り店舗面積が半分となり、魅力やや薄れる。

りで、Macのことなど話題にもなりませんでした。機種がマイナーになってしまったということだけでなく、近未来の展開を考える場合、UNIXやTRON、さては32ビットなどという話題ばかりになって、その中にMacの座がないという印象です。一方では新しいPR誌を出すメーカーが拙宅に取材にきた際、Macでの遊びを見せると、初めて愉しい使い方に接したという表情になることもあり。まだMacの真価が知られていないわけですね。

ビジネスショーへはお出になるとと思いますが、招待日(二十一、二日)の券がご入用ならお送りします。小生本の企画があるため、行けるか否か微妙な情勢です。もっとも水曜日、木曜日ではなかなかお時間がとれないかもしれませんね。

五月九日

紀田順一郎

紀田順一郎様

しばらく御無沙汰しました。昨日用事の途中に、ハイテックスへMac Plusの日本語版発表会を見に行ってきました。漢字Taikを確認するのが目的でしたが、まだ不安材料が多いようです。個人的な好みになりますが、フォントが想像以上に良くないように感じました。ただ面白かったのは、エプソンの漢字プリンタにMacをつないで、24ドットの綺麗な漢字を打ち出していたことです。漢字コードを出力するドライバをMacのイメージライタ・アイコンに追加しただけのテスト的なもので、

\*「プロンプト」

日刊工業新聞社が一九八五年に創刊した月刊パソコン総合情報誌、年一回ソフト・コンテストを行っている。

\*ハイテックス

ESDから独立したスタッフで設立されたマック・ショップ。店頭にはふしぎに外国人客が多いが、主として企業関係にシステムを販売している。付近に江戸時代の伝馬町牢獄の跡がある。

\*漢字Taik

Mac用の日本語OS。外国製のアプリケーションでもApple社のガイドラインに添っていれば、このOSを使用することで、日本語の入出力ができる。

グラフィックはもちろん野線もサポートしていない段階でしたが……。ビジネスショーやマイコンショーには行けませんでしたが、先生は行かれましたでしょうか。

Studio Session がハイテクスに入荷していたので購入してまいりました。最近の例に洩れず、コピーディスクでブートすると、デスクトップ・アイコンをオープンした時点でオリジナルディスクを要求してきます。また、MagicSlate と FullPaint、VideoWorks も購入してきました。

五月二十五日

松田純一

松田純一様

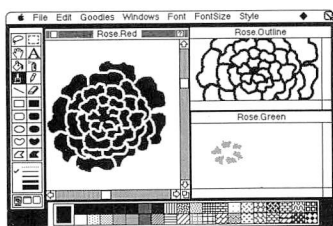
FAX 拜見しました。ビジネスショーは無理して見てきましたが、カシオの液晶プリンタ、シャープのワープロ WPD5000D、松 86 (五万八千円)、Lotus 1-2-3 (九月発売)、シロッコ (98 対応) などのほかは、さほど感銘を受けたものもなく空振りでした。

問題の漢字 Taik については、小生もやや期待はずれの感をいだいたのですが、値段は同じだし EXCEL 日本語版と組み合わせる能率的に使用できるようなので、六月以降の出荷を待つて購入したいと思っております。小生 Excel でスケジュールと金銭管理も行っていますので、能率上のメリットはあります。

さて、注文が二ヶ月遅れで BatteryPak と MacArtDept が二セット入ってきました

\* FullPaint

MacPaint の拡張版ともいえるソフト。複数のウィンドウが同時にオープンできるのが嬉しかった。AnArborSoftworks というサードパーティーの製品だ。



\* The Mac Art Dept

150以上のグラフィックイメージを集めたソフト。レーザーヘッドやメモの飾りに使える。



た。それから FullPaint というソフト、小生まだ広告を見ていないのですが、一応アメリカにオーダーしました。ディーラーで五十何ドルですから、安いものです。国産のものにはこのような楽しいソフトはありませんし、あっても高価ですね。昨今は Pius へのアップデートの件で、ソフトの注文は控えている状態ですが、これなら大丈夫だと思います。

今日仕事のついでに秋葉で新一太郎を見ってきましたが、なかなかのものでした。これでは、松86が現状のまま同値に下げても太刀打ちできないと思います。

一カ月余断続的に続いた風邪もいちおう癒ったのだと思います。ご心配かけてまことに済みませんでした。

五月二十五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

新一太郎は噂どおりよいようです。アップデートの確認案内は到着しているのですが、現物は六月に入ってからからの発送になると聞いています。1MBのRAMボードを使ってRAMディスクとして辞書を使っていますが、大変気に入っています。したがって、最近の5550は完全に女房独占となってしまうました。

六月に入ったらなるべく早目に MacPlus の件をかたづけたいと思います。周

辺機器にしろソフトにしろ、本体が決まらないことには焦点がぼけてばかりで落ち着きません。では失礼いたします。

五月二十八日

松田純一

松田純一様

Mac Plus は英語版の発売を打ちきり、今度は漢字Talk搭載のものだけとなるようです。日本語以外の性能はPlusとまったく変わらないそうなので、安心です。漢字Talkは札幌のソフトハウスが作ったものをApple社がキャノンを通じ直接販売するもので、辞書などは従来のEGWordと比較して充実しているようです。ただしEGWordよりずっとメモリを食いますので、その点ではEGもまだまだ生命ありと言うことらしく、アップデート(PlusおよびTalk用)を依頼しておきました。

ところでアップルコンベンションは期待しているのですが、どうも今のところ参加者が少ないそうです。アップルは少数派ですし、ややユーザー年齢が高く医者などの専門職も多いそうですので、あまりオールナイトコンベンションという形式に馴染まないのかもしれないですね。最近拙宅を訪れる編集者が、「Macは少数派のはずだが、この企画に関する限りでは五割の人が持っていた」などということを言います。偏っているのでしょうか。それはともかく、少数でも挙行すればよいだけですが、コンベン

\*アップルコンベンション、  
九十三ページ参照のこと。

ションとなるとよそからも一応注目されますので、なるべく多いほうがよいのは当然です。

この分と同時に送信しますのは、過日ビジネスショーでもらってきたカタログの一部です。もうご覧かも知れませんが、また読みにくいかと思いますが、前回の互換表とは違う部分もあり、いちおうお送りいたします。とりあえず……。

五月二十九日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日はFAXおよびソフトの対応表ありがとうございました。今のところこのような対応表だけが頼りです。完全に日本語化されたBASICも魅力があります。漢字Talkはアプリケーションソフトのメニューやウィンドウまでをも日本語化できる機能を持っているとのことですが、いまひとつ不明なところもありますので、二、三日内に確認したいと考えています。漢字Talk搭載のMac Plusは六月二十日出荷とのことですが、楽しみです。

アップルコンベンションの件、参加者の件は私もお聞きしておりますし心配していません。役員の方々の間にもいろいろな意見があるようですが、余計な口出しをしてはと思います。様子を見させていただいております。徹底してパソコンショップとかメーカーなどのスポンサーを排してと考えておられるようですね。現実に費用もかかるでし

ようが、大変だと思えます。

話は98になりますが、エプソンから画像入力カメラシステムGT-20が発売されました。MOS型固体撮像素子を使ったカメラ部分とインターフェースカード、そしてソフトウェアとのセットで十万円を切った値段です。このところ1200ポールのモデムと言い、エプソンも低価格でユニークな商品を発表していますので、今後が楽しみです。

五月三十一日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございました。98用のソフトはいいものが次々に出るようですね。一太郎もヨドバシカメラなどでベストセラーになっているとのことです。

本日EGWordとEGBridgeV2.2を入手しました。発売元の話では、Tankとは開発上まったく無関係だとのこと。無論Tank搭載のSuperMacでも問題なく動くようですが、将来の問題もあって、目下代替的なソフトとして位置づけてもらう交渉中とのこと。メモリなどの点では、自分達の方が優れていると自負しているようです。系のアドバースによると、MacPlusは800Kドライブを購入せずハードディスクを狙った方がよいのではないとのこと。考えてみれば内部ディスクは800Kになるので、メインプログラムのローディングは速くなり、あとちょっと我

\*画像入力カメラシステム  
エプソン社製の98用画像入力装置  
GT-20。MOS撮像素子を使  
ったモノクロカメラをRGBの三  
色フィルターを介して三回取り込  
みをし、カラー画像にする方式を  
取っている。(松)

慢すればよいわけです。一理ありますので検討してみようと思います。

なお、Paradiseなどサードパーティのハードディスクは七割がたコンパチですが、Plusにつなぐとファイル形式が異なるので、DiskLabelerなどのような単純なソフトでも動かないものが出てくるそうです。なお、ESDはApple市場から撤退し、Paradiseを含めて販売品のサポートも無理なような状況となっているそうです。

コンベンションの参加申し込み者は目下わずか数名ということですが、ボツボツ『ASCII』、『SFマガジン』、『日経パソコン』などの雑誌にも広告が出るとのこと、尻上がりによく見える見通しとのこと。小生としてはキヤノンあたりの顧客を紹介してもらって、ダイレクトに呼びかけたほうがよいのではと思うのですが……。

五月三十一日

紀田順一郎

●松田純一

物は高すぎるぞ！」と文句を言いながら。

ところでホテルに帰れば、翌日の会場回りの予定を立てるために見たいブースのチェックをし始める私たち……。Mac 病の熱は、やはり何物にも負けず強いようだ。



# ウィンドウから見えるアメリカ

Macintosh と Apple が好きな人間としては、一度は参加してみたいお祭り、それが MacWorld Expo である。前年の夏に SIGGRAPH'87 という CG 学会に参加するために初めて渡米した勢いで、1988年1月にサンフランシスコで開催された MacWorldExpo に行ってみることにした。

晴海の見本市の大会場をいくつもつなげたような大きな会場に人、人、人である。それも当初考えていたような子供達の姿はほとんど見えず、サラリーマンや OL とみられる大人達がほとんどのようであった。

またこれも日本では考えられないことだが、現役を退職したような年齢の男女、すなわちおじいさん、おばあさんの姿も多く見られたのには、あらためてアメリカのパソコンユーザー層の厚さを知る思いがした。そのおばあさん達も、ただ単に会場を見て歩くだけではない。あるおばあさんなどは、自作の上着の背中に、これまた自作の大きな6色のアップルマークを縫いつけて、この会場にいる喜びを全身で表しているかのようだった。なんと言っても、会場全部が Mac であふれている催し物なのだから。

Apple 社にも行った。アップルコレクションで念願のアップルグッズも買えた。そしてクパチーノにある Apple の工場も見ることができた私たちは、その嬉しさに楽しさに酔いしれていた。いい歳をした男が、まるで若い女の子がキャラクターグッズを見るような目付きで、Apple の3日間を楽しんだ。

しかし、である。いくら Mac のために来たからといって、アメリカそのものを堪能しない手はないと考えて、中年のオジサンとは思えないパワーで遊び、そして食べまくった。ピストルも撃ちに行ったし、レコードやレーザーディスクも買いに行った。また本屋も回ったし、天麩羅や鍋焼きうどんも食べた。当然の事ながら、Fisherman's Wharf へケーブルカーで行き、新鮮でべらぼうに安いシーフードも食べた。「日本の食べ





システムに不安があったからなのですが、Talk版Macには期待しています。

六月一日

松田純一

松田純一様

ハードディスクのことですが、ご承知のとおりPlusではファイルが階層ディレクトリに変更になってしまいましたので、それ専用の純正ハードディスクが512K Macでは具合が悪いというわけで、今後Plus用に書かれたソフトだけを使用するだけなら構わないということでしょう。サードパーティーのハードディスクは本来512K時代の製品ですから、現行512Kで好調なのは当然ですが、ソフトが完全にPlusの特性を利用したものと、上記ファイルの関係で使用できないケースがあると思います。とくにデータベースに不安があります。多くのデーターはデータベースが苦手ですので、まだPlus上で使いこんでいないのではないのでしょうか。なお、EGBridgeはなかなか性能がアップされていますので、従来不可能だったソフトについてもいける率が高くなっており、Plus上での使用が愉しみです。

六月三日

紀田順一郎

松田純一様

PlusないしはTalkについて以下のことがわかりましたので、お知らせしま

す。Talkは立ち上がりから日本語OSになりますので、当面英語OSのソフトとのデスクトップ上からの互換性が問題になります。そこで立ちあがりを英語にするためのPrebootディスクを付けるという方法をとることになるそうです。まあ、システムディスクの一種でしょう。したがって、当座日本語ExcelやMacPaint、MacWriteなどは使いやすいが、ほかのソフトや周辺機器には若干面倒なことになります。すでにPlusだけでも互換性の問題があるのに、そのうえ更にTalk特有の問題まで背負いこむことになりそうです。

それでPlusはもう販売しないのかということですが、どうもビジネスシヨールでExcelを走らせていた機材はPlusだったらしく、Talkについてはまだチェックする機会すらなく、近日アメリカから入ってくる分についてようやくPrebootや互換性についてテストするという段階のようです。

いずれにせよMacが発売されてから最大の変化で、不安材料は多々あるのですが、一応Apple社の純正品で、『MACWORLD』の最新号にもマックファミリーの一つとしてアメリカ本国でも販売されるというし、開発ツールのMacTool Kitにも仕様が明記されるそうです。そうなると、ソフトハウスは日本語ソフトを作ることはしなくても、bootにあたって日本語ルーチンを作動させないようソフトを作るのではないかといわれています。五日には、アップルジャパン社による漢字Talkの広告が出るそうです。



した改善ではないからで、もう少し待てば国産でもいいものが出そうだし、レーザープリンタも射程に入ってくると思います。ただ、今年あたりからMacを購入した人はみなIIを持っていますので、いずれI型はサポートされなくなるでしょう。

漢字T a i kへのアップグレードには小生もいちおう意思表示をしておきましたが、実際の出荷は二十日以降になるそうです。OrbiterやSiliconは定期的に互換性がありそうです。FullPaintも立ち上げにMacPaintを使うぶんには大丈夫でしょう。いずれにせよ、漢字T a i kにしたら、FilevisionやThunderScanなどは買い直しになりそうな気配です。

六月七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日はFAXありがとうございました。実は私もイメージライタイをしばらく使おうと考えています。予算が不足な事もありますが、工夫すればカラープリント等にも十分対応が可能だからです。

この二、三日、ColorPrint等のソフトを使って、もっとリアルなカラープリントができないものか、検討していました。いろいろ考えていましたが、先日ご紹介しましたエプソンの画像入力装置が非常に良いヒントとなりました。

実際の材料としては、

\*Orbiter

スペースシャトルの操縦をシミュレーションするソフト。(Spec-trum HoLoByte社)

① MacVision 及びモノクロ・ビデオカメラ

② 手作りの赤、緑、青の三色フィルター（カラーセロファン製）

③ カラープリントのソフト

④ マゼンタ、ブルー、イエローのインクリボン

等です。一度体験してみればコロンブスの卵で、何ということはありません。

カラー原稿の取り込み方法はご高察のとおり、取り込み対象物にモノクロカメラを向けて、赤、緑、青の各フィルターを介してそれぞれ三つの MacPaint ファイルを作成する訳です。カラーセロファンの濃さ、照明、MacVision の調整等が少々難しいように、まだまだ完成の域には達していませんが、写真等からけっこうそれらしいカラープリントが、イメージライタで打ち出せます。通常のイラストなどは、今までのようにカラー分解の数だけファイルを作ればよいのですが、写真的なもののカラープリントは考えもつかなかったので、我ながら悦に入っております。

昨日、PCワールドジャパンへ行ってきました。参加人員の募集方法が今一つ甘いような気がします。ゲストの方々に対しても失礼のないように最大努力をすべきだと、生意気な事を言わせていただきましたが……。

六月八日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございます。今日演算星組さんを訪問し、電腦絵巻を見せてもらいました。周辺機器の開発を専門としている会社ですが、社長が幻想文学の愛好者だけあって、この種の風変わりなソフトも開発していきたいとのことでした。MAC10を使用していました。ちょうどアップルコンベンションの話も出しましたが、アップルのユーザーは年齢が高く、職業的にも多忙な人が多いので、オールナイトはいささか場ちがいではないだろうかといっていました。それに従来のApple IIのユーザーはもう少数派で、Macユーザーが大多数なのではないかともいっていました。

六月十三日

紀田順一郎

紀田順一郎様

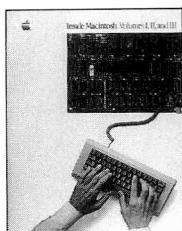
十日付けのFAX拝見いたしました。電腦絵巻はハイテクスでカタログを見ましたが面白いようですね。

ところで本日、『Inside Macintosh Vol.2 and 3』がやっと手に入りました。既にお持ちかもしれませんが、一冊お送り申し上げますので御笑納下さい。初期のものは違い、きちんと製本されています(変形A4判)。

コンベンションの案内が、本日届いた『日経パソコン』に出ておりました。これですしは参加者が増えると良いのですが。

\*演算星組

映画でいえば高倉健のように、コンピュータのギャング・スターをめざす、というのが社名の由来。その名に恥じない独特で魅力的な製品は米国でも人気。



\*『Inside Macintosh』

Macのソフトウェアのバイブル。これがなければMacのソフトは書けない。メーカー自らがこういう情報をきちんと公開してくれる点がどこかの国のメーカーとは違うところですね。

六月十三日

松田純一

松田純一様

さまほど『Inside Macintosh』と『Vanlandingham』、カラー試作、ステッカなどを拝受いたしました。ご本の方はバイブルとして活用させていただきます。

カラーはまことにスリリングで、愉しみです。鳥の絵で連想したのですが、私が幻想文学関係でいっしょに仕事をしていた荒俣宏さんの一連の博物誌シリーズなどが素材としてよいのではないかと思いました。

Macの漢字Talkの件、今日C社に聞きましたら、大幅に遅れて一カ月は延期になるようです。しかも「Talkはソフトがないので」とか「物流が信じられないくらい悪いので」などという返事でした。アップルジャパンとは、なにかとコミュニケーションがうまくいってない感じもします。ただ漢字Talkの操作性は、他のワープロなみにすぐれているそうです。辞書は三万五千語で、五千語の追加が可能のことです。

六月二十五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAX拝見。Talk版はだいぶ遅れることを覚悟していたのですが、やはりそう

\*荒俣宏（一九四七）  
ポストモダンの思想的状況下において、博物学の現代的再構築を課題とする。現在最も独自の思想家。博覧強記という点でもすでに南方熊楠を凌駕した。代表作は総計2000ページを超える『世界大博物図鑑』全五巻。（紀）

ですか。先日FAXにてお知らせいたしました。予想以上にMAC10がPlus版で正常に動くことを確認しましたし、早くいろいろと細かく試してみたいものです。

追伸 コンベンションですが九十名、百名も集まれば成功の部類かも知れませぬ。取り急ぎご連絡まで。

六月二十五日

松田純一

松田純一様

夜分にすみません。新一太郎ですが、プログラムが大きくなったせいか、若干遅くなりましたね。辞書は旧版に比してそれほど向上していません。

小生の知人古瀬幸広氏が『86最新ワープロ大百科』を刊行しますので、入手できましたらお送りいたします。その中の写真に、過日松田さんに作成していただいたラベルが写って(しまつて)いるので、ご期待を！

また、アップルのニューズレターに、漢字Taikについての記事がありましたので、ご覧に入れます。

コンベンションの申し込み者は今週末で五十人弱というところのようで、ホツとしているようです。開催当日までに八十人になることを期待しているとのこと。当初は二百五十人ぐらいを予定していたので相当の後退ですが、ご指摘のように募集方法に甘さがあったということでしょう。これを機会に考えさせられたのですが、以前のア

\*『86最新ワープロ大百科』  
(実業之日本社、年二回刊) コン  
ピュータ・ジャーナリスト古瀬幸  
広の編纂になるガイドブック。  
(紀)



アップルマニアと言うのは、実は互換機を用いてのゲームマニアが多く、今回のような催しがあれば参加する人もいたでしょうが、Macになつてからはユーザーの傾向も大きく変化し、あまり徹夜でワーツと騒ぐような層ではなくなつていゝるのではないのでしょうか。夜が更けるまで語り合ふのは各かではなくとも、「徹夜だから」というだけで楽しい雰囲気を予想し、わざわざ集うという人はいなくなつていゝると思ふのです。

六月二十八日

紀田順一郎

紀田順一郎様

貴重な資料をお送りいただき、ありがとうございます。漢字T a i k 上のフォントも初期の物よりずつとよくなつていますね。既製の、あるいはこれからの日本語版ソフトについては、今のところあまり期待はしていませんが、それなりに楽しみます。とにかく早くアップデートを完了したいものです。

今日はPCワールドへ行つて来ましたが、『MACワールド』日本版が刷り上がつていました。六月二十五日発売が七月一日に延びたようです。コンベンションの参加人数については、私も先ほど聞いてきました。先生のおっしゃるとおり現在のユーザーを良く把握していゝなかつたようです。主催者側の方たちが、自身のApple II時代から経験してきた雰囲気をそのまま今のユーザー指向と考へたのでしょうか。

六月二十八日

松田純一

JULY 7月  
MacPro-usにアップデート完了◆ア  
ツプル・コンベンション開催

松田純一様

FAXありがとうございます。本日『MACワールド』掲載のお力のこもった文章を拝見、たいへん裨益されました。毎号が楽しみです。いずれ月刊になるのですが、アメリカのユーザをアツといわせるような、三色分解技法をカラーページでお願いしたいと思います。

メモリを増設しましたが、一太郎は少しも速くなりません。考えてみれば当然のこととで、先日伺ったところではターボキットがあるとのこと、メーカーをご教示いただければ幸いです。とりあえず……。

七月三日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAX拝見いたしました。『MACワールド』の件は大変お恥しい限りです。特に最初の2編は随分前に書いたものなので、些か時期を逸しているようです。創刊を控えて、原稿を貯めておいたようです。

\*三色分解技法  
本書七十六、七十七ページ参照の  
こと。

一太郎の件ですが、どのくらいのRAMボードを増設されたのでしょうか。スピードアップが目的ならば、御承知のとおりRAMカード的な使い方しかありません。私はシステムソフトの1MB、RAMCARD+という製品を使っています。この中には一太郎の辞書をRAMカード化するRAMディスクドライバソフトが付属しています。また、まだ試してはいませんが一種のスイッチャーソフトも含まれています。アップル・コンもあと二週間となりました。本当に月日の経つのは早いですね。

七月三日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございます。今日は仕事で世田谷の佐藤愛子氏に伺ってきましたが、手土産というのもおかしいので、蔵書票を二枚ほど用意していったら、案外喜んでくれました。まあ、こういう時に役立てばという気持です。

シャープのワープロ専用機を使って約一週間になりますが、総体的に一太郎で十分という気がします。辞書も十万語というのは行政地名が多いからにすぎず、「冊」「倶楽部」程度の語彙も入っていません。プリンタを選べないのも予想以上の苦痛です。

コンベンションは愉しみになってきました。ハードディスクなどお持ちになるのでしょうか、大変ですね。またお便りします。

七月十一日

紀田順一郎

紀田順一郎様

漢字 T a i k の件ですが、先週の土曜日にアップデータを完了しました。先日 of A X に記さなかったのは、後一週間位は極秘にしてくれとの依頼があったためです。キヤノン側にも極少ロットしか入荷がなく、営業同士で取り合いの状態だからとのことです。まだろくにテストもしていませんが、手元のいくつかのソフト（400K デイスケット）は問題なく動いています。画面の漢字フォントが気に入らない点を除けば、漢字 T a i k もまあまあといったところです。例の M A C I O ハードディスクもアップグレード・キットとの併用で階層ファイル管理も可能なようで、まずまず安心しました。

アップグレードした M a c のケースはとても質素（？）なものでアップルマークすらありません。なにか手を抜かれたような気がします。しかし始めの頃には絶対回収と決っていた取り替え前のケースもユーザーがもらって良いことになったようです。私も捨てるにはしのびなく、部屋の隅に飾ってあります。キーボードもテンキー付きのプラス用の物としましたが、数値を入力するには便利です。ですが右側の S H I F T キーが非常に小さくなったため、使いづらいです。

MacPaint Honor と銘うった MacBillboard というソフトを入手しました。これは、MacPaint のファイルを最高 32 × 32 の大きさに分割してプリントが出来るといふものです。大きい絵が欲しいときに大変便利です。

\* M a c B i l l b o a r d

C m S o f t w a r e 製のシェアウェア

(ソフト自体はパソコン通信等で

無料で入手できるが気に入ったら

お金を支払うというシステムのソ

フト)のペイントソフト。描いた

絵を最大 32 倍 (21 フォント 4 イ

チ × 26 フォント 8 インチ) まで拡

大して印刷できるのが名前の由来。

十九日にお目にかかれるのを楽しみにしております。まずはお知らせまで。

七月十六日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございます。アップデートの件、よかったですね。小生も土曜日ぐらいいまでに交換してもらえそうです。今朝の連絡で分かったのですが、やはり台数が少ないので、だいぶん恩を着せられました。なお小生が多少モタついたのは、512Kへのグレードアップを例のマステックで行ったため、正規の交換をうけられなかったためです。なんでも旧ボードはAppleに返さなければならぬそうです。

それにしても、ほとんどのソフトは動くし、MACIOも支障なく作動するというのはグッドニュースで、それなら安心してソフトの発注もできます。ただ、Helixのプラス対応だけが心配です。目下MOREというThinkTankを強力にしたようなソフトが評判ですが、手始めに欲しいと思っております。

アップルコンの当日はいろいろ大変でしょうが、どうぞよろしく御願いたします。  
七月十六日  
紀田順一郎

紀田順一郎様

夜分お騒がせいたします。昨日はお目にかかれただけでなく、念願のゴールドやし

\*MORE  
LivingVideoText社のパワフルなアウトラインプロセッサ。スケジューリング管理やグラフ作成をカラー出力で行うことが可能。ThinkTankは、これの前身的ソフトである。

ルバーのインクリボンを頂戴しまして、大変感激いたしております。お蔭様でCGルームやらも無事終了することができました。カラープリントも二回目はいまぐプリントできましたし、出席していただいた方も終始多かったようです。そんなわけで十五年ぶりで本格的な徹夜をやってしまい、少々頭がふらふらしています。先生が以前言っておられた通り、予想以上にMacのユーザーが多かったことに驚きました。

先生のMacは、無事漢字Taik版になりましたでしょうか。取り急ぎ御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

七月二十日

松田純一

松田純一様

FAXしようと思っていました。昨夜はもう少しCGも拝見していたかったです。あれから酒場でMさんと一杯飲み、折から通りかかったX社の人と眼をそらして挨拶一つしないのを見てしまいました。もう少しいるつもりだったのですが、なんとなく白けて、帰宅しました。しかし参加者も多くて安心しました。全体として気があったと思います。小生の控室は単なる休息所のもりでしたが、読売新聞のインタビューが押しかけて来たり、何人かの参加者が「書齋研究」を期待して入って来ようとしたので驚きました。何の用意もなかったので引き取ってもらうほかありませんでしたが、あのような個室なら、落ち着いた話もできたかもしれないと後悔して

\*CGルーム

MacCOLUMN3「日本初の  
アップル・コンベンションの日」  
(九十三ページ)参照のこと。

\*書齋研究

アップル・コンベンションにおいては当初紀田の書齋研究コーナーが予定され、部屋も用意されていたが、参会者のニーズが把握できず、焦点をしばらく離れたいとして中止。

おります。

ようやくMac Plusになりました。アメリカのディーラーが比較的廉価にMAC10（四九九ドル）、20（五四九ドル）を出しましたので、送料を問い合わせるようと思っています。ハイテクスによれば、この機種では漢字Talkが読めないとのことですが、たとえばTalk埋め込みのシステムディスクが漢字フォント・ディスクを入れるよう要求してきたときにはどういう処理になるのか、おついでのご教示ください。漢字Talkの問題以外さしつかえなく動くなら、かまわないと思います……。それからMAC10をプラス本体へつなぐアダプタは、ADOでMAC10の購入者以外にも別売しているのかということも、あわせご教示いただければ幸いです。ThunderScanもようやくPlus対応アダプタ付きがディーラーから出たようです。また、HelixやThinkTankを大廉売しているのも、Plus対応版が出る直前の投げ売りかもしれません。

七月二十二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

Plusになったとの事、よかったですね。漢字TalkとMAC10の関係についてはまだ私もテストをしておりますので、調べてご連絡させていただきます。特別な使い方をしているわけはありませんが、現在のところ他の問題はないようです。

\* ADO  
株式会社垂土電子工業のこと。Macintoshを扱う代理店・ショップとしては老舗。現在は秋葉原に「T・ZONE」というビルを持ち、地下はAppleの専門店となっている。(03-257-2650)

なお、MACIOのプラス・アダプタはハイテックスで手に入れました。もしかしたらまだ在庫があるのではないのでしょうか。

ThunderScanのプラス対応アダプタは私も入手してあります。ただ、私の知り合いにDB9を2系統に切り替えて使えるアダプタを作って頂いたので、私には用がありません。よろしかったら明日にでもお送りしますので使っていただければ幸いです。

七月二十二日

松田純一

松田純一様

ThunderScanのアダプタ、ありがとうございます。早速試してみました。[完動] (感動)でした。コントラストの強い千社札の文字を作成しただけなのでハーフトーンはわかりませんが、従来よりも速く綺麗です。金銀を有効に用いた図柄を考慮中ですが、金のほうは乗りが十分でないので、バックに使うことを考え、蔵書票第一回の京伝の絵に應用してみました。同封しましたのでご覧いただければと思います。

ハードディスクはA D Oほか各社で、10メガのものが二十万円というところで、円安のころの仕入れということ。メンテナンスを考慮すれば、そのへんのを購入すべきでしょうが……。

七月二十三日

紀田順一郎



紀田順一郎様

本日蔵書票と『中国古典文学への招待』が届きました。ありがとうございます。

ところで、A & A社の日本語フロントプロセッサであるJAMを入手致しました。漢字Talkの画面文字が良くない為か、けっこう売れているようです。

MACIOと漢字Talkの関係は悪戦苦闘中ですが、お話のとおり駄目かも知れません。MACIO上はMacPaint等もTalk版として立ち上がるのですが、漢字変換をしてくれません。多数のポリウムを作成するとトラブルが発生したりしています。

これは今までのファイル構造と違って、HFSが例えばクリップボードファイル一つをとってみても嚴重にバージョン管理などを行っているためと思われます。ポリウム単位のコピーをしようとしてもシステムだけスキップしてしまったりもします。要領が分かるには、まだ少々の時間が必要なようです。

ThunderScan 完動されたとのこと、私には不用の物ですので是非御笑納下さい。もし電圧等の問題があるなら、電源アダプタを換えれば良いようです。

七月二十七日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございます。漢字MacPaintは快調です。

MACIOについては、どんな調子か気がかりです。廉価になり購入を考えています

\*『中国古典文学への招待』  
平凡社版『中国古典文学全集』付  
録月報をセット販売にあたって合  
本したもの。(紀)

\*HFS  
階層ファイル構造のこと。

が、使用が限定されては仕方がないからです。思いあたるのは『MACワールド』の七月号で IconSwitcher が10型を四九五ドルで出したことです。これは他社より一〇〇ドルは安かったので、記憶に残っていましたが、八月号にはすでに10型は記載がなく、20型を五〇〇ドル程度で Special と広告しているのを見て、旧タイプの在庫処分ではないかと気がつきました。キヤノンでは、コンパチでないので止したほうがといった口ぶりでしたが、正確にはフルコンパチではないという程度でしょう。

それはそれとして、Mac Plus はディスクが800Kになったので、たしかにフォントは気兼ねなく入れられるし、複数のプログラムをスイッチャーで能率的に切りかえることも可能なので、ずいぶん使い勝手はよくなりましたが、半面 EGWord や旧版 Excel などのように、Plus 用にシステムをインストールしてしまうと、プリントアウトのさい暴走するといったケースもあり、かつて Apple II からプラスへのアップデートの際に、ギクシャクしたのを思い出します。

イメージライタは秋葉で十万を切ったようですね。いずれ購入したいと思います。  
七月二十七日  
紀田順一郎

松田純一様

Plus のオペレーション上の問題で、下記のことがありました。

①従来までの Paint や Word を Installer でアップデートしてしまうと、印字のさい

\*フォント

Font。書体のこと。Mac はいろいろな種類の文字をシステムの中に持っていて、ユーザーが好みのフォントを選んで使用できるようになっている。九十五ページなども参照のこと。

変な字が出てきます。これはプログラム内のファイル管理機能が新システムとコンパチでないためで、旧システムを上書き（交換）してやると直ります。

②同様な理由で、scrabbookのFont/DAを使用中にシステムエラーを生じることがあります。これも旧システムを上書きすれば解決します。

③漢字PaintからTalkを消去し、EGBridgeをインストールすると、Finderやプログラム内の漢字はそのまま残り、何の支障もなく使うことができます。若干表示フォントは格好が悪くなりますが、漢字Talkより小ぶりになるので、従来からのユーザーにとっては使い勝手がよいようです。

アップデートした本体ケースにプラスの文字がない点については、『Byte』誌によれば、前面は旧ケースをそのまま使用するため当然文字なし。後面は完成品と区別するため、金文字を入れられないことです。メンテ上の問題を予期してのことだそうです。ただし、初期においては内側の開発者のサインがないため不評だったので、間もなくサイン入りに戻したということです。このような泥縄式のため、最下部の署名が半分切れてしまっています。

七月二十九日

紀田順一郎

紀田順一郎様

Plusのオペレーションの件、参考になりました。現在、MACIOとのかかわり合

\*Font/DA  
正しくはFont/DA Mover。  
ユーザーが、デスクアクセサリや  
フォントを入れ替えるためのユー  
ティリティである。

\*Finder  
Macの画面（デスクトップ）に  
ディスクやゴミ箱の絵（アイコン）  
が並んでいる、あれがFinder  
。ファイルのコピーや移動を行  
ったり、起動するファイルを選択  
したりします。

いを調べておりますので、JAMやEGBridgeをいまだに走らせておりません。MACIOではやはり漢字Talkは無理みたいです。といたしますのはご承知の通りMACIOはブートディスクをもつて起動させるわけですが、ハードディスク上だけTalkにしてもTalkは起動せず、といってブートディスク上のシステムをTalk化してしまつては、これまたMACIOそのものが起動しないといった具合です。しかしその他のトラブルはほぼ解消しました。

現在、漢字の件を別にすればMacPaint、ColorPrint、FullPaintは勿論、myDisk、LabelerやMaclabelerなどのプロジェクトがきつい物も問題なくMACIO上で使っています。とくにFullPaintはハードディスクを接続してブートするとハードディスクにインストールするかを聞いてきますので全然問題はありません。この感じでは、EG-BridgeやJAMは問題なく動くのではないでしょうか。

ともあれ、ほとんどのソフトが原則的には動くようなので、一安心といった所です。私の場合Macの漢字システムにはあまり期待していませんのでこれで良いのでしょうか、Talkの件は大きな問題には違いありません。

七月二十九日

松田純一

## 日本初の アップル・コンベンションの日

●松田純一

1986年7月19日、東京の本郷ではすさまじい出来事が起ころうとしていた。それは、日本のAppleファンたちが自力で開催を目指してきた、日本最初のアップル・コンベンションの開催日であったのだ。名誉会長に紀田順一郎先生を迎え、各分科会と呼ばれるフォーラムにこれまたMacにおなじみの方々が、ゲストとして出席された。

そのゲストにはSF作家の安田均氏、『日経パソコン』副編集長の林伸夫氏、著名なミュージシャンの安西史孝氏などの、多彩な方をお招きした。私はと言えば、事務局長として苦勞された松木英一氏におだてられ、MacによるCG（コンピュータグラフィックス）の部屋を担当することになっていた。

この企画はどの企業にもなびかず、ユーザーがユーザーのために開催することを一大原則と考えたため、当初は申込者が集まるのかと関係者は大いに気をもんでいた。しかし当日の熱気はこのような危惧を完全にふっ飛ばし、200名を越える熱心なアップルユーザーが、会場として借り切った本郷の旅館の隅から隅までを走り回っていた。

そこには仕事や性別、そして年齢の差というものから解放され、ただAppleが、Macが好きだという理由だけで集まった多くの人たちの熱気とパワーで充満していた。そして気がついたら、本格的な徹夜をしてしまった顔・顔・顔があったが、なんとどの顔もまだまだパワーを秘めているように私には見えた。

例のアメリカで行われるMacWorld Expoではないが、日本でも定期的に開催できたらどんなに楽しいかと思う。しかし、多少なりとも舞台裏の苦勞を知っていると、「またやりましょうよ」などという軽い言葉が出てこない。残念だが、あのようなパワー全開の催し物はいつでもできるというものではないのである。だから、だからこそ、あのコンベンションは本当に貴重で楽しい体験だった。

AUGUST  
8月米国製マニュアルのセンスに脱帽◆松田、  
演算星組を訪問

松田純一様

暑くなりましたね。旧ソフトとMac Plusの互換性についてはずいぶん一覧表も見ましたが、新システムファイルさえ使わなければそのまま走るものが多く、安心しました。従って、アップデートしたのち具合が悪いと思ったら、システムおよびイメージライタのファイルだけを旧版と入れ換えてしまえば、ほとんどOKとなります。今のところ代表的な例とその対策としては、

① Excel、MacWriteのプリントの際、十行目くらいからおかしくなる。

↓旧システム、イメージライタに戻す。

② Font/DAで、フォントを選ぼうとするとシステムエラーになる。

↓旧システムに交換。

次の例は対策なし。

① MacPaintをスイッチャーつきでほかのソフトと併用した際、scrapbookにエ

ラーが発生する。

↓スイッチャーのアップデートを待つ。

② MacPaintにFont/DAで各種フォントを移植しても、いざ使用の段階で出せない大きさ(ポイント)があったり(Bauhausの18ポまたは24ポ)、まったく文字が出てこない場合(Yukon)がある。

→Font/DAのアップデート待ち?

旧システムにしてしまうとメリットがないようですが、ほかにも800Kになることや、アクセスが飛躍的に速くなることだけでもプラスです。

八月三日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FA Xありがとうございます。資料などを多数確認しても、やはり実際に経験してみるまでは不明なことが多いため、てこずりましたが、最近やっとなんとか安心して使えるようになりました。スイッチャーやFont/DAのバグにも困っています。いろいろテストしていますが、ダメなものは今のところ仕方がないようですね。

ところでMAC10上でFontを現在二十三種類入れていますが、プルダウンメニュー内が一杯の場合、最下段にポインターを持つてくるとメニュー内がスクロールして残りの物を選択でき、とても便利になりました。ご承知のようにPlusに付加された新機能ですが、同様のことがアップルマークのディスク・アクセスリではできないのが大いに不満です。

\*Bauhausの18ポ  
Bauhausは、書体(フォント)の種類の名前。18ポとは18ポイントのことで、字の大きさを表わす単位。

本日耳にしたことですが、Apple製品が相当値下がりするそうですね。エクスターナル・ドライブが八万円位、イメージライタIIが十一万三千円になるとのことです。ケーブルやインクリボンなども値下げの対象になっているようなので、この機会に注文しようと思います。

大雨は先生のご自宅には影響ありませんでしたか？

八月五日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございました。漢字Talkのフォントの質について試しているところですが、10ポ、14ポ、24ポなどはJAMと同様綺麗です。また18ポを50%縮小印字しますと、非常に綺麗な9ポ相当の品質が得られます。この使用法は、MacWriteにせよExcelにせよ、まず該当のポイントを含む英字フォント(NewYork、Timesなどを)をMoveで移植しておき、印字の際に字種とポイントをしっかりと指定しておくことがコツです。指定しないと漢字がつぶれて出てしまいます。以下にExcel上での例で、スケジュール表の一部を送信します。

最近はFullPaintを使っています。これならカーソルが速く、使いやすいですね。それにつけても、かつてのAppleIIのころのブザー音が懐かしく思い出されます。このソフトなど、当時だったらさぞガーンガーンといったのではないかと思えます。

今秋にはようやくX Aも発売予定とか、ご教示いただいたMacの大幅値下げとい

\* NewYork  
NewYork、Timesなどは、書体の種類の名前。Macの書体(フォント)の名前の多くは地名になっている。ちなみに漢字Talkに付属の漢字の書体は、Kyoto(明朝体)とOsaka(ゴシック体)です。



い、大転換の年になりましたね。

ことのほか暑い日曜日になりましたが、ご自愛ください。

八月十日

紀田順一郎

紀田順一郎様

暑い日が続きますがお元気ででしょうか。この十日にイメーシライタIIを入手しました。カラーリボン等も揃いましたので例の Silicon Pressを試したりしています。確かに印字が綺麗になったようですし、カラーリボンを上下させる機構等にも最近手直しがあつたようで具合が良いようです。しかしちよつと凝つた物を作ろうとすると ColorPrint 式のリボン交換方式を取らざるを得ないのが残念です。

これに伴い ThunderScan のスキャナ・カートリッジから出ているコードが邪魔になりイメーシライタIIでは使えないので、カートリッジを開け、センサーの付いている方向からコードが出るように改造しました。中を開けてみて、基板全体が小さなゴム輪2本で引っ張られている構造には驚きました。あと、勉強不足で知らなかったのですが、イメーシライタIIのペーパーガイド部分に ThunderScan のセンサーが位置する事を想定して穴が開けられているのです。こうなると純正周辺機器扱いですね。では……。

八月十三日

松田純一

松田純一様

八月もはや半ばになってしまい、どこにも行けないのは諦めるとしても、晩秋刊行の文庫判辞典の編纂で毎日いらいら続きなのに閉口しております。

ハードディスクは米国のディーラーで廉価なようですので、送金したいと思つていきます。送料(約一万円)込みで十万前後になりますので、カードでは若干支障あるかも知れず、久しぶりに送金小切手(Demand Draft)にすることにしました。小切手といえは以前映画フィルムを月に四、五本も買っていたころには、カードなどというものはありませんから、すべてこの、面倒でしかも銀行に待たされる方法で送金していましたが、よく暇があったものだとなんて思っています。そのうえ書留で送つても危険は伴うし、なかなか送つてこないで照会の手紙は一回は書く必要があるし、通関は Invoice がないため苦労するし、あれやこれやでだいぶ時間をムダにしました。それに較べればパソコンのソフトは金額は低いし、送付は速いしで、ほとんど嘘のようです。ただハードディスクぐらゐになると成田の航空貨物扱い(ソフトは羽田の郵便扱い)になり、まさかあんなところまでノコノコ出かけてもいられませんので、代理店に任せる結果になります。以前、AXLONのRAMディスクを購入したときの経験では、手数料が一万円以上かかります。やはりアメリカは遠い、ということですが、あ余計なことですが、ご参考までに。

八月十三日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日、原宿の演算星組に伺い井上様にお会いしてきました。実は十四日の夜に初めてお電話をいただき、販売企画中のMac書道について意見を聞かせてほしいとお話でした。アマチュアごときが申し上げることもありませんが、以前先生から演算星組のことをお聞きして興味を持っておりましたので、早速お伺いしたわけです。一時間ばかりお話を伺ってまいりましたが、大変勉強になりました。あとで肝心な事を聞き忘れたことに気が付きましたが、先生が小生の事を紹介して下さいたのではないかと感謝しております。

最近、イメージスキャナを二台試しています。一つは例のNECのIN-502をMacで使う例、もう一つはPC-9801用として最近エプソンから発売されたGT-3000というカラスキャナです。IN-502は中間調表現ができませんが、A4判のものが一分そこそこで取り込めますので大変便利です。GT-3000の方は今までにない低価格のカラスキャナということですが、大変具合が良く綺麗なかラー取り込みができます。ただし原画の大きさが約16cm×10cmと比較的小さいのが難点かもしれません。ただこれも、例によってモニタ上にいかに綺麗に表示ができません、写真以外に最適なハードコピー方法が無いと言うのが困りものです。

文庫版辞書のお仕事をされているとのこと、暑い盛りでもありますので御自愛ください。このところ少々胃腸の具合が良くなく、夏バテぎみで困っています。

\*Mac書道

演算星組の製品。筆と紙を選んでマウスで書道をする書道シミュレータ。書いたものは当然MacPaint等でのファイルになる。

八月二十一日

松田純一

松田純一様

ラベルをお送りいただき、ありがとうございます。本などの取材があつて写真を撮ると、いつも栄兄の作品がまぎれこんでしまう結果となつてしまいます。カメラマンの憊憑によるものとはいえ、恐縮しております。

スキャナーはどんなよいものが出ていますが、プリンタの性能が追いつかないようです。プリンタといえば、近タイメージライタIIを買おうと思います。故障もそう多発するものではなさそうなので、アメリカから直接購入してもよいと思っています。アメリカでは目下四七九ドルという例がありますが、送料18%を加えるとあまりメリットがないかもしれません。

小生もいくらかペイント関係のソフトを注文しています。例の演算星組の井上さんですが、電話したら「松田さんに一度コンタクトしてみようと思つている」などと話しておられました。もうお会いになつたと思つていました。面白い会社と思ひますので、一度の提案をしてみようかと思つております。

印刷工房を使っていますが、たいへん便利です。しかしこの種の機能、つまりフォントサイズを縮小したり拡大したりという考えかたは、アメリカなどではなんでもないことなのでしょう。日本は印刷やレイアウトのセンスが乏しいですね。例えばマニ

ユアルなどでも、ThunderScanのものは分かりやすい優れたマニュアルですね。これなら、と思います。日本のマニュアルは文章が下手なものもさることながら、なによりも頭の中が整理されていないのは困りものです。

小生もやや夏バテ気味です。どうかお大事に。

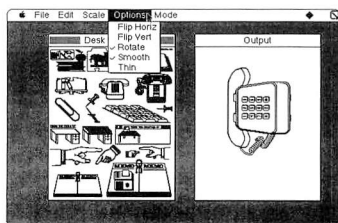
八月二十日

紀田順一郎

紀田順一郎様

おっしゃるように、米国製のマニュアルにはよくできているものが多く、それらを見るにつけ国産のものに不親切さには頭にきます。印刷工房のマニュアルも、分かりづらいの一語に尽きるのではないのでしょうか。

本日、拡大印刷のユーティリティ PaintMover を二つ入手しました。これはペイントファイルの部分を最高16倍に拡大してプリントするユーティリティです。嬉しいことに6倍以上に拡大率を設定し Smooth を選ぶと、拡大したパターンのギザギザを補正する機能を持っています。現在のバージョンは0.03ですが、Bill Atkinson の作でもありニューバージョンの MacPaint に組み込まれるのではないかとの憶測もあるようです。また、Font/DA Sorter 1.3 というのも、入手しました。これはその名のとおり、ディスク・アクセスリヤフォントをアルファベット順、あるいは任意の順に表示させるためのものです。二つとも、しばらく前に日本に入って来ている物だと聞き



\*PaintMover

ました。

仕事のついでに銀行へ行ったおり、Macintosh バイヤーズガイド (Summer 版) に載っていた Fractal Graphic Tools' Gray Paint' そして PosterMaker 等を注文するために BankCheck を依頼してきました。

話が違いますが、ThunderScan をイメージライタ II で使うときに、その衝撃で本体が浮く事はお書きしたと思います。これに関連して、衝撃が強いために最初にセッとした Focus が狂いやすいのですが、中の基板を吊っている輪ゴムを適度に強くすると良いようです。とりあえずお知らせまで。

八月三十日

松田純一

SEPTEMBER

9月

## MACIIで漢字Tarkを使う! ◆紀田、 イメージライタII購入

松田純一様

今日は雨のなかをやむを得ない用事で出かけ、体調が悪いので消耗して帰宅しましたが、ご惠投の PaintMover が届いており、疲れも吹きとんでしまいました。こうしたソフトが続々出るということは、ペイントのファンがいかに多いかを示すもので、嬉しくなります。最近ずいぶんペイント関係のソフトが目につきますが、そのうち何

点かをご注文になった由、小生もまた注文しようと思っっています。四月ごろ FullPaint と併せて Kensington の Professional Type Fonts を発注したのですが、注文書がどうやら届かなかったようです。もう一度出してみようかと思っっています。

『Byte』の最新号に Mac と AMIGA の比較があり、AMIGA のほうが優れているという結論になっています。しかし例えて言えば、いくら優秀な女性といわれても魅力はまた別という場合と同じでしょう。Atkinson のようなすぐれたプログラマが AMIGA のために書かなければ、買う気が起りません。

『A+』の九月号を見ると、あるディーラーが II 時代の Silentype を僅か十九・九五ドルで出しているのを見ました。「ウソではありません」ということですが、哀れです。数年前、小生も買いかけて止めたことを思い出し、時の流れを思ったことでした。

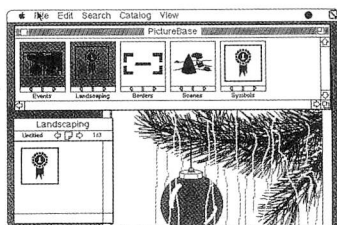
九月二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

Silentype が十九・九五ドルとは驚きました。私も喉から手が出るほどに欲しかった物の一つなので感慨深いものがあります。時代とはいえ恐ろしい感じがしますね。そういえば、FAX の G III 機が二十四万円ぐらいで、コピー機が十万円です。手に入る昨今は恵まれている事を、単純に喜んでいいのかさえも考えてしまいます。

Mac に関してですが、PictureBase というソフトが面白いです。これは MacPaint



\*Silentype  
Apple II 時代の Apple 純正感熱小型プリンタ。当時は高価だったため、多くの Apple ユーザーに溜め息をつかせた。(松)  
\*PictureBase  
グラフィックス専用のデータベース。あとで選びやすいように、各イメージにキーワードを付けてセーブできる。

等にインストールが可能で、ライブラリーとしてのピクチャーファイルの検索およびカット&ペーストなどができるというものです。スクラップブックがツリー構造のデータベース機能を持ったものとお考えになれば良いかと思えます。少し使ってみましたが非常に便利だと直感しました。

また、今日面白いものが手に入りました。Servantというソフトで、全てのアプリケーションで使える訳ではありませんが、例えばFullPaintの使用中でもデスクトップを表示しコントロールすることが可能となります。Macintalkにより、指定するフォルダーやアイコンネーム、そしてプルダウンメニュー上の命令までも発声してくれる。まだバグがあり時々止まってしまいますが、今後のFinderの方向を示すものと思われまます。

九月三日

松田純一

松田純一様

PictureBase 最近のヒットですね。こういうソフトが欲しいと思っておりました。

若い知人で、関西の大学院に通っているパソコン初体験の人がMac Plusを購入しましたので、あれこれ基礎的なソフトを教えてやりましたが、やはりCopy II MacやFont/DAなどがわかりにくいようです。また、すぐシステムエラーが生じて困るということです。考えてみれば、Apple II時代を知らない人が微妙な使い勝

\* Servant

Macでマルチタスクを実現しようとするユーティリティ。本格的なマルチタスクではないので、複数のソフトが同時に走るわけではないが、たとえばペイントソフトを使用中にFinderを操作したり、別のアプリケーションを起動することなどができる。現在のMulti-Finderが登場するまでは、ずいぶんと便利に使っていたユーザーが多い。(松)



手がわからないのも当然で、マニュアルなしでもある程度の見当がつく世代と懸隔があるのは致し方ないでしょう。もう一つは、最近Macの世界に入る人は趣味一本ではないので、ペイントなどの必要性がイマイチわからないようです。

いつかお話ししたFullpaintその他が今日ヒョッコリ着きました。消印を見るとJuly15とありますので、船便で来たらしいのですが、切手の額面は十九・九〇ドル、箱にはしっかりとAirMailと表記してありますので、明らかな配送ミスです。いまごろFullPaintなんかが入ってもどうしようもなく、腹立たしいこと限りないのですが、一緒にKensingtonのProfessional Type Font(二組)が着いたのは収穫で、地味ながら正統的字体が入っていて便利です。

それにしても、円高はさっぱりソフトの国内販売価格に反映しないようですね。MacVisionなど十一万円ですが、米国の実勢では一六九ドル(二万七千円)ですから、別世界の話としか思われません。とりあえず……。

九月五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

今日はけっこう暑い一日でうんざりでした。さて先生からいただいたFAXにMac初心者の方のお話がありました。私の回りを見ていると、最近マシンを購入する人たちは本当に遊び心がないようです。一直線にビジネスにと意気込んでいる姿は氣

の毒でもあり滑稽でもあります。

イメールシライタII用のカラープリント・ユーティリティの別種 MacPalette が手に入りました。これは SiliconPress とは些か違ったものようです。SiliconPress よりきめの細かいカラー指定ができるようです。とりあえず、ご連絡まで。

九月十一日

松田純一

松田純一様

FAX 拝見。イメールシライタIIはちょっと遅れて、土曜日ぐらいに手にすることができそうですが、MacPalette とは期待できそうですね。

事情によりまた通信を始めなくてはならなくなり、エプソンのモデムを買いました。例によってわかりにくいマニュアルで、おまけに買った通信用ソフトの出来が悪いのは落胆しました。P社のもので、細かな点をTさんあたりに確認してから買ったほうがよかったと思うからです。とにかく通信は、Creative というジャンルに関心のある方々はあまりやっていないようですね。

九月十一日

紀田順一郎

紀田順一郎様

先ほど京都より帰宅しましたら先生の著書『読書の整理学』が届いておりました。

\*『読書の整理学』

紀田順一郎著、読書の技術と情報

整理学をトッキングさせたもの。

一九七一年の初版を大改訂のうえ、

朝日文庫に編入。(紀)

私の今もっとも気になる分野の一つですので、大変楽しみです。

エプソンのモデムをお買いになったことですが、私はこの半年間、全くパソコン通信から遠ざかってしまいました。なんだかんだと前宣伝は立派ですが、アクセスしたい時に繋がらない通信は役にたたないからです。DELPHIあたりももっと活用したいのですが私の語学力ではまったく役にたちませんので遠ざかっております。

先日、演算星組の井上氏よりお電話をいただきました例のMac書道の件ですが、かなり凝ったパッケージを考えておられるようで、外箱は桐、そしてマウスパッドや和紙なども付属させるようです。私は難しい事はできませんので、取説の一部をお手伝いすることになりそうです。それにしても非常にユニークで面白い製品なのですが、十分な遊び心を持っているユーザーでないと、ビジネスの対象にならないのではないかと危惧しております。

さて、注文しておいたPosterMakerが届いております。スムージングをサポートしていない等、少々当てがはずれたソフトですが、元絵の大きさを1%から3200%までの範囲に縮小・拡大でき、付属の九種のポスターと一緒にプリントアウトできるというものです。

お好きかどうか分かりませんが、京都の煎茶を送らせていただきます。煎茶といっても少し抹茶が含まれているらしいので、奥様に味見していただければ幸いです。

九月十五日

松田純一



\*DELPHI  
アメリカの2大ネットワークサー  
ビス、CompuServe、T  
heSourceを追う形で設立  
されたネットワークサービス。世  
界最大のオンラインデータベース  
であるDIALOGにアクセスで  
きるのが特徴。

\*かなり凝ったパッケージ  
写真参照のこと。

松田純一様

お土産の煎茶を頂戴し、恐縮のいたりです。さつそく家内ともども賞味させていただきました。ありがとうございます。奥様にもご鳳声くださいますよう。

久しぶりに電話にほとんど出ない休日を通りましたが、やはり原稿書きに追われました。イメーゼライタIIは速いし、リボンさえ適当なのを用いれば以前より細かな印字も可能で静かですが、オン・オフ時のガタンというショックが、なるほど大きいですね。これではThunderもたまらないでしょう。早速開けて調整したいと思いません。

PosterMakerは思ったより便利なものですね。小生は講演などのさい、レジユメを拡大して黒板などに貼付したいと思えます。しかし、日本ではこの種のポスターやバナーの発想に乏しいようですね。アメリカ人はやたら好きのようですが。

『MAC WORLD』十月号に、Omnireaderがもと七九九ドルのところをなんと一九九ドルで出していますね。決まりきったFontしか読めないで売れなかったのでしょうか、四分の一とは驚きです。とりあえずお礼まで。

九月十七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAXありがとうございます。最近入手したいいくつかのソフトは今月の二日に書留

速達にて注文したのですが、その内の一つの PosterMaker は十五日の着、GrayPaint は十九日の着と、その迅速な対応には頭が下がる思いです。GrayPaint の Invoice の日付に至っては九日付になっているのには驚きました。

今日は午前中に出かけ、演算星組と PCワールドへ伺ってきて今帰宅した所です。『MACワールド日本版』をいただいできましたが、先生の書斎の扉(?)にお姿とマックが写っている写真などはとても良い雰囲気です。私は今回『MacOffice の現在』という特集記事の「デザインする」の部分と英版翻訳記事である「カラープリンティング自由自在」に使った冒頭のカラープリント例などを担当させていただきましたが、大変楽しい仕事でした。

ところで MAC10 は入手されましたでしょうか。と言いますのは昨日遅くひょんな事から MAC10 で漢字 Taik が使える方法を思いつきました。まず漢字 Taik デイスクセットをブートし、外部ドライブには漢字フォントデイスクセットをセットしておきます。このとき注意する点は、予め漢字 Taik デイスクセットのディスクアクセサリ内にある漢字 Taik を 18pt オートロード ON にしておく事です。この様にしておいてディスクトップの状態になったら、漢字フォント・デイスクセットを抜いて MAC10 のブートディスクを挿入します。そしてその中の「StartParadise」アイコンをダブルクリックして MAC10 を起動させれば完了です。後は MAC10 上の MacPaint 等で漢字 Taik が使えるようになります。思いついたなどと今ごろ言い出すのも恥ずしいくら

い、簡単な方法なので、我ながら気落ちしています。

九月二十二日

松田純一

松田純一様

漢字 Taik が MACIO で使用できるといふのは、まったくすごいですね。さすがと思いました。MACIO の現物はまだ着きませんが、着いても一部使えないソフトがあるのでは……などと若干気を殺がれていたもので、非常に気持ちが明るくなりました。早く到着して、試してみたいものです（最近アップル製のハードディスクも約二十万に下がったとか聞いていますが、MACワールド本国版の広告を見ても、中小メーカーの製品がラッシュになっていようですね）。

ソフトの着がずいぶん早いようですが、小生の取り引きしている ProgramsPlus や IconReview は、最近注文してから到着まで二週間になりましたが、以前は二ヶ月もかかったものです。

『MACワールド日本語版』は十分推敲の間がなかったのですが、あの菅原さんがインタビューでした。若い方でしたが、他と違って Mac の広がりを考えている人だと思いました。編集長の高木さんからは、あとから追加取材の電話をいただきましたが、全体を見たシャープな質問がありました。執筆者のエース的存在たる栄兄の記事への期待は申すまでもなく優秀な方々関わっているの、今後の展開が非常に愉し

みです。

九月二十三日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAXありがとうございます。Mac用として、NEC社製PC—IN502というイメージスキャナを使うA&A社のMacScanを同社からいただきました。階調取り込みが出来ない不便さはあるものの、コピー感覚でA4判を75秒ぐらいでスキャンしてしまう事、ブック形式の原稿も可、等の使い勝手に魅惑されています。勿論IN501型を使えば階調表現も可能ですが、取り込み精度そのものはThunderScanの方が格段と良いと思います。しかしこの形式のイメージスキャナは、今後の主流になるでしょう。ThunderScanといえば、イメージライタIIに変えてから取り込み精度が少し落ちたようです。調整の不備かと考えあれこれと試行錯誤の最中ですが、ヘッドの移動スピードが速いと言った問題なのでしょうか。新しい物を使うと何かが犠牲になるのは常のようですが、全く困ったものです。

昨日に多数のソフトやフォントなどが集まりました。面白そうなものにはComicWorks、MicroSoft Works、Ready Set Go V2.1、II in a Macなどがあります。II in a MacはアップルIIを完全にシミュレートしていて、話のネタにはなりません。しかしスピードがあまりにも遅いのが玉に疵ですが。ComicWorksも今話題のソ

\*ComicWorks

コミック(漫画)作成用ペイントソフト。コマ割りや登場人物の作成、ふみだしの付加などが容易にできるところが他のペイントソフトとは違うところ。

\*ReadySetGo、

DTPを可能にするレイアウトソフトウェア。

フトですが、スピードが気になります。まあグラフィックの編集機能は十分に使えると思います。また重宝すると思われるものにFontDisplay3.0があります。これはその名のとおり使用しているフォントを画面で確認でき、プリントも可能です。さらにディスプレイ・アクセサリとして同じくフォントの確認ができるDAFontも入手しました。

九月二十六日

松田純一

松田純一様

Fontの確認が可能なDAFontやFont Displayなど、使いこなしているユーザーにとってはいかにも欲しいものを、よく出すものだと思います。

『MACワールド』、四時ごろやっと到着しました。ラベルに栄兄のものが混じっていて冷汗をかいております。この前もそうだったのですが、カメラマンが遅くなって焦り、編集者のインタビュートとは別に撮影していますので、チェックできなかつたのです。申しわけありません。

myDiskLabelerのカラー印刷は、ファイルやフォルダだけのものは一色しか使えないのに驚きました。LargerIconの場合は、ポイントとなる箇所にブルーやブラックなど濃い色をBackgroundに指定し、逆に黄色など明るい色をForegroundに指定すると、反転の効果がでて、やや単調から救われるようです。

\*DAFont  
フォントは本来、実際に入力して見て初めてそのスタイルを確認できるわけだが、このデスクアクセサリはシステムに組み込んであるフォントスタイルを、事前に確認することができるといふもの。(松)



なお、ColorPrintは旧システムとプリンタドライバでないと、最後のprintのところで作動しないことを確認しました。これは改訂版待ちでしょうが、弱小ソフトハウスのなので、どうなりますか。改訂待ちという点では、ThunderScanが最右翼かも知れませんね。

九月二十六日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAXありがとうございます。昨日はPCワールドへ行ってきましたが、丁度編集会議を始めるということで同席させていただきました。次号のMACワールド（十月二十日発売予定）を指しての会議ですが、出版の仕事というのは慌ただしく大変な仕事のようにです。

PDSのUtility類を明日にはお目にかかれれると思います。中にはServantも入っています。ディスク・アクセサリとしてFlow、Crabs?、Measlesも加えてありますが、この3つのアクセサリは冗談ソフトともいうべきもので、仕事中に選択してしまうと画面が崩れたり、虫喰いだらけになってしまうリセットしか解決策がありません。よくこういう物を作るものだと感心してしまいます。

取り急ぎお知らせ申し上げます。

九月二十八日

松田純一

⑦すぐれたマニュアルを繙くのも愉しみの一つ。Mac 本体のマニュアルはいうまでもなく、PixelPaint や MicroSoftWord など、表現・構成・イラスト・レイアウトのいずれをとっても間然するところがない。⑧パッケージも、ちゃんとしたデザイナーを入れている例が多いようで、ElectricArts や MilesComputing などは、目を惹くに十分。日本では演算星組あたりか。

⑨あれやこれやで開発者に興味がわいてくるのも、Mac ならではの経験だろう。HyperCard のビル・アトキンソンなどはその代表格だ。

このほか、Mac を使っているとつい馴れっこになってしまうが、⑩モニタ・イメージが反転方式になっている点も好ましい。私など古い映画ファンは、映画の画面を「銀幕」とか「エクラン」などと、きわめてエレガントに称した時代の感覚を残しており、Mac に触れることはそのエクランに触れることなのである。

⑪Mac を使っていると、個性的なユーザーの輪が広がっていくのも嬉しい。人間関係を拡大することで、初めてメディアといい得る。これが Mac の最大の特徴といえるかもしれない。

⑫最後に Mac が未来志向の、最先端のマシンであることは衆目の一致するところ。そうしたものに毎日触れることこそ、最大の愉しみでなくて何であろうか……。



## Mac 12の楽しみ

Macの魅力はソフトウェアの魅力であることというまでもないが、ズバリ一言でいえば、

①独創性にふれる愉しさ。BusinessFileVision にせよ、Illustrator88にせよ、Helix にせよ、出現時はその独創性、異色性に驚嘆したものだ。どこかの国のソフトなど奇矯なネーミングだけが取柄で、すぐネタが割れてしまう。

②遊びがあること。ないしは、遊びの許容度が高いことも嬉しい。世にはパソコンを、ソロバンや筆記具を電子化しただけのものと思ってる向きもあるようだが、面白くない仕事を楽しくする、活性化するという要素がなければ意味がない。Excel や FileVision は、そのような発想から生まれた傑作である。

③奇想天外の域に達しているソフトが多いことも魅力。プリンタをスキャナに使ってしまうおうという、ThunderScan、リボンのインク補充をはじめ、好みの色さえ作ってしまう MacInker など、他機種にないアイデアを愉しめる。

ここでいっておきたいのは、④単に珍しいばかりでなく、実用性を兼ね備え、しかも業者が日本へ輸入しない限りは廉価な製品が多いこと。最近の掌に乗るポータブル・プリンタ LightMove や、立体的なもののスキャンを可能にした VisionScan などが好例だ。

また、⑤製品の寿命が長く、不断に実質的なアップデートを行う点も学ぶべきだ。MacPaint、MacDraw など、欲しいなと思った機能が間髪を入れず補充されるのは、一種の快感さえ覚えるほど。また、向こうのパソコン誌には、オフィス風景や、ドブ鼠色の制服を着た人間が雲霞のごとくパソコンショーに蝟集する風景は、出てこない。そうした、⑥ Mac マガジンに触れる愉しみは、パーソナル志向の強いユーザにはまた格別であろう。

NOVEMBER

10月

『MACワールド日本語版』が『MAC+』  
と改称◆神田にローションポップオープン

松田純一様

FAX拝見しました。ComicWorksはだいたいぶ評判なので早速試してみました。MacPaintの拡張版として非常にすばらしいですね。MicrosoftWorksもよさそうですね。本格的な使用には日本語化が必要でしょうが、当面ワープロだけでも使ってみたいと思っております。GSは『MAC WORLD』英語版にもちよつと紹介が載っておりますが、『Byte』にある程度の批評がでております。MacPaintのカラー版などは面白そうだし魅力がありますが、Macと両方をfeedしていくのは大変だろうと思います。従来も、Apple IIcを買った方がいいが、ほとんど触らないという経験をしました。結局エネルギーを二分されてしまうことになるでしょう。

十月一日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日はFAXありがとうございました。GSは私も手に入れたいと考えていました。先生の言われるとおり、二足のわらじを履くのは予算的にも時間的にも難しい事

\*GS

Apple II GSという、Apple Computer社のパソコン。Apple IIのグラフィックとサウンドを、大幅に拡張したものである。たものというところだろうか。日本ではその販売体勢の不備やMacの陰に隠れてしまつて、実力を発揮できずにいるのは残念。ちなみに「GS」とは文字どおりグラフィックスとサウンドの意味。(松)

を考えて手にしないつもりでいます。同じ予算を使えるのなら、『MAC WORLD』の十月号に載っていたフルページ・ディスプレイを欲しいと狙っているのですが。

またご承知かと思いますが、神田の駿河台近くにできた新しいビルの二階にキャノンの01ショップがオープンしました。01ショップには今まで入ったことがないのですが、帰り道なので寄ってみました。さすがにゆったりとした店構えでしたが、Macの関係には見るべき物がなくがっかりしました。

十月七日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございます。『A+』にGSの特集がでていますが、MacPaintのカラー版やPrintShopの改良版、おなじBroderbundのFantavision、さらにはErectronicArtsのDeluxPaintなど、だいぶCGのソフトが出るようです。Gとついている以上Macよりソフトが豊富なのは当然でしょうが、最も肝心な出力がどの程度のものか分からないのは残念です。このプリンタの実際については『Byte』の特集と同様、まるで情報が無いのですからいい加減なものです。結局絵のソフトは、しっかり使っている人がアメリカにも少ないということなのでしょうか。

取材の帰途ヨドバシに寄ったところ、キャノンのサブリボンなるものを発見、中を見たらIBMの詰め換えリボンとまったく同一のOEM製品でした。レジに持ってい

つたら値段がわからず、店員がCanonに問いあわせてようやく千百円と判明する始末。この店員氏態度が悪くて「こいつは特価流れだ」とか「うちの製品じゃありません、ときやがった」などと叫びながら、商品をレジに叩きつけるようにし、おまけに「お客さん、これどこで見つけました？ 何に使うんですか？」などと詰問しだす始末。いつも思うのですが、まったく新人類の実験場 (Proving Ground of Neopithecanthrops Electronicus) ですね。

十月九日

紀田順一郎

紀田順一郎様

九日にFAXをいただいて以来ですが、公私共に雑用に追われ御連絡できませんでした。私はヨドバシには行ったことがありませんが、ひどい店員がいたものですね。何回も秋葉に通っていても、これと言った店員さんは少ないです。客との対応がまともにできればもっと活気のある店になりそうな所あるのですが。パソコン関係だけの話ではありませんが、特にこの世界の悪さが目につくこの頃です。

MacSpell+とどうSpelling Checkerを遅ればせながら手に入れました。基本システムはインストールして使うため手軽に使用できるのではないかと思えます。含んでいる辞書は七五〇〇ワード以上ということで自身の単語も三五〇〇程追加ができるようです。辞書をMACIOに入れてしまうとスピードの点でも使いやすくなります。

気候が変わってきたせいか、風邪をひいている方を見かけます。先生も是非ご自愛下さいませよう。

十月十三日

松田純一

松田純一様

仕事で住友ビルへ行ったので、久しぶりに01ショップに立ち寄ってみました。昼休みというのに人影はまばらで、何かソフトでもと思ったのですが、ColorPrintやMacDrawのようなものばかりで、たいしたことはなく失望しました。

ところで、アメリカに注文中のハードディスク(Paradise)については、入荷に時間がかかる旨連絡がありましたので、他のブランド(MacBottom)へスイッチしたいと連絡しました。どうやら広告の品は換金処分品で、限定販売だったに相違ありません。秋葉でもこの種のことは常套手段なのでおどろきもありませんが、ちょっと残念ではあります。とりあえず……。

十月十五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

今朝などは初冬を思わせるような寒い気候でした。ハードディスクの件、MAC10でないのは些か残念ですが、性能他を考えればMacBottomの方がずっとよろしいよう

で、なによりです。

本日アメリカへ二種のソフトをオーダーしました。一つはだいぶ以前に先生から FAXで教えて頂いた、デスクトップを好みの絵にセットできる DeskScene。そして Full-Print と MacDraw とを合わせたようなビットマップ・ドローイングソフトである SuperPaint です。SuperPaint は Save も Load もできないサンプル版を使う機会がありました。また MacDraw などカラー印刷できる MacPalette の新版も入手しました。

十一月号の『PC WORLD』によれば、次号からの『MACワールド日本語版』の名称が『季刊MAC+』と変更されるようです。同誌には書いてありませんが、米国より「MAC WORLD」という名称に対してクレームが付いたというのが本当の理由のようですが、ちょっと残念です。

十月二十日

松田純一

松田純一様

FAX 拝受しました。過日の MacSpell+ はなかなか良いですね。州の略名や固有名詞、簡単な略称 (Mr. など) が入っていないのは解せないのですが、使い方が簡単なのはありがたい。ミスをやらかすと、推定の単語を示してくれるのは親切です。

自信のない語彙はわざと間違えておけば、適当な単語がわかる場合もあります。面白

\* SuperPaint

Mac で絵を描く場合、大別するとビットマップ (点の集合) で描く Paint 系とオブジェクト線や四角などの図形) を組み合わせて描く Draw 系の二つがある。SuperPaint は、この二つのデータを共有することができ



いと思ったのは、たとえば airmail を air mail と綴ってしまったようなときですが、後者にも「空手紙」といった意味があり、スペルとしては誤りでないので素通りしてしまうことです。もっともこの解決は、文法解析ができないと無理かもしれませんが。Apple II のときには MagicSpell というのを使っていたのですが、あれより数段進歩しているようです。

『季刊MAC+』とは驚きですね。出版の常として、あまり改題すると人気落ちるものです。馴ればよい題名なのかもしれませんが、月刊化したときには「月刊MAC+」となるのでしょうか。

新刊のワープロがらみのちよつと面白い本（室謙二『ワープロ術』晶文社刊）を同封しあげます。小生、風邪は大丈夫ですが、このところ来週の講演準備等で、少々気ぜわしい思いをいたしております。とりあえず……。

十月二十一日

紀田順一郎

紀田順一郎様

遅くにお騒がせいたしましたし、恐縮です。ワープロ術の本をありがとうございます。

二十五日から、例のMさんやMACワールドのTさんらと一泊で箱根へ温泉旅行に行ってきました。旅行は宴会の最中はおろか、風呂の中までもMacの話で盛り上がり続け大変でしたが、久しぶりに精神的にリラククスした楽しい二日間でした。例の

\*温泉旅行  
詳しくはMACCOLUMN7  
「アップルフリークの素顔」を参  
照のこと。

MACワールド誌は『季刊MAC+』という名に決まったようですが、同じコンピュータワールドジャパンで今度98の雑誌発行を決めたようです。最近は特に98に関する月刊誌が多くなっているので、どうなりますか。

Mac関連のハードで今興味のあるものに、フルページ・ディスプレイがあります。それら数種の中から一番良さそうなものの仕様を手に入れてので送らせていただきませう。ただ、一九九五ドルというのが大問題なのですが。

講演のご準備で大変なご様子ですが、成功をお祈りしております。

十月二十七日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございます。旅行、さぞかし愉しかったことでしょう。風呂の中までとは驚きました。小生のほうはある図書館のコケラ落しの講演をつとめ、面白いことは面白かったが、気が疲れました。管理システムはI社製で非常にノロく、職員の方が「失敗でした」といっているのが印象的でした。信じられない話ですがI社としては図書館システムがはじめてということ、図書館側から書誌学のノウハウを提供してもらってシステム開発費はサービスしたそうです。

アメリカのディーラーから、ハードディスクは輸出のライセンスがとれないから代金を返すと言ってきました。今になってと思いますが、やむをえません。ほかを当たってみる手もあるのですが、年末の繁忙期にかかってきそうで手間だし、諦めました。

十月二十七日

紀田順一郎

DECEMBER

11月

三原山大噴火◆紀田、ハードディスクM  
AC10購入

紀田順一郎様

今日は大分寒い一日でしたがお変わりありませんでしょうか。98の新型のいくつかを見てきましたが、FからVMになった時ほどの面白さは感じられません。従来からの互換性を追求するメリットとデメリットの問題からか、些か中途半端な製品になったような気がします。

昨日までは零細企業の月末ということで毎月のことながら大変な騒ぎでしたが、今日から三日間は連休となりますのでサラリーマンの有難さを満喫しております。

十一月一日

松田純一

松田純一様

MAC10を購入しました。米国から直接買えなかったのは残念ですが、どうにも仕方ありません。漢字Taikについてはご教示にしたがって試してみるつもりです。実

にありがたいことだと思っています。

最近 Reflex を使っていますが、非常に使いやすいデータベースのようですね。Full Paint については、スピードが速くなりましたので、MacPaint より便利になりそうです。カラー対応ということでもんなものかと思っております。ColorPrint の新版が入っているのには驚きました。この新版はスピードも速くなり、いちいちフィードを行わないため用紙のジャムが回避されるなど利点があり、とくにマルチカラーリボンが使用できるのが重宝します。

このところせわしないのに、例の通信で時間をとられております。メールはともかく、掲示板などはあいかわらず落書きだらけで、興が湧きません。

Canon の PR 誌のために Excel 応用の電子手帳を考案していたのですが、このような目的になると漢字 Talk の辞書はもう少し高度でなくては困ります。

以上あまりパツとしませんがご報告まで。朝晩冷えますが健康専一をお祈りします。  
十一月十日  
紀田順一郎

紀田順一郎様

FAX ありがとうございました。MACIO を購入されたとの事、お仲間が増えて嬉し  
いばかりです。MACIO はご承知の通り、MacPlus 対応の場合システムを一つし  
か持てないために、MACIO が起動しているデスクトップから別のディスクセットを挿

\* Reflex

Borland International 社製のリ  
レーショナルデータベース。

入して走らせても、その挿入したシステム固有のスタートアップ画面とかが無視されてしまいます。MAC10は確かにスピードが他のHDより遅いようですが、大変便利なものです。DiskLabeler等のプロテクトのソフトもCopy II Mac V5.4のHard Disk Copyで簡単にMAC10に移せますし、例のスペルチェッカーも辞書をMAC10に入れておけばスピードも向上し使い勝手が大変良くなります。

本日キヤノン製の2MBボードを店頭で見ました。1MBのボードが二枚組となっていて、現在Mac本体に使われている1MBのボードは取り外してしまうことになるようです。Excel等を有効に使うためには是非欲しい物なのですが、購入はしばらく後になるかも知れません。

十一月十日

松田純一

松田純一様

MAC10は順調に動いています。ディスクケットがわずかながらアップデートしていると思います。しかし、プラス本体やイメージライタII対応のアダプタをつけたために、だいたい配線がこちゃこちゃし、ThunderScanにつけるのもおっくうになりました。まだ試していませんが、プリンタからThunderの分配器へのケーブルをMAC10の背部につないで、このままで一般のプリントにもさしかええないようですが、いざThunderを使う際には、Mac本体の側、つまり先日頂戴した電源(Wall Plug-in)

から Power Converter を経て 8ピンのプラグにより Mac へつなぐ箇所をどうすべきかわからないでいます。これはハードディスク使用の際には省略してもよいのでしょうか。

BusinessFilevision がようやく届きました。ハードディスクには容易に移せます。とりあえず……。

十一月十二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

ThunderScan の件ですが、以前のイメージライターと現在のイメージライターIIの二台を試しに Mac につなげて使ってみましたが、場所があれば一番良い方法です。特に私の場合、ThunderScan の取り込み具合がイメージライターの方が良いので嬉しいのですが、なにせ場所を取り過ぎて現実的ではありません。MACIO を購入した当時の悪戦苦闘記録をあらためて見てみると MACIO と Thunder の相性は悪いようです。近々に剥離紙の小分けをやるなければならなくなりましたので、その折に相変らず少しですが別送申し上げます。最近特にディスクセットが増えラベル用紙の需要が増えました。そのわりには、これと言ったラベルができませんけれど……。

十一月十四日

松田純一

松田純一様

Thunder はマニュアルを読みかえたところ、製造番号五〇万以上のものでないと Plus には使用できないという意味の箇所がありました。小生のものは四〇万台のせい、やはり動きません。それから同マニュアルの写真では、Plus 側への配線も違うようですので、本体もふくめ一切を再注文しました（イメージライタ I は置き場所もないため、著書を手伝ってくれた人に提供してしまいました）。それから HP Paint に入っている ColorPrint の新版は、どうも MACIO をつないでいると、たとえスイッチを入れていなくても、マルチカラーリボンのプリントアウトが遅くて使いものにならないようです。アダプタの回路のせい（ということは HFS のせい）でしょうか。myDiskLabeler などのプリントはうまくいくのですが。

『MAC WORLD』の十二月号にクリップアートの特集があり、演算星組の二枚が星五つに評価されておりますね。

Mac といえば、今度の Encic 研究で、漢字 Taik の辞書の貧弱さ加減には参りました。なにをするにも時間が倍かかってしまいます。多くのユーザは Mac に日本語処理を期待していませんが、メーカーはそこにアグラをかいてしまうのでしょうか。

十一月十七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

本日はお目にかかれた上にご馳走までしていただき、ありがとうございます。

さて注文しておいた PosterMaker 用の Templates Vol.2 というのが届きました。

相変わらずアメリカ的な図柄ですが、何かに使えるかも知れません。なお Copy II Mac Ver6.1<sup>\*</sup> として MORE 以上のソフトだと言われている Guide も入手いたしました。この Guide については『ASCII』誌十二月号に紹介されておりますので、ご参考までにその部分を送信させていただきます。ここではアウトラインプロセッサの持つ機能を発展させたものとして Guide を高く評価しております。

十一月十九日

松田純一

松田純一様

PosterMaker はなかなか便利ですね。本の表紙に Pickwick Papers とあったのは、愛読書なのでちょっと嬉しくなりました。

三原山の噴火地震で、グラっとくるたびに停電するのではないかとビックつきながらの一日でした。バックアップ電源はたしかに必要ですね。まあ、東海地震も現在のレベルではとても予知はできないだろうとわかっただけでも収穫でした。それにしても、万一当方が緊急避難でマックを残していけるだろうかと思ったら、急にキャリングバッグの広告へと眼がいったことでした。

\* Guide

アウトラインプロセッサの概念を超える、ハイパーテキストといった感のあるソフト。



十一月二十二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

やっといやな月末業務が過ぎ、ほっとしています。

FAXありがとうございます。三原山の噴火のニュースを見ていますと、幸にそういう恐い経験が無いものですから、どこかの映画を観ているようでピンとこないと言うのが実感です。先生のご自宅付近は大分揺れたのでしょうか。バックアップ電源装置もあると安心して機械を使うことができますが、お世話になったのが実際のところ今までたったの一回ですから、何という事もないのかも知れません。

先日の休みに年賀状の作製を始めました。デザインはMacで作り、プリントゴッコで仕上げるつもりですが、他人には色々とアドバイスをしたわりには自身の事となると欲も出てくるのか悩んでおります。

先ほどM氏からの連絡によりまずとCopy II Macが早くもV6.2になったとのことです。すさまじいバージョンアップには驚かされます。

十一月二十六日

松田純一

松田純一様

ThunderScanの発注が戻われてきました。ハードなので輸出ライセンスが得られな

\*プリントゴッコ  
ハガキの印刷はこれが一番簡単。

いからという、先日のハードディスクの場合と同じ理由です。先日は金額もある程度のものだし、すでに小切手を送付してあったので、あまりこじらせては返金もままならないのではと思いきらめましたが、今回はさほどのこともないので、別会社に注文しなおしてみました。けれども、もしライセンスの件が単なる契約関係からではなく、日米間のコンピュータ摩擦のせいということであれば、重要に思えます。以前はマウスにせよコントロールセンタにせよまったく自由だったのですから。ThunderもたしかNortheastというディーラー(MAC WORLDに広告)から購入した記憶があります。

Copy II Mac の矢つぎ早のアップデートにはおどろきますが、最近は主要ソフトがプロテクトを外す傾向もでているそうですね。結局ハードディスク対応になると、外さざるをえないのでしょうか……。

さて、よいファイル修復のソフトが欲しいところですが、使いやすさの点ではいまのところ目ぼしいものとしては IStAids しかないようですね。実は小生 MACIO を導入してから二、三度を Unreadable にした経験があり、今日も MacWrite のファイルを読めなくしてしまったため、これを購入しようと思っているのですが、広告では現在 512 用と X1 用のみ、Plus 用は近日発売とあるので控えている次第です。

寒くなりましたので、ご自愛專一に。小生いよいよ年末スケジュールです。

十一月三十日

紀田順一郎

DECEMBER

12月

Mac用ペイントソフト続々登場◆紀田、  
演算星組に電腦手帳の企画案出す

紀田順一郎様

だいぶ寒くなつて来ましたが、先生はお変わりありませんでしょうか。新しいスライドショーまたはアニメソフトと言うべきMacMovieが入荷したというので、しばらくぶりでハイテックスへ顔を出してきました。帰宅してテストをしたのですが、MacPaint ファイルでコマを作成できるため、MacVision や Easy3D などでも利用できるので、応用範囲が広いと思います。最高のフレーム送りスピードは、マニュアル等によると一秒間に30スクリーン以上の事なので、ちょっととしたアニメ位なら面白いものができそうです。ただ、MACIO上のシステムで動作させると爆弾マークが出てしまうことがあるので、ディスクレットからの立ち上げの方が安定するようです。急ぎお知らせまで。

十二月三日

松田純一

松田純一様

CalenderMaker を早速試しておりますが、使つて見るとなかなかいいですね。『M

AC WORLD』の広告で想像したよりずっと実用的です。これから暇をみつけ、好きな絵を十二枚入れて配り物にしようかと思っております。

『MAC WORLD』の最近の広告に、Yours Trulyという贈答カード作成用のソフトがありますが、メーカー注文でないとダメそうなので、今回は諦めました。ディーラーならまだしも、メーカーに直接注文する人はいないようで、二年ほど前Apple II用のゲームソフトを注文したら、四カ月もかかって機械を処分した後に到着、往生したことがあります。

ディスク回復プログラムとしてFeditPlusというのがあるようですので、注文しておきました。

十二月十日

紀田順一郎

紀田順一郎様

『本の情報事典』『AppleExpress』が届きました。ありがとうございます。

オーダーしておいたSuperPaintがやっと届きました。御存じのように、MacPaintとMacDrawを一緒にしたような高機能なペイントソフトです。ペイント機能とドロー機能で描いた各々の絵を合成したりすると、今まで経験したことがない結果になったりして嬉しくなります。

MacMovieの件ですが、大きな問題があるようです。高速で動かすためにファイル

\*『本の情報事典』

紀田順一郎監修（一九八六年出版）  
 ニューズ社。本の歴史から出版用語、書店、読者などにまつわる用語・概念を話題風にまとめた辞典。（紀）

をRAM上に置いて動作させるのですが、1MBのメモリでも二〇〜三〇ページのフルスクリーン画像でせいっぱいなのです。これでは秒あたり三〇フレームの動作を与えるすると一秒そこそこの表現しかできず、メモリが4MBくらいないとちよつとしたアニメーション等は到底期待できません。ただ、今は初期のフルアニメのように秒二十四コマのアニメを作るなどしませんから、たとえば秒五コマとか三コマで十分でしょうが……。それより不服なのは、RAMエリアが不足の場合などの対処が全然なされていないので、単にストップし暴走してしまうことです。使いやすいのが取柄だと考えたのですが、あまり期待できないかも知れません。

十二月十一日

松田純一

松田純一様

十月に注文したPrintshopとToyshopは、注文書がどこかに紛れてしまったのか、結局不着になりそうです。急がせれば二週間ぐらいで着くでしょう（なお、いまメディアセールスで販売しているのは、割引を利用すれば取り寄せとあまり変わらないので、これにしようかとも思っています）。注文といえはThunderScanが到着しました。

本日演算星組へ行き、電腦手帖の企画を出してきました。井上氏は休みでしたが、脈がありそうです。ついでにCalendarMakerで作成した一月分を置いてきました。

SuperPaintは小生も使っておりますが、実に重宝なものです。これが数十ドルとい

\*TheToyShop

一言でいえば紙工作のソフト。竹トンボや飛行機の図面が用意されていて、自分でデザインを加えてプリントアウトし、組み立てて遊べるようになってる。厚紙や竹ヒコが付属しているのが心ニクイ。

うのですから MacPaint も Draw も形なしでしょう。ビル・アトキンソンには断わって作成しているようですが、パソコンのソフトというものはこれだから、創始者が報われないと言えますね。それはともかく、パターンが何種類も出てきたり拡大機能がパワーアップしたり、カラー化されたりで、場合によっては ColorPrint も不要になります。ちょっと凄いいと思います。これからなにか作ってみたいと思っています。

明日、古瀬幸広責任編集の『ワープロ百科』をお送りいたします。小生の作成した書齋図が掲載されていますのでご笑覧ください。

十二月十二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

午後一番に『ワープロ百科』をいただきました。ありがとうございます。

SuperPaint は大体において素晴らしいソフトですが、不満な点も二、三見つかっています。TraceEdges 機能がないようですし、ペイントの際に Final を選んでも二度打ちしてくれない、そしてフルページを一覧できる機能はありますが、MacPaint、FullPaint みたいに、ページ全体の描写位置を一覧して訂正することもできないようです。これらが私の勘違いなら良いのですが…。

本日 DrawArt を余分に購入しましたので、別送させていただきました。これは一種のクリップアート集なのですが、Paint のファイルではなく Draw のアート集です。で

すから MacDraw で読み込んで MacPalette でカラー印刷も可能ですし、もしお気に入りの図柄がありましたら拡大・縮小しても歪みません。Draw といえば、Calendar-Maker で作成したファイルを Draw 形式のファイルに落とせば、簡単に各部分ごとの色指定も可能になり、カラフルなカレンダーがでか上がります。十二色の用紙に一年分のカレンダーを作成してみました。何かのプレゼンテーション等に使えるそうです。師走も段々と大詰めになり、何かと気ぜわしい時期ですがご自愛下さいますよう。

十二月十八日

松田純一

松田純一様

PrintShop と World-ClassFonts が届きました。前者はクリスマスぎりぎりに届いたという感じです。マニュアルには封筒など Stationary が入っているとしてありますが、これは申しわけばかりのチャチな赤い封筒で、オリジナルがまあまあのもので、に惜しいと思いました。Fonts は Double-Click Software という会社のもですが、箱の様子などから MacTheKnife の Miles Computing の末裔らしいのです。同じフォントも含まれています。

ThunderScan はなかなか快調に動いています。ハードはナンバーが64万台で、多少アップデートがあるようです。

十二月十九日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日演算星組へ寄って来ました。先生のご発案によるMac手帳のコンセプトなども話題になりました。このMac手帳のことは二十日発売の『MAC+』誌の同社広告にも記載されてあります。

新しいThunderScanが快調とのこと、なによりです。スカヤナと言えばキヤノン製のスカヤナがアメリカ製のソフトと組み合わせられて発売されるようです。これはインチあたり300ドットの解像度を持つすばらしい物だそうですので、価格がどうなるか楽しみです。

先日アイワのPVA1200という1200ボアの全二重モテムを入手しました。久しく利用していなかった通信をぼちぼち再開してみようかと考えています。また98用としては最新の通信ソフト『デジタル・ファームの通信ソフト』を購入し、テストをしています。これは今までになくビジュアルな、マウスで使える通信ソフトで、自動通信などが案外簡単に実現できるようです。98用としては非常に垢抜けしたソフトだと思います。

十二月二十日

松田純一

紀田順一郎様

クリスマススイブにお騒がせします。今日は七時三〇分に帰宅したのですが、電車を

\*Mac手帳  
のちにCYBERNOTEという  
名前で売出される。一三三ページ  
参照。



始め駅のターミナル、道路などがいつもと違って大変混みあっていました。これも世の中がホームクリスマス指向になったためかと思いますが、逆に飲み屋などは閑古鳥が鳴いていることでしょう。帰宅しましたら『パソコン宇宙の博物誌』が届いておりました。ありがとうございます。

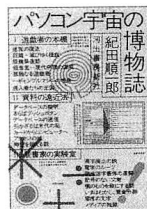
本月初めて CalenderMaker を Draw のファイルでセーブ、SuperPaint で読み込んでからカラー印刷を試みました。結果は何の問題もなく多色印刷ができるので、楽しみが増えました。しかし残念ながら、MACIO ハードディスク上にプログラムを移して（システムは移さない）のカラー印刷は今の所成功しておりません。当然 SuperPaint のシステムと今までの MACIO のシステムが違うので、これは仕方ありません。しかしもしやと考え、SuperPaint に付属のシステムをフォルダーごと MACIO にコピーしスタートアップさせたところ、今のところカラープリントは支障なく動いています。しかし HFS ではシステムを多数持つてはいけなとかで、他のアプリケーション等に支障が出るかも知れません。

今年 Mac にとって変化の多い年でしたが、来年もレーザープリンタの安価版や新しい Mac 発表の予定があるようですし、ビッグ・スクリーンや新型イメージスキャナ等々、目が離せない年には違いないようです。

十二月二十四日

松田純一

\*「パソコン宇宙の博物誌」  
紀田順一郎著、河出書房新社、一  
九八六、「BUG NEWS」連載  
のパソコン文化史をまとめたもの  
(紀)



松田純一様

PrintShop は自作の絵や例の電腦絵巻を利用すれば、なかなか面白い効果が得られると思います。いつも思うのですが、ブローダーバンドのレディーメイドの絵はあまりいただけませんが、ソフト自体は愉しさに溢れています。

『MAC WORLD』英語版一月号に、AbatonやDESTなどというデジタルの広告が出ていますね。キャノンが予定しているものもなかなかいいものらしく、楽しみです。記事では大モニタが目立つので、来年はこのあたりが主軸となって展開するのでしょうか。

正月休みは二十七日からですか？ 小生今年から来年にかけては多少仕事が減って嬉しさも中ぐらいでしたが、『新潮45』の連載を依頼され、締切が六日となりましたので、休暇返上のやむなきにいたしました。

十二月二十四日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FA Xありがとうございます。年末になって風邪にとりつかれ、往生しています。今日はアップルコンベンションのメンバーたちの忘年会なのですが、残念ながら欠席せざるをえませんでした。

キャノンのデジタルイザ (MacScan) と専用のソフトですが、入荷したそうです。イ

ンチあたり300ドットでA4判の原稿をほんの四、五秒で取込んでしまうということです。カタログ等、たとえば五ミリほどの厚さがある原稿も問題なく取込めることとしてこれらをレーザーライタで打ち出すとまるでコピーマシンのようだなどと聞かされました。年明けには現物を確認してみるつもりです。専用のソフトも以前のバージョンではPrintデータにならなかったのですが、今回入荷のものは早々と改善されているようです。

先生は正月返上のお仕事とか。時節柄ご自愛下さいませよう。

十二月二十七日

松田純一

松田純一様

お風邪はいかがですか？ 昨日『MAC+』が送られてきました、記事を拝見しました。またMac書道の解説書や巻末のスタッフ紹介も読みました。演算星組の活動も国際的になるようですから、栄兄の文章も英訳されて外人の眼にふれる可能性がありそうですね。ちなみに『季刊MAC+』という誌名は悪くないのですが、最近の機種は交代がはげしいので、ごく近い将来MacGSとかULTRAMacなどというものが出たら、イメージ的に古くならないのか、いささか心配です。こうした時代は、製品名につきすぎることは危険かもしれませんね。

来年は高性能で廉価のデジタイザの年になりそうですね。誰でも画質のよいものが

できるので、問題は独創的なコンセプト、よい原画、面白い加工処理が勝負ということになるでしょう。アメリカの広告などではいまのところ、デスクトップパブリッシングや論文などにおけるイラスト的应用が強調されているようですが、何かもう少ないものでしょうか。

今年も暮れますが、一年間たいへんお世話になりました。マシンもみな順調に動いており、これが学者の世界なら「学恩」に感謝ということになるでしょう。いろいろ裨益していただき、本当にありがとうございます。どうかご自愛のうえよいお年をお迎えてください。

十二月三十日

紀田順一郎

紀田順一郎様

風邪の熱はなんとかおさまりました。ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。

先生のおっしゃるとおり、グラフィックス関係といってもなかなか捕らえどころがないのか、自分での使用はともかくアップールが難しいとつくづく考えさせられます。

来年はMacをベースに何かリトグラフ的(?)な作品を幾つか作って見たいと考えています。ハード面ではやはり、高品質なデジタイザそしてビッグモニタを是非にも欲しいところです。

とにかくも明日はついに大晦日。私こそ今年はいへんお世話になったばかりでな

く常に大きな刺激を与えていただき、実りの多かった年だったと感謝申し上げます。お陰様にて今までかえりみなかった中国関係の歴史書を数十冊も読んだことなど大いなる切っ掛けを作ってくださいました。今年は多分最後のご連絡になるかと思いますが、来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。良い新年をお迎え下さい。

十二月三十日

松田純一

また、あるときわが家を訪れた美人編集者、「それ、Mac よね？ 私よく知ってるでしょ。今週、K 先生のとこ取材したら持ってた。こんなことって、珍しい！」

私は感動のきわみ、例によってグラフィックス用ソフトからスプレッド・シートまで、じゃんじゃん見せてしまった。たぶん、男の編集者ならモノクロ2本立てぐらいのところ、オールカラー6本立てロードショーぐらいは見せたかと思う。彼女は「ほほー、フーン、ハハハ、キャキャキャ」などと大いにノってるようだったが、ひとわたり見終わると言った。「でも Mac ファンて、子どもっぼいところ、ありますね」

たぶん、こういう人って、Mac には向かない。

この稿を書いたころ、私は秋葉原のあるパソコン店で他機種の買物をし、ムダと知りつつもこんな質問をした。

「おたく、Mac 置いてないの？」

「Mac？」店長はキョトンとした表情でいった。「あれは、ほとんど少数派だからなあ」

……ほとんど、向きませんなあ。



## Mac に向く人、向かない人

Mac に向く人、向かない人というのがあるかもしれない。ちょうど、98に向く人、向かない人があるように。

先日、指揮者をしている若い友人が作曲家の奥さんといっしょにやって来て、楽譜のデータベースを作りたいがどんなパソコンがいいか、パイカがきちっと打ち出せるパソコンはないかとの仰せ。それならと、わが愛機 Mac II をご覧にいらした。多少のいやな予感がないでもなかったが。

クラシックの指揮者だから、英語ないしはドイツ語のデータベースでいいはずだ。まず、dBASEMac や DoubleHelix II を見せた。研究社の古典的な『英文学叢書』全101巻、収録作品数無慮800というのをデモったり、「バスター・キートンはなぜトーキーに乗り遅れたかについてのデータベース」というのを見せた。これは私のおハコで、わが家を訪れる編集者諸氏にはたいてい見せびらかすことにしているものだ。

ところが敵は、どうもピンと来ない顔をしている。私は業を煮やし、「それなら、こいつはどうだ」とばかり、Excel のセル幅を長めにとって、洋書の文献リストに応用したもまで見せた。これはウルトラ C で、Excel ユーザー数多しといえど、他にはついで似た例を知らないというシロモノ。

「ほれ、このフォントをニューヨークに入れ替えて、18ポイントにして50%縮小印字にすると、パイカ真っ青な品位になりますよ」といったノウハウまで、もう惜しげもなく伝授してしまったのである。

ところが、相手はまだ沈黙している。奥さんもジーンと黙りこくっている。たまりかねて「何かご質問は？」と言ってみた。

「あの一」と、指揮者はおそろおそろ言った。「こんなゲームっぽいものより、もっとマジメなやつを見せてください」。

こういう人には、Mac は向かないかも、ね。

JANUARY

1月

システム手帳のトレンド到来◆Macの  
周辺機器に注目

松田純一様

本年もよろしくお願ひします。お正月はいかがでしたか？ 小生は元旦だけ休みで、あとはズレりに追われた毎日でした。版元とコンセプトの相違で書き直しとなり一月掲載はズレるし、結局正月を棒にふったこととなります。今年の波乱が予感され、どうもいけません。

今年は例の電脳手帳が六月ごろには実現しそうで、目下あれこれ考案中です。仕事と遊びを融和した内容のものにしようと思ひしています。小生もFilefaxを持つていますが、システム手帖というには何もシステムらしい工夫がなく、要するにユーザーの甲斐性でシステムにしてくれという姿勢のようですね。かねがね思っているのですが、文具メーカーにはあまり本格的システムを考案する気がないようです。筆記具にしてもノートにしても、つい紙質やレザの柄といったテクスチャーのほうに頭がい

\*Filefax  
一九二〇年にイギリスの陸軍将校  
によって開発された。



ってしまい、豪華な実年向け特選文具か、女の子向けのファンシー文具に二極分化してしまふようです。その意味では、もっとパソコンのソフトハウスが開発すべきでしょうが、文具の原材料の仕入れなどを考えると大手では細かすぎて不可能とみえ、その意味では、演算星組のような趣味的頭脳集団がもっとも適役かもしれません。

旧臘、ブローダーバンドのソフトでToyShopというのを入手、日を経るにつれ栄兄にぜひ見ていただきたいと思うようになり、もう一組注文したところ、意外に早く到着しました。明日宅配便にてお送りしますので、お試しいただければ幸いです。

一月七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAXありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。正月返上のお仕事大変でしたね。

電脳手帳の件は私も非常に楽しみにしております。普段ろくに手帳もつけないのに、今年は早々にシステム手帳の類を購入し研究(?)しております。初めて真剣にオプシヨンのシート等を手にとってみましたが、たった一枚のカレンダーシートが三百円もするのには驚きました。個人的な要望になりますが、先生の言われる通り遊びの精神を豊富に取り入れた上で、少々高価になっても本格的な物をと希望しています。

また、本日ToyShopを拝受いたしました。珍しく残業をして帰宅した所ですが、疲

\*テキストチャ  
texture(英)。性質、材質  
のこと。

\*電脳手帳  
松田は「手帳」、紀田は「手帖」と  
表記しているが、原文のまま。

れがふっ飛びました。子供の頃から工作が大好きで、よくボール紙などで起重機やロボットを作ったものでしたが、パッケージを開けた途端に昔の懐かしい記憶が蘇りました。ありがとうございます。思いも掛けぬお年玉です。

夜分申し訳ありませんが、ご挨拶とお礼申し上げます。

一月九日

松田純一

松田純一様

FAX拝見。今、DarkCastleを使っています。最近この種のゲームはずいぶんリアルになっていきますね。とくに階段をころがりおちて、ウーなどと呻くあたりはよくできています。キーボード主体ですので馴れないうちは瞬発的な反応ができず、低い採点でした。はじめのほうは階段のうえのほうから矢鱈に石を投げると、かなりコウモリや蜘蛛が死にますので、それなりの高得点を出せますが、あとがいけません。

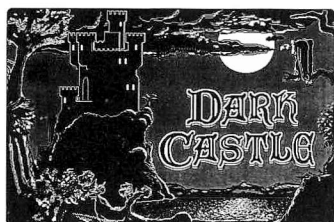
また本を出しましたので、一兩日中にお送りいたします。

一月九日

紀田順一郎

紀田順一郎様

ただ今友人の会社から戻ってきたところです。キャノン製のスクヤナと米国製のソフト、そしてインターフェイス・ボックスを動かしてきました。イメージスクヤナは



\*Dark Castle  
ゲームセンターばりのアクション・アドベンチャーゲーム。リアルなサンプリングサウンドが響曲気をもりあげる。十二月二十五日にゲームをすると、ゲーム開始直後のエントランス・ホルルの甲冑が模様替えされていたりする。その後、さらに広いマップで新しい工夫のもりこまれたBeyond Dark Castleも発売された。

IX-12という製品ですが、簡単なカタログをもらってきましたので、この後に送信いたします。性能的には十分なものを持っているようですが、現在のソフトのバージョンがどこかで多少の不安があります。問題の価格ですが、ハードはカタログのとおりですがソフト（I/F、ケーブルを含む）は定価が二十万円位を予定しているとか。実際の販売価格は合計で三十万円位になるのではないのでしょうか。決して安い物ではありませんが、今後レーザーライタが普及するにつれて、この手のスキナは必需品になるのかも知れません。

話は変わりますが、その会社でLevco社製の2MBのRAMボードOne Plus Oneを薦められ、購入してきました。取り付けも大して難しくはないようですのでこれから作業にかかろうかと思っております。急ぎご連絡まで。

一月十日

松田純一

松田純一様

FAX拝受。イメージスキナは、これで三十万円ちよつとは期待できると思いましたが。今年はこの方面に展開がありそうですね。海外製品は輸入すると高価になるので、それに国産のほうがハード的にはよさそうですね、注目していきたいと思っております。ただ、ソフトはずいぶん高価ですね。

漢字Tarkは、『日経パソコン』で読んでバージョンアップを考えています。目下

\*OCCEDINSOC  
Mac Plus用の増設RAMボ  
ード。

旧バージョンは毎日 Excel で使用しています。それ以外はほとんど使いませんが、たまに Paint の中に漢字を入れる場合にはやはり重宝です。電脳手帖では 10 ポ以下の細かいフォントが必要ですが、確かイメーシライタ II J では 9 ポがサポートされるようになったそうですね。しかし、これだけでプリンタを買いかえるのはシヤクです。

それにしても今年はスキヤナ、増設 RAM などハード関係のほか、ハードディスク関連のユーティリティソフトやデータベースソフトを予定しなければならず、頭が痛いことです。データベースでは DBASE Mac が非常に評判よく、これは米国から買えばよいのですが、同じ DBASE でも日本語の方は例の二十ウン万円で、困ったことです。

一月十一日

紀田順一郎

紀田順一郎様

本日『日本の名言名言事典』が届きました。いつもご配慮いただきありがとうございます。

増設 RAM の One Plus One は問題なく動いています。また先にお知らせ申し上げましたキヤノンのスキヤナで 300 ドット/インチで画像を取込むときなどは、従来の 1 MB ではデータ容量が大きすぎて実用にはならないとのことです。何かと金のかかることですが、漢字 Talk を効率良く使うのにも、2 MB の RAM は不可欠にな

\*『日本の名言名言事典』  
紀田順一郎編（講談社学術文庫、  
一九八七）。日本の名言から名言を  
抽出したもの。（紀）

って来るのかも知れません。

話は違いますが、『BOX』という雑誌の二月号にワープロを使ったシステム手帳の工夫の仕方などが書かれておりました。このあとに送信いたします。

一月十三日

松田純一

松田純一様

システム手帖のFAX、ありがとうございました。漢字Talkの新版はParadiseと相性悪く、爆弾は出ませんが、Paradiseのディスクをブートすると漢字Talkが無効になるせいか化け文字になってしまいます。システムやファインダを入れ替えてみましたが、Talkそのものが働かないようです。

先日書泉グランデの五階科学書売場に行ったら、PrintShopの98版とFM版(ディスクアウント)が置いてあったのには驚きました。

今年はまだ風邪をひきませんが、去年の今ごろはひどい目に会っていたのを思い出します。どうぞご自愛のほどを。

一月十三日

紀田順一郎

紀田順一郎様

先日のスキヤナをいろいろと操作してみました。線画は当然としてもハーフトーン

がどのようになるのかをこの後に送信します。先日にも記しましたとおり、レーザーライタの使用を前提にしているためか、アミ点表現になっています。お送りした原稿は、原画に対して二倍のインチ当り150ドットで取込んだ後50%のリダクションで印刷した例です。FAXではどうかと思いますが、結構綺麗ですし、PageMakerをはじめパブリッシングのデータでセーブするモードもあるので、益々レーザーライタが欲しくなります。

MacWorldExpoでのニュースが、僅かではありますが入って来ています。しかし、新しいMacの発表もなく、あまり目だったニュースはないようです。演算星組の井上社長もそろそろお帰りになった頃かと思えますので、連絡をとってみたいと思います。

一月十七日

松田純一

松田純一様

やや暖かい日が続きますが、いかがですか。漢字T-a-r-kを試してみました。辞書や変換スピードは改善されているため、ハードディスクがなくても結構使えます。入力した後は、前のバージョンで起動しても互換性はあるわけですから（外字はダメ）、それなりに使えると思います。MacPaintには使えないというのは妙ですが、次のバージョンには改善されるでしょう。目下互換性のない理由はシステムファイルの問題で



\* PageMaker  
DTPのソフトウェア。最近キヤノンから、日本語版も発売された。

しようから、必ず Paradise でも使えるようになると思います。

壊れたファイルを覗く FeditPlus が到着しました。地味なソフトですが、持っていて損はないと思います。同時に Printshop も着きました。

『M A C W O R L D』二月号に各社のレーザーライタ用フォントが紹介されていますが、かなりいいものがありますね。高価ではありますが。

来月に備えてメ切を繰上げなければならず、忙しい思いをしています。六日ごろから実家に寝泊りすることになりそうです。小生の実家は横浜の港の見える丘公園から徒歩十五分くらいのところで、二十年ぶりですが、ワープロも F A X も M a c もない生活が可能かどうか、いささか不安です。とりあえず……。

一月二十五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

F A X ありがとうございます。私も『M A C W O R L D』二月号を見てレーザーライタがますます欲しくなりました。個人で、それも趣味としての使用には贅沢すぎる製品ですが、何とかならないかと真剣に考えております。

ここ一週間ほどは98で使うフレームバッファを調べておりました。と言いますのはフレームバッファも大分安くなりましたので、98を使った本格的な C G に取り組んでみたかったからです。何とかパソコンでアニメーション等を含む本格的な C G をと言

\*港の見える丘公園

一九六二年五月横浜市中区山手の中心地 旧英軍駐屯地にオーブン命名は平野愛子のヒット曲「港が見える丘」にちなむ。隣接区域に外人墓地 三島由紀夫記念館 神奈川近代文学館、日本の演劇の起源ゲイテ 座跡などがある。(紀)

\*98用のフレームバッファ

P C - 9 8 0 1 で「六七〇万色を表示させるための拡張ボード。ここではサビエンス社の S U P P E R F R A M E を指す。(松)

うのが長年の夢なのですが今年は実現できそうです。

さて、MacScanというスキャナですが、この春からキヤノンが正式にMac用として販売するようです。

一月二十日

松田純一

松田純一様

MacScanのデータディスクト拝受しました。なるほどドットでの表現というのは、デジタルの用途を広げるものと思います。これを応用してExlibrisなど作ってみたいものです。アミ版に限っての話ですが、従来のデジタルは幾何学的なパターンではないので、手による修正が可能でしたが、このドットタイプでは原則的には無理で、原図再現ということが主眼となるでしょうね。小生などは、ThunderScanで取りこんだものをデザイナー的に処理することで、自分の「作品」(?)に近づけようとしてきたわけですが、そうした観点からは、デジタルの用途はちよつと違うようです。線画的に用いる場合には、性能がよさそうですが、どの程度の価格になるのか気になるところです。

一月三十一日

紀田順一郎

\* MacScan

New Image Technology社が独自のインターフェイスとキヤノンのiX-12というイメージスキャナを使って、Mac用の高解像度スキャナとして開発した製品。

(松)

\* Ex-libris

蔵書票の元。from the books ofの意味のラテン語で、この下に所有者の名前を入れる。



FEBRUARY

2月

# MacDraw、Mac IIの発表◆松田、NIFを訪問

紀田順一郎様

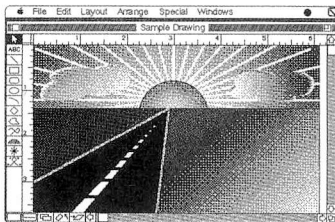
このところなにやら慌ただしく毎日が過ぎてしまい、ご返事もできませんでした。MacScanに関してのご指摘の通り、ハーフトーン表現の場合、今までの考え方は大きく違ってきました。レーザーライタを主として考えられていることから、当然デスクトップ・パブリッシング等がターゲットなのでしょう。しかしアートの立場から考えるとこのアミ点表現は無味乾燥で、大いに問題があると思います。しかしいろいろな面で、ソフト自体のバージョンアップにも、個人的には期待を持っています。

CricketDrawを入手しました。その名の通り基本的にはDrawのソフトなのですが、グラデーションやシャドウを始めとしてeffects機能が豊富な素晴らしいソフトです。

昨日演算星組へ伺いましたが、レーザーライタを入手したとかで奥のデスクに重々しく置いてありました。今度伺う際にはデータを持参して、幾つか使わせていただこうと勝手なことを考えています。

二月六日

松田純一



\*Cricket Draw  
MacDrawに始まるドロウイングツールのひとつ。グラデーションのかかった図形を簡単に作れるなど、独得の工夫がなされている。

松田純一様

FAX拜見。演算星組といえは手帖の件、少しずつですが、コンセプトづくりが進行していますので、以下にメモ的に掲げてみます。

① アプリケーションソフトウェア

データベースソフト（漢字TALKが前提）……住所録、スケジュール、情報のデータベース化

② リフィルメーカー……罫線数や幅など、ユーザーの目的に応じ、修正可能、手帖から外したリフィルはカード的に後利用が可能なこと。（問題点 漢字TALKの制約 JIS第二水準）

③ バインダー

種類：革製、ビニル製など。スタンダードは軽快なものに。高価なものをオプシオンにする方法も。

④ リファイル

A エンタテインメント……路上観察学、難読奇姓辞典、絵本道化遊<sup>ちやりあせび</sup>、世界奇談集、大語園、ことばの豆辞典、世界の古本屋、奇態流行史

B カルチャー……アメリカ経済文化事典、用語字典、ワープロ漢字辞書、菜根譚

演算側では第二水準の問題など念頭にはなかったようで、いろいろクリアせねばならないことが多く出てきそうですが、プランとしては以上のように思います。

\* 路上観察学

赤瀬川原平、藤森照信、南伸坊、林丈二らによって一九八六年創立された一種の都市考現学研究の集い。席地の煙突、マンホールの蓋

不要の階段など一見無用の長物（トマソン）を観察し、そこに人間と都市の形而上的な関わりを発見しようとする。（紀）

\* 「絵本道化遊」

富政年間発行のお座敷遊び指南書「目をふさがれながら、人の鳴らした茶碗の在処を当てる」など、ユーモラスで罪のないゲームが満載され、江戸庶民の優雅な日々を髣髴し得る。現代のパーティーにも使える。一九二一年富武外骨により復刻。（紀）

\* 「大語園」

児童文学の祖藤谷小波により企画され、息子栄二により完成された日本語辞典（全十巻、平凡社、一九三五）（紀）

まだ内閣で進行という段階ですが、アイディアがありましたらご教示ください。

二月八日

紀田順一郎

紀田順一郎様

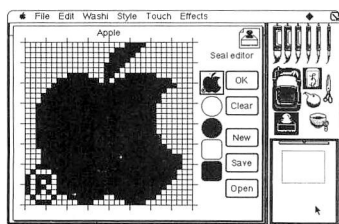
手帳の件、楽しく拝見しました。大変ユニークなシステム手帳になりそうですね。

また、データベースとリフィルメーカーで同じデータを共有できたら最高です。例えば知人、友人などの誕生日をデータベースに書きこんでおくと、リフィルメーカーで作った月日に自動的にそれらを印刷してくれる等。漢字の第二水準については、漢字Talkを前提とする以上、本格的な使いようは諦めるしかないのでしょうか、できるだけ使用頻度が多い漢字を外字などで用意する方法も一助かも知れません。

先日演算星組へ伺ったとき例のMac書道の新バージョンを拝見しました。よりピジュアルになっていましたが、一番面白いと感じた機能に「印」を作るというものがありました。一種の外字作成機能なのですが、作った印のファイルを呼び出し選択をした後、ポインタの位置でマウスをクリックすると「べたべたと」印が押されるといふものでした。この機能を拡大すれば、リフィルを分類したり、目立つようにする場合に使う小さなシンボルマークを作成できます。

二月八日

松田純一



\*印を作る  
左の図参照。

\*「奇態流行史」―宮武外骨著一  
九二三。古代の虫祭りや男の黒黒  
から、大正の銀アラにいたるまで、  
世上の流行現象を集成し、日本の  
国民性に迫る快著。『宮武外骨著作  
集』（河出書房）に収録。  
(紀)

紀田順一郎様

だいぶご無沙汰いたしましたがお変わりがなければ幸いです。昨日は、N I Fという、この春から事業を開始する通信会社に呼ばれて伺ってきました。その後A P D (アドバンスト・プロダクツ・デザイン) という会社へ寄り、大型ディスプレイのThe Big Picture等の新製品を見てきました。また、M a cの新製品の概要なども伺ってきました。S EというタイプとIIというタイプに大きく分けられるとの事ですが、S Eは外観も変わらずC P Uも6 8 0 0 0とかで、現在M a cを持っている人にはあまり魅力のある製品ではないようです。M a c IIはスロットをいくつか持っていて拡張が容易になっているようですし、カラーバージョンも純正で出るようですね。ただ発表前なので具体的には教えていただけませんでした。米国の五千ドルとのニュースを考えると百万円を簡単に越えてしまうようですし、カラーバージョン等は大幅にメモリの拡張を必要とするため、かなりの金額になる気配です。The Big Pictureですが、その17インチの画面の迫力、作業性の良さには脱帽しました。Excelも走らせてみました。大きなシートの全容が見られる事の便利さには感嘆しました。

ところで、素晴らしい(大げさでなく)ソフトが入荷しましたので是非お知らせしたいと思います。製品名をSteppingOutという、仮想大型スクリーン・エミュレータといったところのものです。システムホルダーにインストールしておくと、設定した画面サイズをメモリに常駐させておくため、マウスのポインタがM a cの端にくると、

\*N I F  
正式な社名はエヌ・アイ・エフ株式会社。富士通と日商岩井の合弁会社で、N I F T Y S e r v e  
運営を目的として設立された。

(松)

上下左右にかなりの高速でスクロールしてくれます。当然設定した範囲の全容を一度に見ることはできませんが(縮小モードなら可)、その作業性はすばらしく実用になります。先生がよくお使いになる Excel でも、従来スクロールバーでの移動にイライラする事はなくなるのではないかと思います。

二月二十日

松田純一

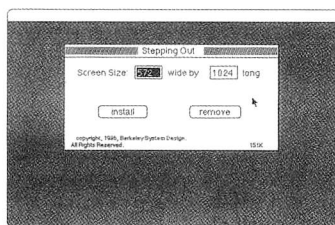
松田純一様

しばらくご連絡できず、申しわけありません。いろいろなことが重なり、Mac もお留守になってしまいました。確定申告のためになんとか Excel だけは動かしております。

SE や II の情報ありがとうございます。カラー化は一つの流れでしょうから期待したいと思いますが、また国内販売価格が高いと普及の壁が破れないことになりませぬ。例の Mac 手帖は、コンセプトをはっきりさせるため案文を練っております。以下の文は結びの部分が未完成なのですが、いちおうご覧にいたいと思います(このあとに送信しますので、ご意見をお聞かせください幸いです)。

● ^ よい手帖が欲しい V とは誰でも思うことですが、これぞ決定版といえるものは、なかなか見あたらないのが現状です。最近のハシステム手帖 V プームも、しよせんはアクセサリとしての手帖を普及しただけに終わり、情報整理や自己啓発のために真

\*Stepping Out  
Mac Plus の画面を疑似的に  
広げるためのソフト。マウスポ  
インタが画面の端にゆくと、自動  
的に画面がスクロールする。



に役に立つ手帖は出現していません。

●いまでもの人々は、手帖の住所録やスケジュール管理にパソコンを活用したいと思うようになっていますが、これまで適当なソフトがありませんでした。一方、パソコンを使いこなしている人々は、持ち歩けるインターフェイスとしての手帖を要求するようになっていきます。

●ここに私たちの開発した手帖は、まったく新しい概念の手帖です。住所録、スケジュール管理、あるいはその他のデータベースが難なく作成できます。たとえば住所録は五十音順、地区別、ジャンル別などのリストがワンタッチで作れるうえ、宛名レベルの刷りだしまで自由自在です。そればかりか、住所や電話番号の変更に応じた修正、削除も容易で、常に見やすい状態に整理されます。スケジュール管理も、日別、月別、年度別の一覧表作成はもとより、主題別や手順を重視した予定表も可能です。

●リフィル（用紙）の形式さえも、ユーザー自身の目的にあうよう、いくらでも手直しや自由な設計ができ、それを何枚でもパソコンのプリンタから刷り出すことができます。欲しいリフィルがいつでも入手できるので。

●要するに、これまでの手帖では不可能だった、真の意味での便利さ、有用さを追求したのがこの手帖です。いいかえれば、真のシステム化を実現したのです。私たちの開発した手帖には、もう一つの価値がプラスされています。これからの情報ネットワーク社会において必要とされるのは、考え方や先入観を脱け出た自由な発想、とら

われない物の見方にあると思われます。いいかえれが、思いがけないジャンルの知識や、遊び心こそが有効なアイディアを生むのです。そのための最良の手段は、日常生活にあるハ手帖というメディアのなかに、アイディアを活性化する知識情報をバックしておくことです。△読む手帖▽、△引く手帖▽、△愉しむ手帖▽の出現です。(以下未定稿)

二月二十日

紀田順一郎

紀田順一郎様

今日Macの新型につきニュースが入りました。MacSEの方は1メガのRAM、800KBのディスクドライブ一台で六十万円弱、20MBハードディスクと800KBディスク一台付きで八十万円弱とかの話でした。MacIIの方は、今日の段階では国内価格の発表はなかった模様です。サードパーティーがSE、II用ともにいろいろな周辺機器を発表するようなので、この点も予断を許しません。何かMS-DOSも走るようです。MacIIは理論上の1ギガ位のRAM拡張が可能、16MHzの68020と数値演算プロセッサ実装とかで、ほとんどワークステーションの世界です。モニタは基本的なものはソニーのOEMとかで、マルチスキャンモニタだそうです。

MacPlusとの互換性ですが、今月の発表の段階では思ったよりPlusのソフトが走ることです。しかしこれも、毎度のように実際に経験してみなければ信

用できませんね。

「Mac手帳の案文」拝見させていただきました。「持ち歩けるインターフェイスとしての手帳」というコピーはいいですね。実際にスケジュール管理くらいの実務にラップトップ・パソコンを持ち歩く必要もなく、自宅にあるパソコンと真のシステム化ができておれば、Mac手帳はそれで、立派なハンドヘルドステーションになるはずです。期待しております。

二月二十六日

松田純一

松田純一様

このところMacの本質的な使用はおろそかになり、もっぱらヤボ用にしか触われません。確定申告も税理士に渡してしまっただ一段落、いささか面倒な切りは月末から月初にかけて一つずつ、野球の「あと一人、あと一人」を「あと一つ」といいかえつつクリアしています。

余事ながら、老父の病が最悪ではないことがわかり救われた思いです。これで緑区の書斎を離れる必要もなくなり、しばらくご無沙汰の秋葉にも行けるといふもの。今回は実家にまで98を持ち歩けないのでLTを購入することまで考えましたが、一太郎がそのままでは使えないようなのでやめました。意外に互換性がないようです。

「一太郎」という命名につき最近判明したことあり。これはジャストシステムが四



国にあるからで、元来一揆の罪にて断罪されかかった父親を徳島藩主に願い出て救った孝子の名ですが、日露戦争のころの香川県出身の兵士にも一太郎という者がおり、港から出征のおり母親が八里の山道を歩いて見送りにかけつけ、「一太郎やーい、お国のために尽くすんだぞ、聞こえたら鉄砲あげてみる」と叫んだところ、かすかに鉄砲をかざす者がみえたという話があります。これが軍国美談として教科書に載り全国的に有名になったわけです。要するにあの辺に多い名だったようで、子どもがいらないという浮川社長夫妻が孝子の意味で命名したことは間違いないでしょう。たまたま昭和六年の少年倶楽部をみていたら、この日露戦役の一太郎が除隊後廃兵となり、摂政時代の今上天皇が見舞った写真がでていたので、思いついたわけです。「一太郎」というのは近代的なパソコンとはいささか無縁で、しかもローカルな命名であるわけですね。

二月二十三日

紀田順一郎

\*一太郎

一太郎の前身は、一九八五年発売の「J×WORD太郎」ジャストシステムの浮川社長の談では、家庭教師をしていたときの教え子の名前をとったそうだ。これがベストセラーになったため、数カ月後のバージョンアップ版では、「日本一の大郎」の意味で「一太郎」と名付けたとか。

これらの予想は、Mac の位置や方向に変動がない場合に限るのだが、日本での販売数は上昇しつつあるが、シェアがどん尻なのは相変わらず。ここらでひとふんばりしないことには、危ない地点にいるのではないか。本国では IBM と NeXT の挟撃を受け、今後は大きなアーキテクチャの変更がないとは言えない。予断を許さないマシンなのだ。無論、アップデートすればよいわけだが、過去の Mac のアップデートにはボーナス一回分ぐらい軽く吹っ飛んだという証言もある。

そうなってくると息の長いシステム作り、データ入力などには、必ずしも不安要因がないとは言いきれなくなる。Mac は国産機種ほど変動がないように見えるが、実は誕生いらい、システムだけでも 6 回もアップデートを行っている(1988年11月現在)。それに伴って、上位コンパチでないソフトが出現しているのは当然である。

これでは98から離れられないという向きも出てくるかもしれないが、ひるがえって10年、20年後を考えてみれば、現在の98も徹底的に変わることが予想される。あの NeXT を見て、98の現状を何とも思わない技術者がいたら、それは落ちこぼれでしかないだろうから。要するにいずれのユーザーも、基盤の薄弱なものを触っているという点において五十歩百歩なのだ。



## それでも98から離れられず…

女房に退屈した男がいて、ほかに惚れてる女性がいるのだが、さてその女性が、掃除洗濯炊事はまるでダメ、おまけにプレイガールで金食い虫ときてるので、おいそれとプロポーズする気にはなれない……などという、いまどき三文小説でもお目にかかれなような退屈な話と思われるかねない。実はこれ、Macを熱愛しながらも98と別れられぬ、マニアの心境なのである。

しかしMacの本にこのようなテーマは後ろ向きに思えるので、いつまで98と離れられないか、その見通しは如何、という話題にしたい。そうなると、どうしても日本語化という問題が避けて通れなくなる。

Macの日本語環境は、最近Mac VJEほか日本語OSが充実しつつあるので、急速に改善されつつある。変換効率や辞書も格段の進歩をとげているので、現在でも短い文書やエッセイ程度なら実用になるが、まだ長い論文や小説をものするには疲れる。たとえば漢字候補の選択に方向キーを用いたり、頻用度の高い記号にオプションキーを用いるのは、キー位置からみた操作性の点でもマズイのである。本格的に文章を書く人の意見を、もっと謙虚に徴すべきではなかったろうか。

しかし、この種の問題は競争が激しくなれば、容易に解決するものだ。印字速度や文字品位がイメージライタでは見劣りがする点も、PostScriptをはじめ、廉価で優秀なプリンタが出現すれば解決する。そうした環境がいちおう整うのに、あと2年ぐらいはかかるだろう。ユーザーが増えなければソフトハウスが動かないからだ。

主要ソフトの日本語化についても同じこと。DTPを中心に活発な日本語化が行われているが、ワープロやスプレッドシート、アイディア・プロセッサなどが、それぞれ数種のソフトの中から選べる状態にならないと困る。それと、データベース・ソフトが日本語化されないうちは、Macの実力の半ば以上が認識されないことになろう。

MARCH  
3月  
エプソンの98互換機が話題に◆演算星組  
のCCG展示会開催

紀田順一郎様

お忙しいところFAXありがとうございました。一太郎の話、面白く拝見しました。また、ご尊父様の容態、最悪でないとの事でまずはよかったですね。

本日の新聞にも簡単なニュースとして載っていましたが、Macintosh IIの価格大系が分かりましたので、別紙のとおりお知らせいたします。なお製品の販売は今年の六月以降、限定販売という形をとるそうで、上記の全てが自由に組み合わせて購入できるのは、暮れか来年になってしまうようです。サードパーティーから、カーリースキャナ等のアナウンスが続々と入っているようですが、周辺装置も高価なものが多く、個人でたやすく購入できるものではないようです。私も知人の方達に購入者が多ければ検討したいと考えています。しかしこのようなマシンを一人二人が特別な目にもなしに所有していても面白くありません。まあMacの128Kを購入した当時を考えると、このシステム価格くらいの価値観があったような気がしますけれど、とにかく大変なことです。取り急ぎご連絡のみさせていただきました。

三月四日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございました。Mac IIはなかなか高価なものになりますね。カラーモニタはあらかじめ標準仕様になっているのかと思いきや、別売とは意外でした。本体とあわせ二つモニタを持つことになり、頭が痛いことです。今年はスキャナなど周辺機器だけの年になるのかなと思っていました。いずれにせよ、Apple IIのときは事情が違ような気がします。なんでもMS-DOSが走るなど、これまでMacを敬遠していた人にもある程度魅力がありそうですが、結局はカラーを生かしたソフトが鍵でしょうから、そのへんをよく見さだめたいと思います。

Apple IIといえば『A+』という雑誌がMac記事を外してGSの専門誌になりましたが、ページ数は減る一方で昨年の半分になりました。『softalk』の末路を思いだします。結局、入広告がないからでしょう。想像してたほどには面白いソフトも出ないようで、以前IIに熱中してESDに通っていた神話時代が懐かしくなります。

三月七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

おかわりありませんでしょうか。本日届きました『日経パソコン』によりますと、セイコーエプソンから98の互換機が出たというニュースが載っていました。98の世界も今年は一波乱ありそうです。私の98は先日Bドライブがイカレたのに続き、N88-

BASICのROMが壊れたようで、メモリスイッチの変更などができませんので、大変困っております。

三月十二日

松田純一

松田純一様

朝日新聞や日パソで、エプソンの98互換機が大きな話題になっていますが、明白なOS盗用以外はあまりきびしくやっても両刃の剣で、米IBMの日本企業潰しに論拠を与えることになりかねないでしょう。互換機そのものは日電独占体制に楔を打ちこむものとして、結構面白いと思います。ユーザーの目からは、オリジナルより優れているものならクローンとは言えないわけです。それにしてもアメリカ市場が厳しくなれば、危険を承知で互換機ビジネスに転身しなければならぬ厳しさは、円高時代の象徴です。これからが、パソコン界の本当の戦争になるのではないのでしょうか。

先日「電子文化を語る会」というのに出ていますら、日経の林さんが飛び入りで出席。さかんにASLTalkを賞賛していました。小生ちょうど98を用いての通信は、現在入っているMDBに関するかぎり相性が悪く、Macを併用してみようかと思っていた矢先ですので、ぜひ試してみたいと思っております。

演算星組の展覧会にはご出品なさるのでしようね。小生、簡単なものを出させてもらおうかと思っていたのですが、このところ匆忙のまま推移してしまい、見送ること



\*ASLTalk  
デスクアクセサリの日本語対応通信ソフト。山田浩大氏の名作で、米国でも配布されているPDS。(松)

にしました。

ニューズウィーク日本版にMac新機種についての記事が出ましたので、このあと送信申しあげます。なんでもSEの方はかなり関心を集めているような気配です。学生などは、むしろFATMACの出物を狙う向きもあるということですが。

三月十九日

紀田順一郎

紀田順一郎様

遅く申し訳ありません。

新橋での演算星組展示には、本日二時ごろに寄りました。まだ一部が展示を完了しておらず準備中でしたが、お客やら取材の人たちが結構おりました。私も五点出品させていただきましたが、どのような見方をされるか大変楽しみです。また秋に本格的な展覧会を開く予定とのことですので、是非先生の作品も拝見したいと思います。

「電子文化を語る会」とはどのようなコンセプトの集まりなのでしょうか。……と言いますのは、演算星組の展覧会で井上さんの知人である富樫さんという北海道大学の方を紹介されたのです。富樫さんはワープロにおける日本語入力のみならず新しい方式を提唱されている方だそうで、「超多段シフト方式」に関する簡単な説明をしていただきました。紹介の一文をこの後に送信させていただきます。

三月二十一日

松田純一

\*超多段シフト方式  
英文タイプでのシフトキーの役割を、漢字の読みを入力することによって実現し、標準のキーボード上に漢字を配置する入力方式。慣れることによってブラインドタッチが可能になる。演算星組がPC-9801シリーズ用に出している「風」がこの方式をとっている。

松田純一様

FA Xありがとうございます。MindWriteは想像していたよりも地味なものが、MacWriteより多機能だし速いので、愛用しています。SmoothTalkerはバージョンアップして女声が入っているのは気に入りました。ちょっと中年っぽい声ですがMacProofはracistなど差別用語のチェックが可能なのが面白く、日本でもこの種のものでできないかと思わせました。もっとも、日本では建前上、「ことば狩り」はないということになっていきますので、このように明快にするわけにはいきませんが。

電子文化を語る会は、古瀬幸広氏が日経MIXの仲間を中心に親睦の集いにしていうことですのでお知らせします。

演算星組の展覧会はとうとう時間がなくて出品できませんでしたが、どんな雰囲気のものか、愉しみます。

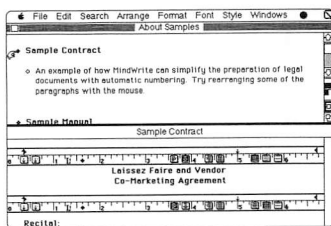
三月二十四日

紀田順一郎

紀田順一郎様

しばらく御無沙汰いたしました。本職がトラブル続きで忙しく往生しています。帰社後、九段の技術評論社へ寄って今帰宅したところですが今日は桜の見頃と言うことで沢山の人が出ていました。

\*MindWrite  
アウトラインプロセッサをうまく  
統合した英文ワードプロセッサ。  
(AccessTechnology)





演算星組の方は一応無事に終了しました。今回が初めての試みだったのと準備の間が少なかつたことも重なり、やっと格好を付けたというところでは。Macで作った自由な作品展ということなので、些か焦点が甘くなつたかも知れませんが、この種のものがない現状を考えれば、有意義なものだったのではないかと思います。

この二、三日は98の新製品である「花子」を勉強しています。Macを使っている者にとっては不満がありますが、ジャストシステムの時間をかけた力作ではあります。ところで先日故あって会社の方にMacSE (HDタイプ)とレーザーライタを設置しました。レーザーライタは使い勝手はともかくさすがに仕上がりが美しいので色々と楽しめそうです。SEに関して調べが済んだ訳ではありませんが、Plusのソフトで動かない物がいくつもあるようです。それとSEはファンの音が案外とうるさく、自宅の狭い場所だともっと気になるのではないかと感じました。レーザーライタも常にフル稼働している訳ではありませんので、先生も神保町においでの際には是非使ってください。大歓迎です。

三月三十日

松田純一

\*日経MIX  
日経BP社(旧日経マクログロウヒル社)が主宰するパソコン通信による電子会議システム。一九八六年九月に実験サービス開始、八七年九月より有料化。

APRIL  
4月花子売上好調◆MacSSEとレーザー  
イタの使い勝手に感激

松田純一様

花子は、図形プロセッサというにふさわしく、なかなか巧緻なプログラムですね。MacPaintなどとは感覚が違うので一概に比較できませんが、使い慣れるには若干の時間を要するところでしょうか。ワープロに簡単な図版、図表を挿入するにはもってこいです。こうなるとプリンタが問題になりますね。

先日の電子文化を語る会の当日の出席者名簿がでてきましたので、ご参考までにお送りします。林晴比古という方は川口市の朝日に住んでいるSEだそうです。ほかに日経の林氏のような飛びいりもありました。席上、林氏に栄兄のアイデアとして、Paradiseで漢字Talkを動かす話を話しましたら、驚倒しておりました。次回は初夏のころにでもと聞いていますが、とりとめのない親睦会ですのであてになりません。実現するようでしたらお知らせいたします。

四月一日

紀田順一郎

\*Paradiseで漢字Talkを……  
本書一〇九ページ参照のこと。

紀田順一郎様

「電子文化を語る会」参加者名簿拝見しました。錚錚たるメンバーの方達ですね。98VM2が遂にダウンしました。修理にも時間がかかりそうなのと、どうしても太郎を必要とする事があるので、思いきって9801VM21を手に入れましたが、同じ98VMでも、漢字変換スピードやカーソルの動き等、相当に使い良くなっているのにはびっくりしました。そしてディスクのアクセス音が格段に静かになっています。

MacSEとレーザーライタですが、漢字Talkも走る事が確認されました。爆弾が出る確率が少々多いようですが、漢字Talk上でのASLTalk等も一応問題なく動きます。しかし、SE付属の新しいバージョンのシステムやファインダ上では、Mac書道などいくつかの物が動かないこともあり、問題はありそうです。

レーザーライタでのプリントの仕上がり具合は大変美しく、プリントアウトの遅さをカバーするだけの事はあると思います。しかし不満な点もいくつか出て来ましたし、まだレーザーライタ対応のソフトが少ないですね。例えばPrintShopなどを使うと、ページ当りの印刷範囲がイメージライタとレーザーライタで違うため印刷結果の端が切れてしまうのです。利点としては、印刷時の大きさが1%刻みで指定できることでしょうか。出力部分はコピー機ですから当然といえば当然なのですが、実務には便利です。

四月三日

松田純一

松田純一様

FAX拝見。知り合いの医者がお茶の水の01でデモ中のSEを見てきたそうで、まだ買う気になれんと言ってきました。もつともこの御仁は98マニアですからいけません。それにしても、SEで漢字Tableが可能というのは朗報です。私はキヤノンで試してきましたが、なかなか使いやすいし、処理速度も速くなっていますね。まあ、これで後続機種が当分出ないというのなら、すぐにでも購入する気になるでしょうが、何と言っても32ビットMac IIのリリースが真近に控えているとなると、比較してからということになってしまいます。実際にはMac IIは別種の機械と思わなければならぬでしょうが。とりあえず……。

花子は便利ですが、そのなかからATOK6をひき出して一太郎に用いたら、画面表示やスピードなど、だいぶ更新されました。80桁表示も、左右のスクロールを速くすることににより解決しようとしています。ATOKファイルにも結構一太郎の実質的部分が入っているのですね。

四月四日

紀田順一郎

紀田順一郎様

お騒がせいたします。昨日は演算星組の井上さんを初め、総勢六人で青山のアスキーに行ってきましたが、意外(?)なことにも私も含む全員がアスキーに行くのが始め

\*ATOK6

一太郎Ver.3が出る前に花子が出荷されたので、このような使い方をしていた人はけっこういました。

てと言う面々でした。

土曜日に星組に遊びに行き、Mac書道のVersionをいただきてきましたが一層遊び心が磨かれて良いものになったようです。書き味が良くなった事を始め、新しく印鑑モードが付いた事、そして傑作はお茶モード（コーヒーブレイク）という機能です。Macのカレンダーと対応した季節の風景が面白く、オープンする度に少しずつ絵に変化があるのがさらに気に入りました。

今日は技術評論社、NIFと回って少し前に帰宅したところです。NIFはNIFTYServe CGフォーラムのシスコペをやれとの事なので、打ち合せに行ってきました。と言っても正式な運営が明日からという無茶なスケジュールです。シSTEM的に言ってもいろいろな問題がありますのでどうなりますか。

会社でもばちばちMacを使っていますが、本来の遊びの発想から現在に至る私ですから仕事中にMacに触ることが何だかうしろめたい感じがして落ち着きません。

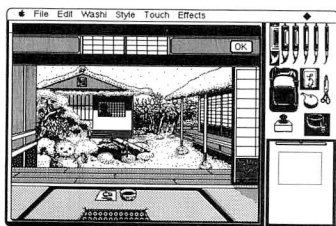
これからNIFTYServeのフォーラム書き込みをしようと思います。

四月六日

松田純一

松田純一様

今日は七月の陽気だったそうですが、いかがでしたか。Mac書道は飛躍的に使いやすくなりましたね。前のバージョンは自装本の題字にしたいと思って実験していま



\*お茶モード  
左の図参照。

した。自装本というのは愛書家の知友が刊行している豆本ですが、来月ぐらいにでき  
ますので、献呈申しあげます。

N I F I S e r v e は勧誘がありましたので考慮中です。最近日経 M I X へモニタ  
ー参加しましたが、単にアクセスするだけが目的なら、折角加入しても永續しないの  
ではないかという気がしています。これまでのダイヤモンド M D B などは、時間不足  
と目的があいまいなため、高い会費を払ってもほとんど利用せず、接続サービスの H  
I N E T (文献 / マスコミ記事データベース) も、当面の仕事とは直接無関係ですの  
で、まったく利用していない始末です。

四月十五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

しばらく御無沙汰いたしました。二十三日付の読売新聞夕刊に載った、先生と書齋  
の記事を拝見しました。

M a c の件ですが、新しい漢字 T a i k は当初六月にリリースされる予定との事で  
したが、やはり遅れるようですね。

話は変わりますが、この四月より花子の本を技術評論社から依頼されて書いていま  
した。キーブックスシリーズで百二十八ページ程の本です。ただ当初は原稿執筆に二  
ヵ月位の時間があるとかで了解したのですが、ソフト自身の販売が好成績のため、営

\*豆本の表紙案



業政策上三週間位で書いて欲しいとの話になり、非常に忙しい思いをしました。なんとか格好をつけましたが、満足なものができなくて残念に思っています。五月の下旬頃には本をお送りできると思いますので、御批判いただければ幸いです。

この所一太郎にかかりつきりですので、98LTが目についてきて仕方がありません。ラップトップといえばMacのラップトップをある会社で試作しています。勿論プラスマディスプレイを使用しますが、東芝のJ3100よりも非常に綺麗なものでした。ディスプレイが完全にフラットであることや、ちらつき等が完全にないため目が全然疲れません。なんとか一台欲しいものです。

四月二十五日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございます。花子の本、大いに期待いたしております。他社に先んじれば、必ずヒットすること請け合いです。

このところ原稿が忙しく、夜寝につくと指がしびれているのに気がつくほどです。せっかく加入した日経MIIXにもアクセスできない始末ですが、同掲示板ではMac関係の論議も活発なようで、一段落ついたらアクセスしたいと思っています。98LTは魅力を感じていたので、98シリーズとはおこがましい、まったく互換性のないものとして止めました。まあ、エプソンあたりが互換性あるものを出してくれると

\*Mac関係の論議  
日経MIIX mac会議。Macintoshのバイユーザが多く参加しており、内容の質の高さには定評がある。日経MIIXの中でも最も活動的な会議のひとつ。

思っています。MacといえはMac IIが予想以上の評判で、32ビットといえは当然でしょうが、『ASCII』五月号の記事では、相当いいグラフィックスのソフトがあるそうで、愉しみです。ただ、カラー出力を十分サポートするプリンタがないのとこととで、このへんがMacといわず、あらゆるパソコングラフィックスの隘路となることは疑いありません。

四月二十五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FOXありがとうございます。指が痺れるとのこと、ご心配ですね。私はマウスの握り過ぎ（98のマウスは出来が悪いので力が入る）のようで、右手の平の小指と薬指周辺がやはりしびれています。

最近98にI/Oデータ社の2MBボードを乗せ、一太郎をディスクキャッシュ・システムとして使い始めましたが、非常に使い勝手が良いです。単なるRAMディスクと違い常にディスクセットも書換えを行っているので電源をOFFにしても学習機能等は自動的に記録されています。この2MBのボードが秋葉原で三万八千円で買ったのには驚きました。

とにかくお体を大切にがんばってください。取り急ぎ御礼とご連絡まで。

四月二十七日

松田純一



松田純一様

FAXありがとうございます。Racterというのは哲学的のような、あるいはふざけているような面白いソフトですね。以前の発声ソフトでも気がついていたのですが、ちよつと発音が妙なところがあり、必ずしも発音辞書としては借用できませんが、いろいろないたずらは可能です。面白いのは日本語を発音させることで、たとえば「キダ」は「Kida」では「カイダ」とくるので、「Keyda」とすればなんとか「キダ」と聞こえます。このように苦労すれば、プロ野球の外人選手の日本語程度にはなります。

今日 GraphicWorks1.1 が着きました。前の版よりだいぶ使いよくなっているうえ、Mac II のカラー表示をサポートしているそうです。最近はまだ大物ソフトを手にしていないのですが、これは Plus 用では Mac II になったとき不要になるかも…ということが念頭にあるせいかもしれません。

漢字 Talk の新 12 ポイントは、これなら体裁がいいようです。早速試してみました。気が違います。これで 9 ポイントがきれいになるといいのですが、Excel 上などでは 12 でもまだセルが大きすぎ、簡単な支出表ですらハミ出してしまいます。表の内容にもよりますが、収支残高までは見られないとどうしても不便です。やむなく多少つづれる 9 ポイントにして、やつと一覽表を得ている始末です。このへんは Mac II になるまではダメでしょうね。

四月二十九日

紀田順一郎

\*Racter

MAY  
5月  
Mac II、各雑誌で評判◆松田、Mac  
用大型スクリーン購入

紀田順一郎様

『中国名著カタログ』が昨日届きました。ありがとうございました。

今日は二週間ぶりにMacを一日中使用ことができました。確かにMac IIは多方面で評判が良いようです。『日経バイト』の五月号にもMac IIの特集が組んであり、SEの記事と併せて三〇ページ以上もの特集になっていますが、『Byte』の翻訳記事のようです。

Racterはたまたま会社に来たカナダの女性に遊んでもらいましたら、非常に気に入ってしまつたようです。結構スラング的な語も多いようで、私には歯が立ちません。

本日会社のビルのオーナーが来た折にMacとレーザーライタを見せる機会がありました。その方の本業は出版業なので、デスクトップ・パブリッシングとやらをどう見るかが興味のあるところでした。結果は非常にカルチャーショックを受けたようで、これで二百万円とは安いと言つた言葉が何とも面白かったです。

私は必ずしもMac IIを念頭に考えている訳でもないので、やはり先の事が気になるのか、いくつかの新しいソフト購入をためらっています。

五月一日

松田純一

紀田順一郎様

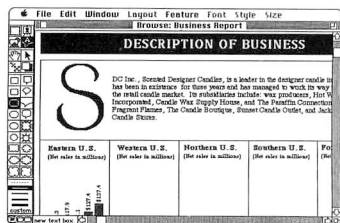
本日面白いユーティリティを入手しました。Popup というものですが、メニューバーを画面の任意の位置に表示させるものです。いちいちメニューバーまでポインタを移動するのではなく、現在のポインタ位置でコマンドキー+シフトキーを押しながらマウスをクリックするとメニューバーが縦形に表示されるというものです。当然プルダウンメニューも表示し、選択することができます。

ところで、大型スクリーンでの Big Picture を購入しました。さんざん考えていたのですが、購入先よりインターフェース・カードのみの変更で Mac II にも使うことができるという確認が取れたので決めました。実はこの一ヶ月位の間試用させてもらっていたのですが、何とも使いやすく手放すことができなくなりました。作戦負けといったところですね。GraphicWorks 1.1 も Big Picture 上だとフル画面が利用でき、グラフィックの利用には能率が全然違ってきました。安い買物ではないので大いに迷ったのですが、どうもいけません。

GraphicWorks 1.1 はとても素晴らしいです。試しに Color Example をイメージライタ II でプリントしてみました。大変美しいカラープリントができましたので感激しているところです。特にインチ当りのドットの比較で縮小や拡大ができることは例の MacScan の用途が大幅に拡大すると思います。

五月九日

松田純一



\* Graphic Works

松田純一様

FAXありがとうございます。Big Picture'なるほどすごい迫力ですね。まったく印象が違います。これは効用がはっきりしているので、少々高価でも欲しいと思います。しかもMac IIとの互換性が保証されれば何もいうことはないと思います。

小生も注文したソフトがそろそろ到着するのではないかと思います、昨今はドルの勢いがなくなりつつあるせい、日本向けの運賃を20〜21%にまで上げてきており、なんのためのディスカウント店なのかわからなくなりつつあるようです。一難去ってまた一難。Mac党は永久に悩まなければならぬようです。

五月十日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAXをありがとうございます。夕方に姫路・京都経由で帰宅したところで、それぞれ一泊ずつの出張でしたが、京都の宿を予約していなかったので大変でした。と言いますのは、十五日が葵祭りのため宿やホテルが満室の状態だったので。京都駅に二十一時頃に着き宿をとろうとしたのですから、知らないという事は強いものです。幸いにあるホテルの和室がキャンセルになったとかでOKだったのですが、随分と高い宿泊料になってしまいました。

先ほど出張前に買っていただいたチャップリンの「街の灯」をレーザーディスクで見ま

\*「街の灯」

CITY LIGHTS (一九三

二)。製作・監督 脚色 チャールズ・チャップリン。盲目の美しい花売り娘に寄せる浮浪者の崇高な愛情を、パントマイムとわずかな字幕で表現。ラストシーンの感動は圧倒的。わが国では一九三四年と一九七二年に劇場公開。現在ビデオ化。(紀)

した。この作品は機会がなく今までゆっくり鑑賞することができなかったのですが何とも素晴らしかったです。こういう良質な作品が自宅で鑑賞できると、よけいに映画館に足が向かなくなってしまう。

『花子』の本ができ上がりましたので、来週早々にも別送させていただきますと思います。あちこちに間違いはあるし冷汗ものです。特に先生にご覧いただくような事は大変に恥しいのですが、ご笑納いただければ幸いです。

五月十九日

松田純一

松田純一様

今日、ご高著『花子』をお送りいただき、深謝に耐えません。ついにご著書を、それもご立派なものを上梓され、欣快の至りとはこのことです。このうえはベストセラ―になることをお祈りしております。そのへんの本とは比較にならないほど構成、文意ともわかりやすく、小生マニュアルだけでは判然としなかった箇所が実によくわかりました。この種の図形ソフトは、根本的には好きな方が書かなければ駄目なことを痛感しております。ワープロなら誰でもいいかもしれませんが、花子のようなソフトについてここまで書ける方があまりいるとも思えません。以後、マニュアルとしても活用させていただきます。

「街の灯」は最近朝日／ポニーで出たビデオを購入しました。何度見てもいいと思



います。チャップリンはシェイクスピアに例えられることがあるようですが、この映画のラストとか、二重人格の伯爵のキャラクターなどは素晴らしいと思います。ちなみに先日古本で昭和九年（一九三四年）日本公開当時の筋書き本をみえましたら、本国封切りに四年遅れたのは、チャップリンが当時の金でなんと十万ドルを要求したからだということが出ていました。キートンやロイドに比して長く寿命を保ったのは、作品の普遍性のほかに、自分がプロデュースしたうえ、興業政策上も有利になるよう努力したからだということですね。つい最近も東宝東和と折り合いがつかずプリントを引き上げてしまったのも、その政策が不変であることを思わせます。

ちよつと忙しかったせいか、血圧が要治療域に達し、毎週一回は医者通いの身となつてしまいました。今週あたりはOAショーをと思つていたのですが、簡単にアウトになつてしまいました。Mac IIが出品されるとのことですが、お見かけになりましたら、どんな具合かご教示ください。

五月二十二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

血圧のお具合はいかがなのでしょう。お大事になさってください。

『花子』の件では過分のお言葉をいただきまして恐縮しております。なかなか好きだけでは本ができないということ、思い知らされました。何とか出版できたことは

正直嬉しいのですが、十数ヶ所もある修正箇所が三刷以降になってしまいうこともありますが、  
どうも気恥ずしくて落ち着きません。

本日Macの最新グラフィックソフトであるIllustratorを購入しました。時間がなく試してはおりませんが、素晴らしいものようです。大変面白いのは概略の説明のためにVHSのビデオテープが添付されていることです。ディスプレイはプロテクトがきつくバックアップは無理のようですが、保証カードを送るとノンプロテクトのものが送られてくるようです。

先日はLINKSで使うレイトレーションの3D講座へ勉強しに行っておりました。根が好きということもあり、またNIFTYでのCGフォーラムをやっている関係上、隔週の土曜日に遊び半分で講座に出ています。

今年の夏に開催されるSIGGRAPH'87というCG学会を見学しに行く話もあるのですが、休暇がタイミング良くとれるかはこれまた至難の技です。

五月二十四日

松田純一

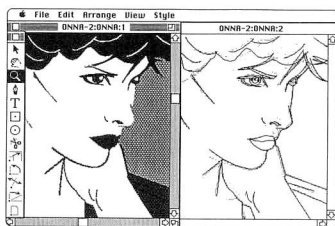
松田純一様

FAQいただきながら、ご返事が遅れて申しわけありません。

Illustratorは雑誌でだいぶ評判ですね。広告ではプリンタがPostScriptやレーザーでないためのようですが、ディーラーが扱うようになったら注文してみたいと思

\*修正箇所が第3刷以降  
理工学書は第1刷を買うなどという  
のが、この業界の暗黙のうちの鉄  
則とか。

\*Illustrator



っております。このところ Illustrator のほかはそれほど画期的なものが出ていないようですが、C.A.T.というスケジュール管理プログラムが目につきます。この手のものとしてはなかなか高価で、当方の求める水準にもあるようなのですが、漢字処理がでないという結局は使えないので躊躇しています。

余事ながら。先頃風邪の治癒が遅いので診断をうけたところ、結果としては気管枝の異常ですみました。それまでは早とちりの医者から、最悪のケースとして引導を渡されてしまったので、だいぶこたえました。これに懲りて今週は大きなところでオーバーホールしてもらおう予定ですので、あるいはご無沙汰申しあげるかもしれません。あらかじめお詫びしておきます。お忙しそうですが、くれぐれもご自重ください。

五月三十一日

紀田順一郎

\*C・A・T・  
チャン・ラボラトリーズ製作の  
エグゼクティブ用スケジュール管理  
ソフト。Contacts Activities  
Timeの頭文字を取る。



## アップルフリークの素顔

●松田純一

パソコンが趣味という人のイメージは、<ネクラ>だと相場が決まっている。しかしネクラのスポーツマンもいるだろうし、ネクラのカメラマニアだっているはずだ。何でパソコン大好き人間のイメージだけが、悪い方に拡大されたのであろうか。しかし数あるパソコンでも、アップルフリークは違うぞ！と言いたい。ただ問題は、Macの事になると夢中になりすぎる。

アップルコンベンションの役員達と一泊の温泉旅行へ行ったときの話である。集合場所の新宿小田急線の改札口からスタートし、宿に着く間はもちろんMacの話題であり、食事・宴会時ももちろんMacの話、そしてなんと温泉に入りながらもMacの噂話とくれば、これはもう尋常ではない。

そして、そして……。宴会が終わった後、部屋の係のオネエサンに「ビデオを見られる部屋があるって聞いたけど、どこ？」と聞いた。そのオネエサン、このスケベそうな客達、持参したポルノビデオでも見るのかと思ったのだろう。うさんくさい顔をしながら部屋を使わせてくれたのだが、ポルノだなんてとんでもないことで、そこではふだんなかなか見られないAppleのCFを食い入るように見る始末。

ところでアップルフリークのとおきの話。

MacExpoでApple社に行ったときのこと、知人(私のAppleの先生だ)の背広姿を初めて見た。たぶん友人・知人達で、この人の背広姿を見た人はいないだろう。なぜなら、それまで一度も着たことがないという、至極当然の理由である。

その人が、慣れないネクタイの結び方に苦心しながら「Apple社へは背広を着て行くと、以前から考えていた。これが自分のけじめだと思う」ということを、真面目にもらしていたのが印象に深かった。

JUNE  
6月

## ■ 一太郎バージョンアップ◆紀田、『本棚の本』にMacで作成した書齋の図を掲載 ■

紀田順一郎様

お体の方が心配ですが、いかがでしょうか。静養されている最中でしたらお騒がせいたし申し訳ありません。

Illustratorをひととおりテストしてみました。感想は、構成自体は非常にシンプルだということ。極論を言えばトレース機能の外にこれと言った機能はないといっても良い程です。しかしトレース機能は非常に有能なものです。各種のユーティリティ的機能追加などのバージョンアップが楽しみな製品です。未完成の物ですが、初めて作ってみているテストの図をレーザーライタで印刷した物を、この後に送らせていただきます。

Mac IIの概要がはっきりするにつれて、製品入荷状況や周辺装置の概要そして製品の安定度などを考慮したうえで、具体的な購入計画を考えたいと思うようになりました。本日、『MAC+』の編集長をされていた高木さんがいらしたのですが、実際にMac IIを操作された感想では、そのスピードに大いに魅せられたようです。

六月四日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございます。Illustratorのビデオは小生も拝見、特徴や初歩的な機能についてはよくわかりました。なかなか楽しく、しかも使いやすいソフトのようです。Mac IIに乗るPaint関係のソフト同様、今後が期待されますが、どうもプリンタが隘路のようです。

先日演算星組に立ち寄ってみました。実はあの隣りの診療所が小生の十数年まえからの主治医で、世のなかはつくづく狭いものと思います。

電脳手帖はCYBER NOTEという商品名になりそうですが、私はもっと何かあるのではないかと思案中です。ソフトの内容も、初期はリフィル作成ソフトに限局するようです。実際データベースソフトは開発が大変でしょうから、開発したら順次関連ソフトとして発売していくほうがよいのかも知れませんが。

今年はまだたく変な陽気ですが、ご自愛のほどを。

六月六日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日豆本が届きました。ありがとうございます。電脳手帖は大変楽しみにしています。CYBER NOTEという名も良い名だと思います。

一昨日に秋葉原でMac IIを初めて見ました。いくつかのソフトを動かしてみました

たが、当然とは言え、そのスピードには大きな魅力を感じました。ただ残念ながらどういうわけか *Illustrator* が動きませんでした。大きさも写真で感じていたものより私は小さく思いましたが、横幅が98より5センチ程大きいようです。

また、アスキーから出た『本棚の本』書齋SUPER整理術を見つけ、先生のお名前がありましたので買ってきました。人の本棚を覗き見するのは楽しいものですが、自分の事となると「大きな本棚が入る書齋が欲しい」の一言です。

六月十一日

松田純一

松田純一様

Mac IIの評判は、いわば時々刻々伝わってきます。小生キャノン販売あたりで試すこともできるのですが、あらためて三田の本社まで出かけるのもおつくうですので、近日演算さんあたりで見せてもらおうかと思っています。*Illustrator* が走らないというのは意外ですが、互換性はMac Plusのときぐらいあればと思っています。つまりマイクロソフト系ソフトあたりまでが標準となり、癖のあるMOREあたりはちょっとあぶないという程度かと予想しています。なお漢字TalkにはJIS第二水準が乗るでしょうから、dBASEほかのデータベースへの不便もある程度は解消されそうですが、プリンタがイメージライタやPostScriptでは、速度が遅くて躊躇されます。さりとてレーザーはまだ値ごろにならないでしょう。

\*『本棚の本』

アスキー・ムックの一冊（一九八七年六月刊）。山口昌男、夢枕獏、ラサール石井、具志堅幸司、神田泰典、坂村健ほかの書齋を紹介しながら、整理術を説く。覗き趣味とハウツーが合致した企画として好評を拍し、続編が出ている。（紀）

チャップリンの「黄金狂時代」のオリジナル版がありましたので、お送り申しあげます。これは現在テープやディスクで出ているのとは違い、元のサイレント版に音楽をつけたもので、現行版にはない場面（例、トップシーンの行列遠望など）と英語サブタイトルがついていますので、比較する愉しみがあると思います。

六月十二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

先ほど「黄金狂時代」が届きました。ありがとうございます。

ついBig Pictureが原因不明の故障となり、修理に出すことになりました。本日その間の代替品としてXEROXの縦型ページディスプレイが届きました。これはA4判一枚分しか表示できませんが、安定度は良いようです。また、専用のチルトスタンドが具合が良く便利です。

現在、技術評論社より原稿を頼まれている『花子の事例集』を作成しています。システム手帳のリフィル作成方法なども書いているのですが、本音を言うともうも気が乗らなくて困ります。98を操作していると、Macの偉大さをあらためて痛感しているこの頃です。そのような訳で、Macを横目で眺めながら花子を動かしています。

六月十四日

松田純一



松田純一様

最近では Acta を使っているのですが、これはフォントが選択できるので、デザインや体裁を整えるには MORE 以上かもしれません。ローディングも速いです。いつも思うのですが、このようなアウトライン（概念）作成のツールが彼地で開発されているのは、全体をシステマ的、論理的に把握することが習慣になっているからでしょう。これに対しシステマ手帖に例をとるまでもなく、いまだ日本ではシステマの意味さえはつきり身につけていないわけで、国内ソフトハウスがこの種ソフトの開発に不熱心なわけももうなずけるものがあります。

『本棚の本』がお目にとまったようですが、これはアスキー刊でもプロダクション取材のもので、小生のもとには発売後一週間を経過するというのに、いまだ送付してきません。早く送ってくれば謹呈申しあげたのにまことに残念です。

昨日健康上の精密検診をうけてきましたが、ちょうど鶴田浩二の亡くなった時間で、病院は大混雑していました。

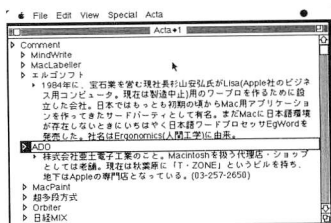
六月十七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

精密検査を受けられたとの事、ご自愛下さいませよう。

今いくつかの PDS を試用しているのですが、中でも AniRama というソフトが気



\* Acta  
DAのアウトライン・プロセッサ  
内容を考えながら文章を書いていくのに適しているほか、メモに使ったり、データベース的に使用したりと応用範囲は広い。日本語入出力も問題がなく、また図形も入るので人気。Symmetry社製。

に入りました。それもペイントファイルがBlocked Fileと言われるパターンロックが段々大きくなる画像（どうも言葉では難しいので、この後に元絵を変化させた三つのパターンを送信します）に変形する機能が、使い道があるようです。このフレームを十五フレーム自動作成し、設定するスピードでアニメ風に動かすことができます。

一日も早く体調を完全にされ、また食事でもご一緒したいと念じております。

六月十八日

松田純一

松田純一様

FAX拝見。所用の途次、新宿の01ショップでMac IIを見てきました。ちょうど建築屋さんが占領していてMacDrawを走らせながら、やれデルタのフォントがよくないの、パブリックドメインのフォントにはどんなものがあるのかなど、SEでも一向差しつえないような質問をあげている最中でしたので、触れられませんが、速いことは確かですね。本体や拡張キーボードは小生が思ったより大きいようですが、これにピックスクリーンを付ければ鬼に金棒でしょう。目下のところは絶対的な品薄で、注文しても一ヶ月ぐらいは待たされることでした。なお漢字Talkは第二水準をバックアップして今秋発売とのことですが、あまり期待していません。小生も今年中には入手したいと思っではいるのですが、やはり百万を超すと……。

六月十九日

紀田順一郎

\*PDS  
Public Domain Softwareの略。直訳すれば公  
共財産ソフトというような意味に  
なる。Macの世界にはPDSソ  
フトが豊富に揃っていることも有  
名(松)

紀田順一郎様

先日長い間使っていたNECのNM9300Sというプリンタがダウンしました。修理をとも思ったのですが、いろいろな面で不都合もありましたのでNM9950という132桁の物にカットシート・フィーダーを付けて買いましたが、プリンタもこうして見るとなかなか進歩しているのが分かりました。大きく重いのが難点なのですが印字音は確かに静かになっていて、カットシート・フィーダーなどはエプソンの簡易的なものとは違い誤動作などはありません。

Mac IIに関する情報もほとんど出そろった感もありますので、夏を過ぎた頃には入手したいと考えています。しかし冷静に考えてみますと、当面Mac IIになったからと言ってIIでなければならぬ使い方をする訳ではないし、大変な贅沢に違いありません。熟考しない訳ではないのですが、なんとなく風潮に流されると言うか自分に歯止めがなく、ポリシーが無いようで自己嫌悪に陥りそうです。

花子、花子でMacをじっくり使うことができずに些か欲求不満きみな昨今です。また花子も、使い込む程に「粗」が目だつよう得意欲がそがれる思いです。Macを使ったことがないユーザーには分からないことなのでしょうが。

六月二十二日

松田純一



松田純一様

FAXありがとうございます。NECのプリンタも、長足とまではいえませんが、かなり進歩していると思います。ドテツとスタイルがよくないのは閉口ですが、音も指摘のように小さくなりましたし……。小生も買い換えをしなければと思っっています。プリンタといえは、Macの方のレーザーは少しも安くなる気配がありませんね。

健康診断、最終的にたいした症状ではないことがはつきりし、これで過去一カ月間の暗雲というか、愁眉を開きました。もし万一のことでもあれば、Mac IIどころではなく、遺書を書かなければならないところでした。何となくモタついてご心配をかけましたが、そのようなことですので、ご放念ください。仕事の処理でも済んだらお目にかかりたいと思っています。

六月二十三日

紀田順一郎

紀田順一郎様

ご連絡ありがとうございます。健康診断の結果を拝見し、安堵いたしました。

一太郎のバージョンアップの案内がやっと届きました。今回のものは花子と同じように増設RAMがあるとディスクキャッシュが働く、外部記憶に通常の辞書とは別に大容量の辞書が持てる、文節の区切りも学習する、スプール印刷機能などと言った多彩なバージョンアップです。ディスクキャッシュは有難いのですが、スピードの向上

面で何かハードに頼りすぎのような気がします。

先日、演算さんにMac IIが入ったとのメールをいただきましたが、残念ながら時間がなく来週にでもと考えています。連絡によりますと、ハードディスク仕様に4MBのRAMを追加し5MBに増設したもののようです。

七月二十七日から一週間程ですが、カリフォルニア州アナハイムで開催されるコンピュータグラフィックス展「SIGGRAPH '87」に行っていくことになりました。英語は駄目だし出不精のためかアメリカは初めてですが、気楽に遊びとして見てみようと思います。

今日などは随分と暑くなるようですから、御自愛くださいますよう。

六月二十九日

松田純一

JULY 7月  
Mac IIカラーモニター、入荷遅れ気味◆  
松田「SIGGRAPH '87」に参加

松田純一様

『MAC LIFE』掲載の玉稿拝見しました。大いに参考になりました。これだけグラフィックスをやっておられる方は他に一人もいませんね。Mac IIのチューンナ

\*SIGGRAPH '87  
詳しくはMACCOLUMN 8  
「SIGGRAPH '87」見学  
記とアメリカ参照のこと。

アップモデルが出ていますが、「金くい虫」などと本音が出ていますね。小生いちおうハードディスクモデル、内蔵ディスクドライブ、拡張キーボード、カラーディスプレイ、Mac IIビデオカード、それに拡張メモリキットなどを予定しているのですが、メモリは別としても百四十万円ぐらいになってしまいうので一苦労です。数年前、IBM 5550を購入したときの金額と似ているので、苦い思いですがこみあげてきました。販売初期ほどの程度のOFFになるのか、気になるところです。いつそアメリカからぶら下げて帰りたいところですが、保証がなくてはどうにもならず、アップルファンの受難がまた繰り返されそうです。

アメリカ行きの件、うらやましき限りです。

七月八日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAXありがとうございます。Mac IIの件、カラーディスプレイが遅れそうだとの話が入っています。例のアメリカ報復措置の問題で、20インチカラーテレビしか解除になっていないようです。そのためソニーのモニタが輸出できないとの話ですが、本当なら困ったことです。確かに金食い虫には違いなく、困ってしまいます。次のロットが八月末位の入荷になるようなニュースもありますが、例のページディスプレイのII用カードの入荷ともタイミングを合わせたいと考えていますので、どうなります

か。Mac II用のPDSなども少しずつ集まっていますが、中にはもうフルカラーのスライドショー的な素晴らしいものまであります。しかしこれを走らすのには到底1MBでは足りず、最低5MBは必要なようです。また現在ソフトやハードとの対応をテスト中だそうです。MacScanは問題なく走ることが分かったので一安心です。

七月九日

松田純一

松田純一様

FAX拝見。それにしてもカラーモニタの入手が難しいとは、とんだ飛ばっちりですね。

電脳手帖ですが、その後演算さんではある程度のプログラムはできているような様子ですが、予定のように七月発売というわけにはとてもいかないようで、他社が98用に開発しているもののほうが早く実現しかねない事態となりました。とくに小生の案である教養・エンタテインメント的リフィルのプランは、アスキーやソフトバンクあたりでも狙っているようです。

先般ちょっと触れましたC.A.T.がようやくやく入りました。スケジュール管理プログラムとしては従来になく本格的なもので、手帖サイズでプリントアウトできる点と、漢字Tableで立ち上げるとプログラム中の日付だけは日本語表示になるなど、かなり愛嬌があります。アメリカ行きの日が迫ってなにかと気忙しいかと思いますが、ちょ

つとお試しのほどを。

七月十一日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAXありがとうございます。Mac IIの大きな寸法には困りますが、聞いた話ですと、取扱説明書にはつきりと縦に置いてはいけない旨の注意が記載されているそうです。

この二、三日の間に幾つかの入手がありました。まずPageMakerV2.0です。まだ使っていないので細かいところは分かりませんが、プロテクトが施されていないことが嬉しいです。内容的にも大分バグが取れて、より使いやすくなったようです。次にEasy3Dの本格バージョンであるPro3Dを入手しました。これは基本的にはEasy3Dと同様なものですが、描写速度が大幅に改善されています。

ところで先週の金曜日に演算星組に寄ってきました。Mac IIが一番良い場所に置かれてプログラム開発に使われていました。

電脳手帳の発売日などについては遅れぎみのようですが、手帳ブームも頂点を極めているような昨今ですから、タイミングよく一日も早く良いものが出ることを祈りたいと思います。

七月十三日

松田純一

松田純一様

Mac IIですが、A D Oでは第一回のロットを売り切り、近日第二回が輸入予定だそうです。R G Bも何の苦もなく入荷しているとのこと。また、現在2メガのメモリは十九万もしているそうですが、ちょっと待てばどんどん下がるということ。小生はいちおう九月ごろに購入したいと思っていますが……。

『A +』という雑誌を購読していたところ、すっかりI I G Sの専門誌になってしまい、ソフトの広告を見てもあまり質的な展開がないようです。その意味ではIIの時代は終わったというべきでしょうか。そういうえば、Macも四、五年であまり展開が見られなくなり、いまやMac IIに継承されつつあるということもいえると思います。だいたいこのへんがパソコンのサイクルではないでしょうか。

とりあえず……。

七月十五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

今日も大変暑い一日でしたが、まったくまいってしまいます。

さてMacGraphics 十二枚組の内容ですが、たぶん主にThunderScanで取り込んだ画像だと思えますが、日本人の感覚だと非常に雑な感じがします。取り込み時のゴミなどの修正があまり施されていないことや、大きなデータが結構あることなどで、実

用になりますかどうか。

Mac IIの購入は、私も早くて八月末以降になるかと思っています。ソフトの互換性も思ったより何とかなりそうな気配です。一番勘違いすることは、コントロールパネルのモニタ設定で256にしたまま従来のソフトを走らせると、動かないそうです。新しいソフトは2値か256かを自動的に判断するルーチンが付くのでしょうか、従来のソフトでは、手動で切り替えることを忘れると「あれっ」ということになりかねません。またメモリについては1MBではほとんど役に立たず、カラーや新しい漢字Taskを走らせるには5MBは必要だと痛感しています。それはそうと置き場所に一苦労しないとならず、この件も頭の痛いことです。

七月十六日

松田純一

松田純一様

MacGraphicsを見ましたが、確かに仕上げを手抜きした箇所があり、なるほどアメリカ人らしいズ太い神経のものともいえませんが、一種の絵事典のようなところもあって役立ちそうです。演算さんの電腦手帖も、段階的方式でとりあえず「器の巻」の目途がついたとのこと。また企画書を見るとマニュアルは栄兄と共同執筆ということ、たいへん嬉しく思っているところです。

『日経パソコン』によればご高著がベストセラーに入っているようですね。数ある

パソコン関係書のなかで、三位以内というのはたいへんなことです。わが事のように嬉しく思っております。

暑くなりましたがお身体大切に。小生このところ、切り輻輳で外出できません。

七月二十二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

今日は最高の暑さだったようで、関東の広い範囲で電気の供給が間に合わず、小規模な停電が数回ありました。ちょうど技術評論社へ伺っていた時でしたが、ソフト開発室などはパニック状態だったとかの話が出ておりました。

電脳手帳のマニユアルの件は役不足で赤面ものです。しかし先生とご一緒させていただくことは大変嬉しく驚喜しております。ソフト面でもお考えのとおりのもので、き上がると良いのですが。

Mac IIのカラーモニタの件ですが、ADOの店長に確認したところ（又聞きですが）やはり入荷は早くて九月くらいだとの返事だそうです。トムソン製のカラーモニタのテスト結果を聞きましたが、問題なく使えるようです。しかしシャープさに欠けていたり、やはり純正品を待つのが得策のようです。またカラーモニタが遅れている理由は貿易問題ではなく、ソニー自身がApple社との契約仕様製品につき、歩留りが悪いのが原因という噂もあるようです。



×切で大変な御様子ですがご自愛くださいますよう。

七月二十三日

松田純一

松田純一様

昨日豪雨のなかを演算さんに出かけ、Mac IIを見てきました。カラーモニタはソニーのものならフルコンパチ品が容易に入手でき、対応のビデオカードは秋葉から二、三個のROMを買ってきて指せばよいとのことでした。

手帖はまずバインダにリフィルメーカーその他、簡単なソフトを付けたものからスタートし、段階的に周辺ソフトを増加させていくとのこと、小生もエッセイの角度が決めにくいのですが、一応了承して帰ってきました。

しかし、ロットが三百というのは、現状ではやむを得ないとはいえ、考えさせられております。考えてみると、ユーザーにとってバインダそのものは他社製品でもよく問題はソフトだけですから、出まわってコピーでもされはじめたら致命傷。周辺ソフトもよほど実用的か異色のものでないと成功しないかも知れません。それも三百以下となると……。

暑くて、×切のプレッシャーは大きく、弱っております。今日あたり少し下がり気味ですが、どうかご自愛ください。

七月二十六日

紀田順一郎

# 見学記とアメリカ

●松田純一

二つめは、自分個人が初めて「外人」だと感じる事ができたことである。大きな会場や、時間を抜って遊びに行ったディズニーランドの中になると、日本では到底感じる事ができない解放感でいっぱいだった。

それから、である……。私には子供がいないが、友人らには偉そうにこう忠告し続けている。「子供には、借金をしてでも多感な頃に外国、特にアメリカを肌で感じさせてやるべきだ」と。

もっと早く、若い時にアメリカを体験するべきだったという自分自身に対する反省を込めて、そう言い続けている。



## SIGGRAPH '87

例年アメリカで開催される SIGGRAPH は、3 日間にわたる講義と 3 日間で合計30以上にもなる講演・研究発表、そして最新の CG 機器の展示・デモ、さらにフィルムショー、アートショーから構成される世界最大の CG 分野のイベントである。

1987年の7月27日から31日までの5日間、ロサンゼルス近郊のアナハイムで開催される催しに思い切って出かけたが、アメリカは初めてであり、会話に全く自信がなしという大変な旅行であった。しかし最大の喜びは、Apple Computer 社がかなり大きなブースをとっていたこと、そして開催地のアナハイムがあのでいずニーランドに隣接していたことである。

Apple 社はその年にリリースした Macintosh II を大々的に展示していたが、カラーソフトが十分な対応を示していないのが少々残念だった。しかし PixelPaint のベータバージョンや、ModernArtist などを見ることができ、あらためて Macintosh II の魅力にまいてしまった。

会場のあちこちには CG の専用機がならんでいて、Macintosh II では到底不可能な、3D カラーリアルアニメーションなどを展示していたが、ほとんど私の目は Macintosh から離れなかった。きっとこうした CG 専用機の動向は、必ずや Macintosh II の領域分野になるであろうことを予測して悦に入っていたのだが、現時点でもなかなかのカラー環境になってきたことは嬉しいことである。

この初めてのアメリカ旅行では、二つのことに目を開かれた。

ひとつはアメリカ人の、お祭りに対する底抜けな明るさである。私たちなら晴海のビジネスショーなどで体験する、何とも言えない疲労感など全くないというようなお祭り騒ぎであり、フィルムショーの始まる直前などはまさにサッカーの決勝戦でも見るような熱狂ぶりだった。このパワーにはかなわないと思いつつも何か羨ましいものを感じた。

AUGUST  
8月Mac用フルカラーソフト続々発表◆松  
田、ついにMac II入手

■ 紀田順一郎様 ■

しばらく御無沙汰しましたが、昨日無事に帰国しました。

SIGGRAPH'87は、Exhibition、File and Video ShowそしてArt Showを見ってきました。Exhibitionは展示のほとんどがグラフィック専用機で、アマチュアの出る幕は全くありませんでした。しかし今年にはカラーハードコピー機の展示が多かったこと、またパソコンでも、これからの動向を示唆すると思われるいくつか興味がある事柄もありました。その展示ですが、嬉しいことにApple社とCommodore社がかなりのブースをとっていました。AppleのブースではDataFrameというハードディスクで有名なSuperMac Technology社の19インチカラーディスプレイを多数使ったMac IIの各種アプリケーションのデモを行っていました。Mac IIのカラーは想像どおり大変綺麗で説得力のあるものでした。デモの内容自体は目新しいものはありませんでしたが、カラーで動いているCricketDrawやVideoWorksII、MacMovieそして完成品ではありませんがColor MacPaintなどもありました。Mac II用のカラーペイントソフトとしては、別のブースで人気を集めていたComputer

Friends Inc. の ModernArtist (一四九ドル) というソフトが大変素晴らしいものでした。また同じ会社で、Mac Plus をカラー化するハード&ソフトの SUPER-CHROMA(二〇〇〇ドル)の展示も大変綺麗でした。ビデオとしては、『SIGGRAPH VIDEO REVIEW:85』を一卷購入してきました。また86年版は売り切れで、予約をしておいたのですが送ってくるかどうか心配です。

初めてのアメリカという事で、勝手も分からず言葉も不自由、また観光する時間もなかったのでパソコンショップなどは全く行くことができず、満足な結果を得られたいとは思いませんが、また機会があったら行ってみる気にはなっています。時差ボケとは無縁のつもりでいたのですが、今日はさすがに少し疲れが出ています。

昨日までに花子と一太郎のニューバージョンが届いていました。まだ開封もしておりませんが、内容を確認し連絡いたします。

八月一日

松田純一

松田純一様

FAXをありがとうございました。アメリカはさぞ楽しかったのではないかと拝察します。ModernArtistなどフルカラーのソフトは、やはり非常に楽しみです。モノクロのときとちがって修正などに手間がかかるでしょうが、面白そうですね。この種のものは、やはりプリンタないしはリボンの改良が必要になってくると思いますが、パソ

コン界はあまり美的感覚がないので困ります。

Mac II 導入については、漢字TalkとExcelのバージョンアップを目途にしよ  
うかと思っています。Illustratorの対応版が早くできるといいですね。その後『MA  
C WORLD』などのディーラー広告を注意しているのですが、扱わないらしいので、  
IIを購入したら製造元に注文してみようと思っています。

八月四日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日は高田馬場にあるサピエンスという会社へ伺ってきました。98用のグラフィック  
関係に関するのですが、安価なフレームバッファと一六七七万色仕様のペイント  
ソフトを販売し始めた会社です。そのペイントソフトというのが、大変多機能でかつ  
素晴らしく綺麗でした。また、エプソンのイメージスキャナGT-3000でのカラー  
画像の読み込みも美しく、花子やZ's STAFFなどでの使用では使い物にならないと  
考えていたスキャナが、大変頼もしく思えました。さらにシャープの十九万八千円程  
のビデオプリンタがセントロにつながつており、印刷結果が小さいのはともかく想像  
以上に良いハードコピーが撮れていました。私としてはLINKSの3Dと合成して  
使ってみたいと考えていますが、一日も早くMac IIのカラーも使いたく、待ち遠し  
い思いをしています。しかし純正のカラーモニタの入荷状況は相変わらず思わしくな

いようですね。

先生はExcelと漢字Talkのバージョンアップを目安にMac IIをお考えのことですが、私はBig PictureのII用インターフェースの入荷待ちといったところで

八月六日

松田純一

松田純一様

テープをありがとうございました。コンピュータ・グラフィックスは個性的なものが多く、なかなか楽しめました。余談ですが、PDIのアソートメントのなかに「アメリカン・フィルム・インスティテュート」のマークが出てきますが、これはグレゴリー・ペックの出資で創られた資料センターで、映画始まって以来の全作品のクレジットや粗筋、分類などを各年度に分けて刊行していました。小生の所持している20年代の巻だけでも、二〇〇頁近い大部なものです。最近活動の噂を聞かず残念に思っていたら画面に出てきましたので、嬉しくなりました。

九月のMacExpoでMac II用のソフトがある程度出るそうですね。年末から来年にならないと、数は出揃わないでしょう。キャノンでは当分SEを主力に、CPUだけ取替えて販売するということですので、IIは台数が増えず、したがって32ビットを十分生かしきれないソフト(Excel、漢字Talk等)を手にもすることもあるわけで、

\*アメリカン・フィルム・インスティテュート  
ジョージ・ステーブンスを会長  
に一九六七年創立されたフィルム・ライブラリ。現在コッポラやマクレーンが評議員をつとめ、フィルムの収集保存および資料文献を公刊中。(紀)

いろいろ物足りない面も出てくるかもしれませんが。なんでも01ではIIを学校研究室と建設関係主体に売るそうですが、そういう人たちにはModernArtistなどは無用でしょうね。

ごく最近、新旧の比較上映が行われたラング監督の「メトロポリス」の旧版のほうのビデオをお送り申しあげますので、暑気払いにでもご覧いただければと思います。

八月九日

紀田順一郎

紀田順一郎様

「メトロポリス」のビデオありがとうございます。この映画は気になっていたものではないですが、見る機会が今までなかったので大変楽しみでした。

実は先日の土曜日に、MacintoshIIがわが家に到着いたしました。40MBのハードディスクタイプにRAM増設をして5MBにしたものです。例のBig Picture 共々テストした後、本体にはカラーモニタのみを接続していますが、カラーモニタは先日お知らせしましたとおり純正品でないために、98のアナログディスプレイと共用できるようなので、現在コネクタの信号などを調べています。これが間違いなく共用できると、切り替えボックスなどを使い隣に置いてある98の上にカラーモニタを設置し、Mac IIにはBigPictureを乗せて使おうかと考えているのですが、それにしてもSCSIを使用したハードディスクのアクセスが速いのが軽快です。ですがサン

\*「メトロポリス」  
Metropolis (一九二五)、フリッツ・ラング演出のSF映画。未来都市における労使紛争に破滅テーマ、ロボット・テーマが絡む。「驚異戦慄 文明の極致、七百万マークの費用を投じて漸く完成したる古今の大名画(当時のパンフレット)。(紀)



ブルとして入手したフルカラー画像ファイルの容量が300KB少しでしたから、40MBのハードディスクも使い方によってはすくすくなくなるかも知れません。カラー画像は申すまでもなく綺麗ですが、何よりもモノクロ表示のメニューバーやスクロールバーなどに囲まれた部分がフルカラー表示になっていて、従来どおりにウィンドウの大きさを変えたり位置を変えたりが簡単にできるのが異様な感じですよ。

ただご承知のように、Mac IIを本当にサポートしたソフトが無いために、まだ実力を出してもらえないのが残念です。その他モニタを複数台つないでいると、ポインタはもとよりウィンドウさえも他のモニタへドラッキングで移動ができたり、またサンプリングした音声に従来のピツというエラー確認などの音の代わりに使えることなど、ハードの余裕が感じられます。そのサンプリング音の中に「2001年宇宙の旅」のHALの声(?)が入っています。「I'm Sorry, Dave」と例の声で注意を促すというわけです。これでしばらく寝不足が続くことになりそうです。

八月十八日

松田純一

松田純一様

FA X拝見。花子のLINEを使っていますが、かなり改善されていますね。デスクトップ・パブリッシングに関心が出ているときに、なかなかタイミングのよい内容だと思います。Mac系のもののように、使い易いという域にまではどうかと思いますが、

\*HAL

ご存じスタンリー・キューブリック監督の「2001年宇宙の旅」に登場するコンピュータの名前。IBMというアルファベットを一文字ずつ前の文字に取り替えるとHALになる。IBMより上というジョークか。(松)

また御高著『花子』がベストセラーズの一位に入り、嬉しい限りです。近刊の『98ファン』という創刊誌の書評欄で、ほんの数行ですが触れさせていただきました。このままロングになればいいですね。

Mac IIを早くも入手なさったそうで、本当に羨ましいことです。小生のほうはExcelと漢字Talkが使えないと非常に困るので様子見の状態ですが、11月22、24日中に秋葉へ行き、具体的な話に着手しようかと思っています。

八月二十日

紀田順一郎

紀田順一郎様

花子の件ご批評いただいた由、大変ありがとうございます。万に一つも考えていなかったことですが、花子そのものの人気のためでしょう、よい出足に恵まれて安心しております。しかし花子自身の販売数も一太郎Ver3.0に抜かれたとかで、今後はソフトの性格上、あまり芳しくはないのではないかと考えています。

本日入ったニュースですが、新漢字TalkやEGTalkそしてEGBookなど一連の漢字関連ソフトは、無期限の発売延期に決まったようです。原因はApple社が発表したHyperCardのせいでシステムを変更しているために、一からの検討を迫られる結果となったようです。先生はMac IIのご購入を、漢字TalkとExcelの使用にポイントを置かれていたとのことですが、新漢字Talkの見直しは残念ながら

\*EGBook  
EgWorldで作成した文書を段組したり、図形を挿入したりするためのレイアウトソフトウェア。(エルゴソフト)

\*EGTalk

エルゴソフト製のパソコン通信用ソフト。基本的な機能は必要十分に備えているが、PDSの通信ソフトとして人気のNinjaTerm、ASLTalkという強力なライバルに少々おされさみ。

暗いようです。

しかし昨日友人からの情報で、Mac II 上での漢字 Taik II の使用が十分確認できました。今までの漢字 Taik をそのまま Mac II 上で使おうとして、ハードディスクが作動しなくなってしまうユーザーが多くいるそうですが、パッチをあてた漢字 Taik を入手しましたので安心して使うことができます。昨日は一日 SuperPaint 上で漢字 Taik を使いましたが、問題は発生しませんでした。なお Excel についてはまだ確認しておりませんが、近々ご報告できると思います。

Mac II でのカラーを確認できるアプリケーションは、今のところ Graphic Worksl.1、CricketDraw、Mac3D ぐらいですが、その他のアプリケーションもゲームを除いて主要なものは動くようです。動かないソフトがありましたら、追ってご報告させていただきます。

八月二十三日

松田純一

松田純一様

FAX 拝見しました。漢字 Taik と Excel の件、情報をありがとうございます。無期限延期とは意外です。これで Mac II の普及に影響がなければいいがと思いました。先日秋葉で聞いたところでは、普通に動かすならほとんど大丈夫ということ、実のところあまり気にしていません。それよりも価格が問題で、正直いつて予算

をオーバーしますので、ほんの暫くお預けということになりました。なるべく早く手当する方針には変わりありませんが。

朝晩は楽になりましたが、雨天がちの天候です。ご自愛のほどを。

八月二十五日

紀田順一郎

紀田順一郎様

Mac IIは基本的に今までの使用感と違わないという感覚でしたのですが、モニタ2台を接続したりと新しい事も多く、戸惑っています。内蔵ディスクドライブも二台つきましたし、カラーモニタにチルトスタンドも付き、ハード的な環境は揃ったのですがソフトがまだ届きません。しかしVideoWorks IIが来週早々に到着する予定ですし、例のModernArtistも発注しましたので、追々と揃ってくると思います。またMacExpoから帰った者から新しいカラーライド・ショー的なデータも入手できることになっており、新製品のソフト量としてはまずまずの出だしかも知れません。

この二、三日Illustratorで絵を一枚描かなければならなくなり、がんばっています。少し本格的になると大変な作業量になり閉口しています。仕上がりが綺麗なのは嬉しいのですが、もう少しユーザーインターフェイスに優れた仕上りのソフトになって欲しいと感じています。

八月二十九日

松田純一

SEPTEMBER

9月

システム手帳セットSTRIKER発売  
◆噂のHyperCardを入手

松田純一様

FAX拝見。栄兄のご高著『花子』の評が『日経パソコン』に出て好評でしたが、素晴らしいことです。次はぜひMac IIのペイント系ソフトをお願いしたいものです。ただし、ユーザーが少ないので、ベストセラーにはならないでしょうけれど。

小生過日の検査で肝臓が少々悪いということ、再検査のため一ヵ月アルコール分禁止になってしまいました。ビールもいけないというのですからコタエます。じつは涼しくなったら一杯お誘いしようかと思っていたのですが、どうも氣勢があがらず、申しわけなく思っております。残暑いまだきびしき折から、ご自愛ください。

九月二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

お身体の具合が本調子ではないご様子ですが、くれぐれもお大事にしてくださいませよう。

さて、Mac II関係のソフトも少しずつではありますが入手しています。まずVide-



松田純一様

FAXやお写真をありがとうございました。

98もいよいよ32ビット時代とかで、Mac II並の値段とは面白いことです。このほうは、従来の一太郎やLotus 1-2-3を多少速くするという程度の目的では購入する気にはなれません。そこが非創造系のマシンたる所以でしょうか。いずれは考えなくてはならないにせよ、目下は互換機でラップトップを期待しているところです。これにもしメモリ増設とワイヤドット型プリンタが接続可能とすれば、一太郎の修正版ぐらいには乗るでしょうから。スペース節約のため購入したいところです。

IBM-JXシリーズは撤退ということですが、IBM 5500のメンバーズへの案内が最近来ないことに気がつきました。やはり個人ユーザはコスト関係で切り捨てという予想が当たりました。いろいろの情報をありがとうございました。

九月九日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAXありがとうございます。本日近所の本屋で『98FAN』を見つけ、先生の書評を拝見致しました。過分なお言葉をいただき恐縮しております。

花子と言えばやつと続編の『花子の事例集』ができあがりました。何分いろいろとミスも多く恥ずかしいものですが、宅急便にて送らせていただきましたのでご笑納く

\*Canvas  
オブジェクトの上にビットマップで描き、その集合として絵を作る  
というかたちで両者を融合したグラフィックソフト。

ださい。これでしばらくはまた花子を忘れてMacの世界に没頭できる……はずなのですが。

さて、先日HyperCardの四枚組ディスクを入手しました。もうハードディスクがないと実際には使えない代物です。しかし少し使った経験から判断するに、噂どおりの凄いやソフトのようです。

IBMのJXは撤退とのことですが、今日の日経産業新聞にはIBM5550ファミリーのラップトップ(5535)が発表になっていました。一太郎が走るとのことです。もちろんこれ専用のソフトでしょうが、面白いことです。20MBのハードディスクと3・5インチのディスク1台、内蔵RAMは1MBタイプで五十九万五千円となっているそうです。またディスプレイはペーパーホワイトの画面で乱反射を防いであり、バックライトを装備してあります。エプソンの動向と関連して、ラップトップ機も面白くなってきたようです。

九月九日

松田純一

松田純一様

ご著書拝受いたしました。たてつづけにご労作、本当に敬服のいたりです。今回は応用編のためか、いよいよ奥行きが出て、実物のソフト以上の愉しさをお出しになっていられるように思いました。結局、ソフトはそれを使う人の創造性の問題でしよ



\*HyperCard  
ハイパーテキストという概念を実現したもので、Macの画面が一枚のカードとなり、そのカードにつけられたボタンを押すことによつて様々な形態の情報を呼び出すことができるソフトウェア。作者であるBill Atkinsonの「Macに標準で付属するの  
でなければ、自分はAppleを辞める」のひとことで、標準準備が実現したといういわくつき。



うか。かつてのソフトの未発達のところはともかく、ある程度のもが出た段階では、ユーザーの甲斐性がポイントになってくると思います。

システム手帳については、八月末に演算さんにちよつと立ち寄った限りでは、キヤノンとタイアップ版（一種のOEM）とそうでないものとの二種類を九月末に発売予定とのことでした。その後、HotterB社が98用に同じようなものを開発中との電話があり、いちおう直輸入したEtoaxを添付した九万円台のもの、添付しないものとの二種類を十月末に出すとのこと。日本ソフトバンクとアスキーもかなり進行中のようです。またTIME/systemsも知的生産の技術研究会の手を借りることでよってパソコンとのドッキングを目指しつつあり、これは来年まず本になって出るようです。こうなってくると、演算さんがどこまで先発のメリットを生かせるか、いささか心許なくなってきましたが、結局はある程度売れて、多少の遊び心が発揮できる余裕が得られるか否かだと思います。Macという機種で特色を出すにはそれしかないと思われるからです。

残暑がきびしいようですが、どうぞご自愛ください。

九月十一日

紀田順一郎

紀田順一郎様

大分過ぎやすい季節になりました。今日会社の近所で日本ソフトバンク刊の『ワ

\*Time/System  
B5判のバイナリー式のノートシステム。その形態が規格化されているだけでなく、使用法が緻密に考えられており、しっかりしたマニュアルや講習会といったソフトウエアが充実している点が、高価であるにもかかわらず人気のある秘密。

「ワープロ考現学」を見つけ、拝読しております。古瀬幸広氏との対談は、興味のある話題でもあり面白く読ませていただいております。

本日も秋葉原のラジオ会馆を一回りしてきましたのですが最近パソコン雑誌に広告を出している98用の「STRIKER」というシステム手帳にスケジュール管理、リフィル作成等を目的とする商品がありましたので、試しに買ってきました。ソフト十本草6穴システムノートのセットで定価九千八百円というのですから実際は分かりませんが、どのような物かこれから見てみたいと思います。

九月二十二日

松田純一

松田純一様

FAX拝受。手帖、演算さんは相当遅れているようです。FAXで送っていた広告のようなものでも、もし額面通りならば、現在のシステム手帳ユーザーには目を見はるようなレベルなので、宣伝さえよければ話題にもなり先発利益ぐらいはあるのではないのでしょうか。ただしソフトには使い勝手というものがありませんので、そのへんはいかがかと思いますが、廉価の点は考慮の跡が見られますね。小生は従来のシステム手帳は高価なあまり、より広い潜在ユーザーを逃しているような気がしています。廉ければよいというものでもないでしょうが。

九月二十三日

紀田順一郎



紀田順一郎様

ただいまFAXを拝見しました。さてSTRIKERという手帳の事ですが、例によつて(？)、読みにくく大分ふざけた取説ですが内容はスケジュール管理(年間・月間・週間・休日)、家計管理、住所管理に機能を限定してある分、わりきって使えば使えそうです。しかし画面の設計などは遊びすぎた所もあり、どうも感心できませんが付属している6穴バインダーも確かに本革でもあり、最少のリフィルも付属していて手帳という世界を中心に考える人にはお買徳品なのかも知れません。ただ印刷のための専用紙などは一切付属していませんでした。

いまVideoWorks IIで、写真から作った実写アニメーションを考えています。しかし、解像度の問題も含み細かい映像には現在のところ不向きようです。また実際にMacの13インチの画面では限界も多いようです。VideoWorks IIはBig Pictureのフル画面の大きさもサポートしていますので、試しにこの大きな画面で作ってみましたが、他のMacとの互換性がないのも難点です。先生に見ていただけのような物ができると良いのですが、いつになりますやら。

九月二十三日

松田純一

松田純一様

FAX拝見しました。STRIKERは、若いビジネスマンなどがあくまでプライ

ペートに年間計画、月刊計画などに使用するには、規模的にもちよよいいかもしれません。住所録も、若い人ならこの程度で間にあうでしょう。改善を要すると思つたのは、ソーティングにより主題別のプリントアウトができないこと、そのプリントが遅いことなどです。これはおよそシステム手帳が何であるかの把握がされていないせいかと思います。それにしても、このようなソフトを自営業の税務申告に応用し、元帳に「お金の少のうなつたんばい」などと書きこんでおいたら、税務署あたりがどんな顔をするか見ものですね。

ちなみにこのソフトは、システム手帳のパソコン化という点からはまだ第一段階にあり、雰囲気も非常に素人っぽく、ローカル色というかマイナー色というか、その辺が受け入れられるか否かが鍵といえるのではないのでしょうか。いささか語弊を覚悟でいえば、拙速でも早いだけのインパクトはありますので、演算さんの方にも早く出してもらわないと企画の鮮度が薄れるような気がします。

九月二十七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

先週の金曜日、久しぶりに演算星組に遊びに行きました。電腦手帳は十月二十日位になってしまふようですね。パッケージの試作品も見せていただきましたが、工作舎がデザインに加わつたようで、かなり凝つた素晴らしいものになりそうです。一日で

\*工作舎

雑誌のコーティングをほどこした新刊目録を本にはさんでしまふなどと、そのデザインへのこだわりでは出色の出版社。その昔「遊」という雑誌では杉浦康平が活躍した。

も早く発売にこぎつけてほしいものです。私自身もテストという意味でいくつかのデータを入力して印刷したりしていますが、元々98あたりのユーザーでは、この程度で案外満足してしまうのではないかと考えました。ただこれでは、ご指摘のとおり検索機能が無いデータは利用のしがいがないと思いますので、電腦手帳の方は別途でも良いですから理想的なものに近づけてほしいと、勝手な事を考えています。

先日 MacPaint2.0 と ColorPress.1 を入手しました。MacPaint は Apple 社の物ではないようですが、九つまでファイルが開けること、作図画面がスクロールすること、ツールやペイントパターンのウィンドウが自由な場所へ移動できることなど、FullPaint と純正 MacPaint を合成したようなソフトです。Mac II でも問題なく動きますし画面も II や大型画面にも対応します。

今日は午後一時から秋葉原の九十九電機で花子の講習会があり、僭越にも講師を勤めてきました。三時間ほどですが、喋りっぱなしで少々バテて帰宅したところです。

九月二十七日

松田純一

得まい。広い意味でのトレンドということで見落せないのは、あと数年間で汎用コンピュータの位置づけが大きく変わるかもしれない、それがMacの後継機にとって最大の敵となるかもしれないということだろう。

よくいわれるように、コンピュータのこれ以上の普及は、コンピュータを意識させているうちは無理である。現実には日本語ワープロは、一種の単能機としてある程度普及ペースに乗り、それに通信機能やデータベース的要素を付加することで、実質的にパソコン化した。最近ではパソコンに電話機能を付加したNaviや、ハンディコピーに通信機能を付加したCUVAXなど、そうした単能機の一例として見ることができる。世界的にパソコンの伸びが鈍っているのは、ここに一因があるといえよう。

これらは電子文具化の方向だが、ネットワーク出版や映像処理といった分野にもパソコンの通信機能がフルに発揮され、便利な専用機が出現するだろう。このような傾向は、なんでもできるが中途半端になりがちなパソコンにとって脅威となる。Macのように高度なアーキテクチャを備えあらゆるニーズに応じる機種は、それだけにコストも高くなるから、たとえばワープロしかいらぬというユーザー層には、なかなか普及しない。

Macの伝統は生き残ると思うが、現在よりもユーザーを絞らなければならぬときがくるかもしれない。目下のところ、ナビゲータのイメージするのは個人の知的生産者によるパーソナル・ユースという基本線上にあるようだが、果たしてそれが揺るぎないものであるかどうか。



## 21世紀のMac

あと10年ちょっとで21世紀。これまでのところMacの未来形として提示されているのは、ラップトップ型とナレッジ・ナビゲータだが、10年後となると、その次の機種（仮にクルセーダ）ぐらいいは行っているかもしれない。すでにMacは完全に過去のものとなり、AppleGS同様、博物館入りしている。

ナビゲータは手帳型のラップトップ・ワークステーションで、オンラインによる、複数データベースのマルチ処理が可能。たぶん、ワープロから図形・統計処理、通信、スケジュール管理など、基本的ソフトがバンドルされている。光磁気ディスクドライブを標準装備しているので、ウェブスター級の辞書やブリタニカ級の百科事典が自由に使える。というのは、すでにNeXTがウェブスター辞書やシソーラス、シェイクスピア全集などを搭載しているからで、この種のバンドルが競って行われるようになろう。しかし、日本へ持って来た場合に、この種のもは何が適するだろうか。日本語環境下でのアプリケーションということになると、広辞苑や大漢和辞典ということになるわけだが、日本語に弱いMacにそんなことが可能だろうか。

実際、10年も経てば日本のパソコンもいよいよ地歩を固めてしまい、そんな手帳型ラップトップなどはさっさと模倣してしまうに相違ない。一般にナビゲータならナビゲータなりをアピールするには、それなりの強力なスペックや機能、実用性、イメージなどが必要になる。そんなことができるのだろうか。あえていうなれば、Macに一太郎ぐらいいは、移植していなければならなかったのだ。マーケティング戦略の決定的不在ということが、ジリ貧の元凶だったことを、関係者は肝に銘ずべきときなのだ。

日本でのMac普及状況を見ると、つい愚痴ばかりが先走ってしまうが、トレンドを読まなければ21世紀の予測も不可能である以上、やむを

OCTOBER  
10月演算星組製CYBERNOTEの  
来◆紀田、Mac II入手

松田純一様

取材でご返事が遅れました。まごまごしているうちに十月になってしまいました。早くMac IIも手にしたいと考えております。『MAC WORLD』の最近号に、専用モニタが入手できないとか、ビデオカード上のMOSが壊れやすいなどのトラブルが指摘されていましたが、新しい機種につきものの問題なのでしょう。

『Intelligent Life』の第二号で年賀状作成の取材があり、「謹賀新年」などの文字に栄兄の漢字を使わせていただきました。いつも重宝しております。

十月一日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日はFAXありがとうございました。

HyperCardの付属のマニュアルとは別の解説本を入手しました。この4、5cmの厚さがあるという解説本の版權をアスキーがとり、翻訳にかかっているという噂も聞かれています。確かに大変素晴らしいアプリケーションで、これを使うのは簡単ですが、



何かのシステムを作るとなるとそれ相應の十分な知識が必要となります。私などは前記の翻訳本が出ないと、ものにならないのかも知れません。

取り急ぎご連絡申し上げます。

十月二日

松田純一

松田純一様

夜分、失礼いたします。いまして『M A C L I F E』の掲載の「SuperPaint 編」を興味深く拝読しました。細かな点にまで配慮が行き届いていて、大いに参考になります。この雑誌も次号から隔月刊となるそうで心強いものがあります。巻末の広告を見ても、扱い業者は拡がっているようです。ただ、A P P I e マークの記念品を四ページにもわたって並べているのはいただけません。昔 E S D あたりでマークの入ったタイピンやマグカップを喜々として購入した思い出が蘇りますが、あの時のようなミーハーの心情はいま何処。もつともこのようなスーベニールをいまだに出すという芸当は、98 あたりには逆立ちしても無理でしょうけれど。

このところ例のナントカデーが近いということで、ある情報では今年いっぱいというのさえあり、マスコミ各社とも特集のため懸命な準備に入っており、小生にまで関連主題の書誌など依頼があります。まあ、もう少し先のことに属するでしょうが、いずれにせよ情報整理では手帳など、各種の対応が必要になるでしょうね。いずれにせ

\*スーベニール  
souvenir(仏)。もともと  
は思い出、想起、といった意味。

よ大きな影響のあることでしょう。

十月八日

紀田順一郎

紀田順一郎様

朝晩はめつきり過ぎやすくなりました。Mac IIですが、従来通りに作業を進める折りに、動かないユーティリティやDAがあり不便を感じることがあります。もともと512K時代の産物ですが、使い慣れたものたちでもあり、早くII対応のものが出てほしいものです。以前にお話しましたModernArtistは、出荷が大分遅れて十二月位になってしまいかも知れません。まあ、いつもの事ですけど、『MAC WORLD』や他のニュースを見ると、Macの周辺も一層慌ただしくなっているようですが、ユーザーの一人として対応するのに大変な思いをしなければならぬことも多くなりそうです。嬉しい反面、懐具合も大変ですね。

本日帰宅の途中に秋葉原に回ってみましたが、エプソンが今秋末に出す予定の98互換機ラップトップの問い合わせが多いようです。先のデータショーで参考出展された物の写真を見るかぎりは大変良さそうなハードのようです。願わくば真に携帯性を重視した軽量設計であってほしいと思います。

十月十四日

松田純一

松田純一様

FAX拝見しました。HyperCardは、なかなか面白いですね。クリップアートなどいろいろ使いやすい要素があつて、Macがひとときわ樂しみとなります。スケジュールや電話の機能など、案外システム手帳にも応用できるのではないかと思ひました。演算さんほどのような具合いでしょうか。過日医者への歸りに立ち寄つたのですが、お留守で逢えませんでした。ヒサゴのダンボールが山積みされていたので、慌ただしい様子は実感できませんでした。

週刊サンケイのスクープではNECとIBMが手を結んだそうですね。そうなるとうちとIBMコンパチも生まれるわけで、日本マイクロソフト系の互換機の動向にも影響が出るようになります。また噂ではNECが廉価なVMコンパチのラップトップを電撃発売する由。この冬は動きがありそうですね。

十月十六日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日友人の会社で、Mac IIの新ソフトのニュース等を集めてきました。またHyperCardに關し、実際の利用方法などをいくつか確認することができました。知れば知るほどに素晴らしいものです。と言うわけで『MACE LIFE』二号のHyperCardの記事にも紹介されておりましたDanny Goodman著『The Complete HyperCard

『Handbook』を余分に手に入れることができなかったので、本日別送させていただきます。演算星組へは、来週の月曜か火曜日でも伺ってみるつもりです。二十日の発売予定というお話でしたから、完成品を見ることが出来るかも知れません。

十月十六日

松田純一

松田純一様

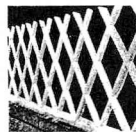
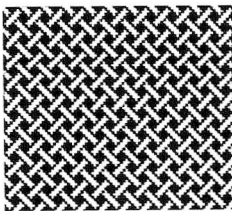
『Complete HyperCard Handbook』を拝受しました。早速Paintまわりから読み始めていますが、なかなか強化されていて使いよくなっていますね。あまり変わらないうのがPatternですが、あれはアメリカ人の好みなのでしょうか。なんだか忠臣蔵のナマコ塀のようなパターンがあつて、奇怪です。いずれにせよ、Tassoの使い勝手などはユーザーの意見を採用した結果でしょうが、他の手帳的な機能と結び付いたこともあつて、いよいよ単なるお絵かきソフトの域を脱してきたと思います。日本ではこの種の基本がややお座なりで、一挙にDTPなどと称しているのですから、不安になります。このソフトは自分なりに改造することができるのがミソのようですが、来年の日本語化が待たれます。

季節の変わり目ですが、くれぐれもご自愛ください。小生は月余一滴も飲まなかつたおかげで、ちよっぴり検査値だけは向上しました。

十月十八日

紀田順一郎

\*ナマコ塀  
生子塀、海鼠塀とも書く。方形の瓦を並べて目地を漆喰で固めたもの。江戸時代に武家の門や町家の土蔵などに盛んに用いられたが、その意匠がMacPaintの基本パターンのひとつに酷似しているのは可愛敬。(紀)



紀田順一郎様

お騒がせいたします。HyperCardもぼちぼち始めていますが、面白いのはやはりペイント回りですね。先生のご指摘のように従来のものより、かなりの機能強化が計られていて使いやすいです。ご存じのとおり漢字Talkも何とか使えますが、完全日本語化になるのであればそれに越したことはありません。とても楽しみです。

昨日それとなく演算星組へ電話してみました。やはり(?)、あと一週間位遅れるとのお話でした。ただ気になるのは、キヤノン系列のニュースでは二十一日には店頭に並ぶだろうという話があったことです。

Mac IIはいつごろお手元に入ると予定でしょうか。私のMac IIも快調に働いてくれています。40MBのハードディスクでは早くも不足気味です。従来からの馴染みのアプリケーション達にVideoWorksIIやHyperCardを加えますと、あつと言間に一杯になりそうです。友人のところでは、80MBの内蔵ハードディスクが動いています。これまた40MBのものより一、二割スピードが速いようで快適そうです。しかしこれではまったくきりがありません。Mac IIの全く素晴らしい(?)カラー関係ソフトも幾つか入手しているのですが、輸入元の営業政策上、ニュースを流すと自体禁じられていたりで消化不良気味です。

十月二十日

松田純一

\* i a s s o

Mac Paintの有用な機能の一つで投げ縄の意。図形を切り貼りするときに使うツール。類似のレクタングラーは方形のみの切り貼りだが、ラッパは不定型の選択が可能。透明重ね合わせの技法に便利。

松田純一様

ご返事が遅れてすみません。MAC IIは再来週入れようと思っております。

パソコン店のレジまわりにSTRICKERがありました。皮製のバインダもそばにあったのでとくに見てきましたが、SanAntonioなどとしているにもかかわらず、国産のようです。少なくともリフィルは国産ですね。その後STRICKER本体はある程度使ってみました。やはり機能不足のようです。あまり大仕掛でも使いにくい、もう少しソート機能などがないと、手書きよりも面倒なパソコンに頼る意味がないような気がするのですが……。しかし世のパソコンニストは、結局は知的文具といってもこの程度の把握なのでしょう。演算さんは違うと思いますけれど。

天皇関係があたりだしく、ちょっとメ切りが込んできましたので、またご連絡させていただきます。

十月二十三日

紀田順一郎

松田純一様

夜分失礼いたします。ようやくCYBER NOTEができあがったと連絡がありほっとしているところです。だいふ難産でしたが、いろいろな作例が百以上も入っているとのことで非常に楽しみです（キヤノンでは皮製のバインダをつけてMac購入者に贈呈することです）。小生も、遅くとも来週木曜日にはIIが入りそうです。

で、ハードディスクに入れて日常利用したいものと思っています。

今日は十月末日ですが、一滴も飲まなくなつてからちようど半年経過しました。検査数値は向上していますので、回復可能ではないかと思っております。

十月三十一日

紀田順一郎

NOVEMBER

11月

## HyperCard用スタックウエア入 手◆秋葉原で人気のPC-2000L

紀田順一郎様

三十一日から京都へ旅行に行つており、今帰宅したところです。ご返事が遅れ、申し訳ありませんでした。お身体の具合がかなりよろしいようで安心しました。

Macintosh IIをいよいよ入手されるとのこと、楽しみです。モニタはカラーを入手されるのでしょうか。それと、もうご承知の事と思いますが、IIを使うにはいくつか注意しなければなりません。まず漢字Talkですが、Piusと同じ物をハードディスクにコピーするだけでは不都合が多いとのこと。Twinで英版と日本語版に切り替えるときに、ハードディスクがハンクアップしてしまふようなことが起きる場合があります。IIでの使用は簡単なパッチをあてて利用す

\*Twin

日本語と英語のふたつのシステムをハードディスクに入れておいて、それらを切り替えるときに使用するユーティリティ(K.Katsu-mata氏作成のPDS)。最近では三つ以上のシステムを切り替えることが可能なSystem Switcher(キヤノン製のPDS)もよく使用される。

るのですが、購入先に確認された方がよいと思います。その「twain」ですが、新バージョンを入手しました。これは従来のように「Restart」を実行する必要がなく英版や日本語版を選択すると自動的に「Restart」をするようになっていきます。

現在入手できたカラーペイントソフトの傑作は「PixelPaint」です。この画面の一例写真が『THE COMPUTER』誌の十一月号四十四ページをご覧になってください。現在のベータバージョンは大きなバグがいくつかありますが、機能が多く非常に素晴らしいものです。

ところで先生、一太郎のVer3.0はもうお持ちですか？

十一月二日

松田純一

松田純一様

FA Xいただきました。IIは日曜日に入りまして、早速いじっております。カラーモニタにしました。増設RAMはほんの少して国産のよい製品が発売になりますので、今のところは使用しておりません。たしかに漢字「T a i k」は具合が悪く、購入先でもわからない模様です。II対応のソフトはポチポチ出ていますが、「SuperPaint」などは二、五倍という大幅値上げでアップデート版を出したようです。発表次第購入しようと思いますが、「Pixel」など新顔の方がよいかもありませんね。

一太郎3.0はまだ購入していません。今年は小生の厄年かと思えるほど多事多難で、

\*Pixel Paint  
Mac II用のペイントソフト。単  
にMacPaintをカラー化し  
たというだけでなく、グラデーシ  
ョンを容易に行ったり、水彩や木  
炭で描いたような効果を出すこと  
ができる。SuperMacSoftware  
社製。



いいことと言えばIIしかないというほどでしたので、98のソフトは全部あとまわしに  
してしまいました。

今日は多摩方面は夕方から冷えてきました。そちらはいかがでしょうか。ご旅行で  
お疲れのところをあい済みません。

十一月二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

夜分申し訳ありません。先日のFAXに書き漏らしましたが、三十日に九十九電機  
でキヤノンのバンドル用として出荷されたCYBER NOTEを見ることができま  
した。この種の手帳としては小型でスマートな作りが良いようです。ソフトの中身な  
どは確認できませんでしたが、今週か来週にでも演算さんへ伺ってみようと考えてい  
ます。

会社で使用している古いF2がとうとうダウンしましたので、自宅のM2を会社に  
入れてエプソンのPC1286を自宅に入れてみることにしました。販売店の話や雑誌  
の記事などによりますと、VXと同等のスピードで使えるようです。

十一月四日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございました。Mac IIは早くメモリ増設がしたいのですが、来

遇出る亜土版が予約満杯ですので、次回ロット（来月早々）になると思います。それよりも漢字 Excel が最新バージョンでないかと走らない点が誤算でした。Hyper は研究していますが、スケジュール管理には大変いいですね。プリント機能もレポート打ち出しなど便利です。データベースとしてはメモ的な内容のものは向きますが、横ならびのデータを打ち出すようなものはどうでしょうか。ペイント機能は優秀ですが、いまのバージョンではまだカードの大きさを拡張したり、自由にフォントを選択することができないところに制約を感じました。いずれにせよ、これは自分でプログラミングして使いこなさないと意味がないソフトですね。日本語版は明年一月に間に合わない形勢のようですが、本国では非常な廉価ソフトをどのように売るつもりか、興味あるところです。

98もいよいよ風雲急で、エプソンのラップトップなども少しパワーアップすれば購入したいと思っておりますが、まあ286のほうが無難かと思うようになっていきますので、是非ご教示ください。

十一月四日

紀田順一郎

紀田順一郎様

最近、HyperCard スタックウェアの面白いものが手に入りました。Apple 社が創立10周年を記念して関係者に配布した『SoFar』という大変立派な本があります。そ

\*『SoFar』  
Apple Computer 社が  
創立十周年を記念して同名の豪華  
な本を作り、関係者に配ったこと  
は有名である。しかしこれはその  
ごく一部を利用し、HyperC  
ardのスタックとして作成した  
もの。(松)

のディスクレット・ダイジェスト版というもので、サンプリング（Mac IIをステレオ装置に繋ぐとさらに良い音になります）音も大変素晴らしいものです。

エプソンのPC-286ですが、IOデータの2MBボードをのせて一太郎を使っていますが大変快調です。スクロール、特に横スクロール等も苦になりません。さらにカナキーやCAPSキーに赤いLEDがついているのもなかなか便利です。特にグラフィックの描画速度は速く、花子での大きなビットイメージの移動等もスムーズに動くためイライラしないうすみます。

十一月十七日

松田純一

松田純一様

FAX拝受しました。秋葉に行きましたら、駅でPC-286Lの実演をやっておりましたが、大変な人だかりで反響の大きさが実感されました。

ともあれ、日電の牙城もこれをきっかけにガタが来るのではないかと思えます。最新号の『日経パソコン』にも、日電の互換機対策についての厳しい意見が載っていますが、従来から日電擁護の声がゼロというのも考えさせられます。

外国に注文してあるソフトが近日届くので愉しみにしていますが、広告ではほとんどMac II対応の有無がわかりませんので、注文もしぶり勝ちです。

十一月二十日

紀田順一郎

紀田順一郎様

ただ今、FAXいただきました。Mac II対応のSystem5.0とMultiFinderを入手しました。Mac IIで使用しますと、デスクトップの各アイコンやバックグラウンドに色をつけることができたりで、華やかなものになります。ただこの新しいシステムは、EGWordがダメだったり、便利に使っていたSuitcase等に不都合もあり、手直しする必要がありました。新システムの本命は当然マルチタスク利用という事なのでしようが、マルチタスク対応のアプリケーションがない現在、スイッチャーの代わりとして使うこととなりますが、これはこれで便利です。

先生からのFAX（十一月十四日付）によりますと、漢字ExcelがMac IIで動かないとのこと指摘でしたが、昨日お話ししましたNewSystemおよびMac IIで動作確認できたものがありました。

十一月二十五日

松田純一

松田純一様

FAX拝見。漢字TalkのII対応版の正式発売は遅れに遅れて、二月中旬になるそうです。ExcelとHyperCardの日本語化はそれ以後ということで、いずれにせよアテにならないことお話しなりません。作動はかなりスピードアップするはずというのですが、聞けばSEもこれらもソフト適応がギクシャクしているようで、IIも含め

てボーナス期の新規ユーザーの開拓は大打撃ということですが（そうでなくともエプソンのラップトップに草木もなびいているのですから）。

目下無難なソフトを発売していますので、近く到着すると思います。ThunderScanの4.0も広告がでしたが、II対応は疑問ですので控えています。以前の版でもSystemを更新し、イメージライタだけ古いものに残せば作動しますので、不自由はありませんが。ソフトハウスといえれば最新号の『MAC WORLD』に、倒産したケースが特集されていますが、このなかで二軒ほどは小生も取引したことがある会社で、まだまだ剣呑な世界だと思えます。

十一月二十七日

紀田順一郎

紀田順一郎様

今日も大変寒い一日でしたが、お変わりありませんでしょうか。昨日 VideoWorks IIのカラーサウンドデモを試用しました。MacExpoで VideoWorks 自体は一九六ドルとかなのに、三〇〇ドルで販売していたというあれです。サウンドデータだけで3MBくらいあったと思います。サンプリング音もなかなかの迫力で、サウンドをステレオのラジカセなどに繋ぐと音の良さがさらに引き立ちます。

話は変わりますが、来年一月にサンフランシスコで開催される MacExpo のツアーに知人と一緒に申し込もうかと考えているのですが、正月休みの後にまた一週間ほど

の休みをとれるかどうかが問題です。しかし一度は是非にも見てきたいと思いますし、今回の Expo はハード・ソフトの新製品もかなり見られるのではないかと考えているのですが、どうなりますか。

十一月二十九日

松田純一

DECEMBER  
12月

FAX通信も早や二年目に突入◆松田、  
MacEXPOツアー申し込む

松田純一様

FAX拝受しました。

『MACLIFE』の演算さんの広告は、最近のペイントファイル「龍組」にも封入しているようですね。イメージで売るところがあるだけに大変です。MACLIFEといえば、新漢字Talkの広告も出ていましたが、専門辞書が加わるとかコード入力が可能とかを今ごろ売り物にしているのですから、嫌になります。ほかに外字作成が簡単とか、スク립トマネジャー環境実現なども、おそらく従来と同じものを行っているのでしょうか、外字などは実際に作ってみるとかなり厄介だと思えます。またDBASEMac日本語版の広告も出ていましたが、なかなかいいソフトにせよ、英語

\*龍組  
演算星組が龍年にちなんで一九八七年末に出した、龍の絵を集めたクリップアート集(MacPaintのファイル)。八六年末にはうさぎ、八八年末にはへびのクリップアート集を出している。干支がひとまわりしたら、十二枚組の全集になるという噂も……。

版が八万八千円なら、日本語版は倍の覚悟をしなければなりません。

先日あるパソコン店へ行ったところ、客が「結局Macは98とどう違うの」という質問をしていましたので、聞くともなしに聞いていると店員が「コマンドがアイコンで簡単に入力できることです」などと答えていました。まあ、そうには違いなし、パソコン屋さんとしては素朴な98ユーザーに対してそう答えるしかないのでしょうか、いささかがっかりでした。dBASEMacなどを操作してみれば一目瞭然なのですが、高額ソフトとしてビニールパッケージに封じこめ、飾ってあるようではダメです。

近日小生もPC-286を購入したいのですが（286Lは拡張性に乏しいので中止）、3.5インチのほうかなにかと便利ですので、Uにしようかとも思っています。販売店ではRAMディスク組込みのものをデモしているところを見られますので、いま一つピンとこないのです。あまりたいした機械でなければVにしようかと思っていますが、机上に若干スペースの余裕ができるUもそれなりの魅力があります。おついでこの節にご教示くだされば幸いです。

十二月九日

紀田順一郎

紀田順一郎様

昨日はFAXありがとうございました。おっしゃるように漢字TalkのCMを見て、私も一層AJが頼りなく感じられました。今時コード入力が可能などと、日本語

\*AJ

Apple Japanのこと。

Macのメーカーである米国

Apple社の日本法人。最近これと

よく似た名前でMac Japan

というのを耳にするが、これはM

acintoshの日本法人では

なく、ましてやMACDONAL

Dの日本法人でもない。技術評論

社が一九八九年四月十八日に

創刊するMacintosh

専門誌の名前である。

ワープロを使ったスタッフはいないのでしょいかね。

本日秋葉原へ出たついでに286UとSTDなどの比較を見てきましたが、机上のスペースはそれほど変わらないようですね。あとはメディアに対する問題というところですが、まだ5インチが主流を占めているようで何かと便利かも知れませんが、私も286STDを購入するときに3・5インチを考えなかった訳ではありませんが、Mac以外に3・5インチディスクが増えると思われるわけが分からなくなってしまうので、やめました。

本日は一月のMacExpoのツアー申し込みをしました。今回は今までになく日本市場が盛り上がっているためか(？)、あちこちのツアーでも人気は上々のようです。

追伸(ワープロで追伸というのもなんですが……) 今連絡が入った所によりますと、カラーペイント・ソフトの新種、今年の夏に私が米国で見たModernArtistが到着したそうです。なおPixelPaintの商品が予想以上に遅れています。こちらの方も愉みにしているのですが。

十二月十四日

松田純一

松田純一様

FAXありがとうございます。

286については、アドバイスをありがとうございます。『日経パソコン』を見る



と、エプソンの人気はなかなかのようですね。それにしても286—STDが二十万前後とは安いです。NECのラップトップ対応は来年五月のビジネスショー時ということですが、それまでにエプソンはデザイン改良などの対応も可能ですから、ことNECに対しては勝負あったといえるでしょう。これはNECのようなどころでも、とにかく大きな独占体となると環境の変化に身軽に対処できなくなる好例だと思います。いずれにせよ、来年は堰を切ったように互換機が溢れる見通しとなり、エプソンの敵はむしろNEC以外の互換機メーカーとなるのではないのでしょうか。

今晚も雪という予報でしたが、いま夕焼けが見えますから、明日は持ちそうです。  
十二月十四日  
紀田順一郎

紀田順一郎様

FAX拜見しました。ModernArtistを少し使い始めましたが、PixelPaintとはひと味変わったアプリケーションで面白いです。従来のPaintソフトのほとんどがMacPaintのツールやコマンド体系を踏襲した作りになっていましたが、ModernArtistは良くも悪くも今までとは違う発想で開発されたような気がします。またその名のとおり、多機能であるよりもMac IIで絵を描くことに的を絞ったという感じも受けました。機能の主な点は次のようなことになりました。

① WetCanvasを利用すると下に塗ったカラー(絵の具)がその上をなぞった他の色

と混ざり合うので、絵の具的な表現が簡単に可能。

② 3D機能を使うと立体図的な表現ができるので、レイ・トレーシング的なパターンも可能。

③ 同じく3D機能の一種を使うと、あらかじめ描いたパターンをあたかも凸レンズを通して見たような表現ができる。

④ 他のアプリケーションがその描画領域をA4の大きさに設定していますが、これはCRTより一回り大きいほどのものしか持っていません。しかしA4判の大きさがあってもSuperMACのように大型のカラースクリーンでもなければ全体の写真も撮れないのですから、この割り切り方は気持ちが良いほどだと思います。

などなどです。ファイルの互換もP I C Tに限ってはA T G イメージなども色の変化が問題なく、このModernArtist上に持ってこられますので便利でしょう。

十二月十六日

松田純一

松田純一様

F A X 拝見。Shanghaiを使っています。これは、普通のマージャンとはデザインも遊び方も違い、なかなか愉快なゲームでした。Instructionが親切で、やはりMacの長所をいかしたソフトですね。

日曜日か月曜日に、エプソンの286Vを入れます。いろいろアドバイスをいただ

\*Shanghai  
積み重ねられた麻雀牌の山から、  
同じ模様の牌を取り除いていくゲ  
ーム。牌の山が全部なくなったら  
ゲームクリアで、画面に「天晴れ」  
と表示される。

きましたので結局Vにしました。8インチも少々具合が悪くなりましたので、ちょうど代えごろです。今日取材にきたプロダクションの人も「最近はいろいろな人に太郎に98ですかと聞くと、いやエプソンですという答えが返ってきますよ」などと言っていました。日電が慌てるわけです。とりあえずお礼申しあげます。

十二月十二日

紀田順一郎

紀田順一郎様

本当に今年もわずかになってしまいました。この一週間は忘年会の連続でほとんどくたびれてしまいました。

エプソン286Vをご購入されたとのこと。先生からどのような感想を聞けるかを楽しみにしています。ところでRAMカードは増設なさるのでしょうか。

話は違いますが、先生からFAXをいただいたFAXの記録をパラパラと読み返しております。八十五年の十一月二十五日に、先生に初めてFAXをお送りして以来、早いものでまる二年になってしまいました。たった二年間とはいえ、時代の動きに考えさせられるものがあります。ところでこのFAXですが、NIFTY-Serviceがこのほど試験的に始めたFAXサービスを利用して送信しました。相手のGIII機(A4判)に限り一枚百円で送信できるというものですが、パソコンからの直接送信のため、文字の品位が良いようです。問題がなければ良いのですが、いかがでしょうか。

本年も大変お世話になりましたこと、心から感謝申し上げます。

十二月二十九日

松田純一

松田純一様

NI FTY - S e r v e の F A X いただきました。ほんの五分ほどまえに、もう一人の方から同配信サービスのものをいただいたばかりで、文字の綺麗なのに感じいていたところです。

小生今年健康のため忘年会やパーティーはきっぱり欠席しましたので、例年より快適です。逆に多少無理しても出たいというような会は、円高不況のせいか今年は中止で複雑な気持です。あまり何も無いのは寂しいものです。小生の仕事は円高などには直接関係はないのですが、やはり不況一般が書肆の営業を制肘するのは当然で、それが結果として企画の幅を狭めるので、やりにくくなりそうです。

『日経パソコン』最新号六十六ページに Reflex Plus のことがちよつと出てますが、たしかにこのソフトは評判がよく、DBASEMac をも凌ぐものがあるようですので、近々取り寄せてみようかと思っています。ただ、DBASE は本格的な発売が遅れたので、まだ評判が出ていないという面があるようで、『M A C W O R L D』新年号のニュース欄ではなかなか好意的なようですが。

今年はいろいろお世話になりました。小生の方はぎりぎりまで〆切りや雑件に追わ

\* Reflex Plus  
Turbo Pascal、Tur  
bo C で有名な Borland 社のリ  
レーショナルデータベース。デー  
タの関連づけをビジュアルな操作  
で行える。

れそうです。来年は五日から定例の週刊誌仕事というわけで、ゆっくりMacもさわってられないかもしれません。どうかよいお年をお迎えください。

十二月三十日

紀田順一郎

紀田順一郎様

FAX、ご多忙のところありがとうございます。すぐにご返事をおもったのですが、二十七日に女房が鬼の何とかか、三十九度四分ほどの熱と全身に発疹が出てしまい、一時はどうなるやら、救急車でも呼ぼうなどと考えたくらいで一睡もできませんでした。翌日医師の話ですと、別の医者にもらった風邪薬のアレルギーと分かりました。薬アレルギーを抑えるのにまた薬を沢山持たされたのには、素人ながら釈然としないものがありました。それやこれやでご返事が遅れ、申し訳ありませんでした。

先生のFAXではありませんが円高に行き着く先が大いに不安な昨今でもあり、事実私の会社なども大きな打撃を受けています。しかし相変わらずこういった問題をぶつける場も時間も無い弱小企業ゆえ、手のほどこしようもありません。

それはともかく、年が明け、小生FAXから帰った後でも先生のご都合がよろしければ、例の山の上ホテルあたりで酒抜きの新年会でも一緒にさせていただきますでしょうか。お元気で良い新年をお迎えください。

十二月三十日

松田純一

●松田純一

解を深めていくべきだろう。それが私たち自身のためになることはもちろん、Apple社をしてなお、一層素晴らしいハードウェアを生み出させる間接的な原動力になるに違いない。

世に出てくるハード・ソフトの動向は、私たちユーザーの一人一人の意識の中から生まれてくるような気がする昨今である。



## Macintosh IIとカラー動向

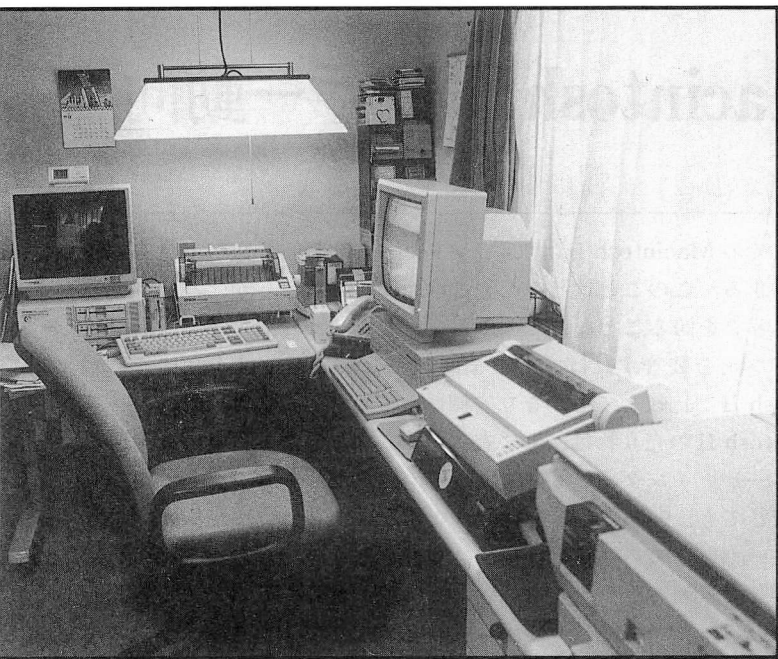
現時点での Macintosh II は、24ビットカード装着時で1670万色を同時に表示できる。このことはどなたもご承知のことだろうが、パソコンでこのスペックを誇るなどできやしない。なぜならあの98でも、フレームバッファを装着すればすぐさま同じことができるばかりでなく、Macintosh II と比較してもかなり安価に実現可能であるからだ。

Macintosh II の売り物は、単に表示色の多さではなく、その使用感にある。ユーザーインターフェースにあるのだ。だからグラフィックソフトを比較しても、98のそれとは比較にならないくらいにフレキシブルで使いやすい。単体のアプリケーションでもそうなのだから、これらをシステムとして考えると、その違いは大幅に差が出てくることになる。

DTP しかり、プレゼンテーション利用しかりである。あるグラフィックソフトを駆使して作成したデータを、他のアプリケーションなどを經由してひとつの作品を作り出すことを想定すると、Macintosh の右に出るパソコンはない。

エプソンの GT-4000 というカラースキャナを、Macintosh II で使用できるようにした日本製ソフト、ColorMagician II とカラービデオデジタイザの ProViz などの、カラーインプット機器。PixelPaint、Studio 8、GraphistPaint II などといった、強力なカラーグラフィックアプリケーション兼編集まわりのソフトたち。そして出力としての4色分解サポート、フィルムレコーダそしてレーザーライタ、カラープリンタなどを連動したら、どんなに素晴らしいものが生まれてくるかを想像すると、胸の高鳴る思いがするのは私だけではあるまい。

こうしたソフトを含めた機器の動向に、私たちユーザーはどのような対処の仕方を考えるべきなのだろうか。これらのソフト・ハードを十分に使いこなすことはもちろんだが、そうした流れの中の一員、自分も流れに参加している一員であることを大いに自覚して、ユーザー相互の理



## ●紀田順一郎のパソコンルーム

書斎は約13畳。書き物机や書棚を配置した書斎部分と、パソコンやプリンタなどのOA機器用のコーナーがある。

OAコーナーにはMacintosh II、PC1286V、286LE、プリンタ(VP500、イメージライタII)、コピー機(キヤノンのミニコピアPC125)、ファックス(東芝のコピックスTF250)などが並んでいる。

防災、防音、空調、暖房、耐重などの基本的な居住性に費用をかけているのが特徴。

中間にある引扉を閉ざせば、書斎と、OAコーナーとが完全に遮断され、古書とクラシック音楽だけの世界となるのがミソ。なお、白い壁紙は映写幕を兼ねるように設計されている。

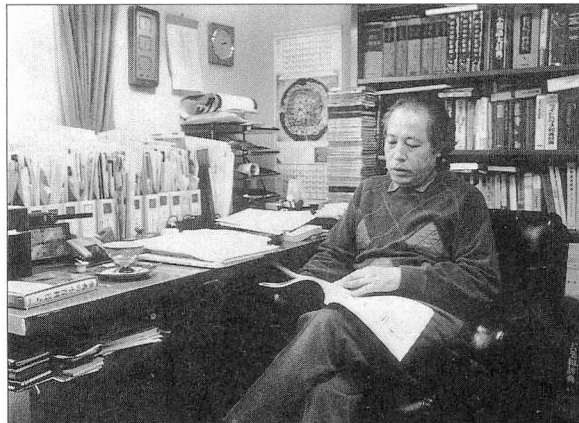


# たい 視 が 部 集 編

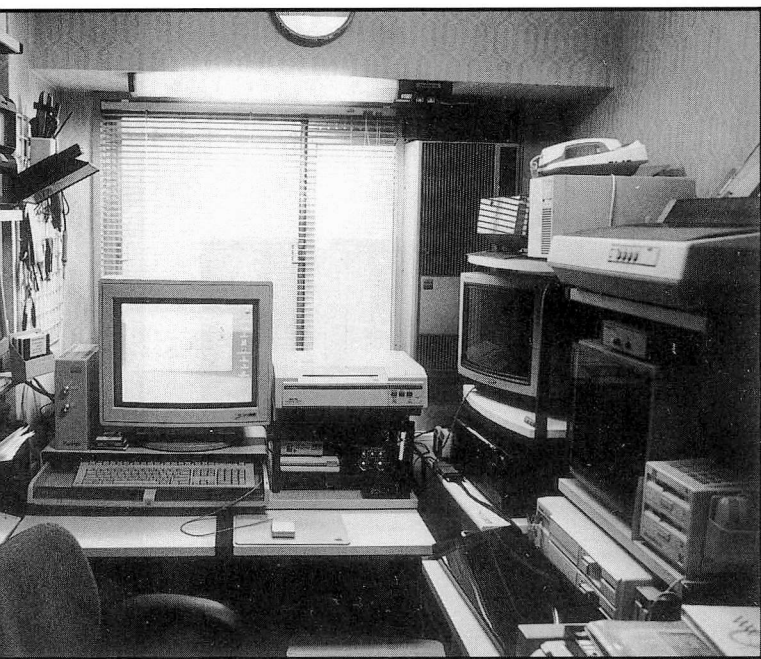
紀田&松田の

パ  
ソ  
コ  
ン  
ル  
ー  
ム

▼目的別に整理されたファイルが並ぶ机の前で「All That Macintosh」を読む紀田。



◀パソコンルームより書斎を眺める。中間にある引扉を閉めると、二部屋が完全に分かれるようになってくる。



## ●松田純一のパソコンルーム

約6畳の部屋にパソコン四台、プリンタ、イメージスキャナ、ビデオデジタイザ、ビデオ入力用カメラスタンド、ビデオデッキ、モデム、ファクシミリ、コピー機などのマシンがところ狭しと並んでいる。

パソコンは、Macintosh II、Macintosh Plus、PC-9801VM21、PC-286。プリンタは、イメージライタII、NECのNM-9950。イメージスキャナは、エプソンのGT-3000、GT-4000、PC-IN502、MacScanなど。

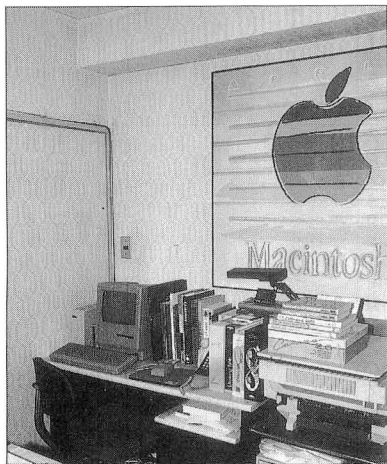
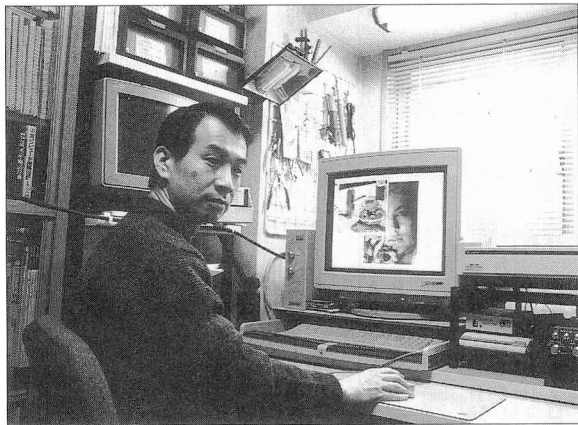
なお、ファックスはPanafax UF-12、コピー機はキヤノンのPC-25を使用している。

# たい 視 が 部 集 編

紀田&松田の

パ  
ソ  
コ  
ン  
ル  
ー  
ム

▼Mac IIと19インチカラーモニタ(Super Mac)上でグラフィックソフトを操る松田。



◀グレーのMac Plusは、本体、キーボード、マウス共にミカゲ右調の特殊ペインティングをほどしたものだ。壁には、アンディ・ウォーホルのポスターが。

Mac年表

年	Macの周辺	紀田順一郎の周辺	松田純一の周辺
一九七七			十二月 ワンボードマイコンLINKIT 8購入
一九七八			十二月 コモドール社製PET2001購入
一九七九	インベーダーゲーム大流行		
一九八〇	世界最初の表計算ソフトVisiCalc誕生		
一九八一	八月 Apple IIIアナウンス	七月 新宿伊勢丹文具売場でカシオ製パソコンを見、初めてパソコンに興味を抱く 十月 ニジエール出張の義弟よりApple IIを借り、パソコンの世界に入る	
一九八二		四月 Apple II J Plus 購入 十月 PC18801購入	六月 Apple II コンパチ機購入 九月 Apple II 用ビデオ入力装置入手 十二月 Apple II J Plus 購入
一九八三		四月 Apple II 購入 十二月 IBM5550購入	三月 Apple II 購入 十一月 NEC PC1100購入
一九八四		一月 Apple IIc 購入 二月 最初のワープロ執筆書「オンラインの黄昏」(三一書房刊) 四月 Macintosh 購入	八月 IBM5550導入 十月 Macintosh 購入 十二月 MicronEyeを直輸入
一九八五	二月 512KBのMacリリース	五月 「ワープロ書斎生活術」(双葉社刊) 七月 PC19801E購入 八月 KTBレジャーマップ他、パソコン通信参加	二月 Mac Vision 購入 五月 ThunderScan直輸入 八月 NEC PC19801F2購入 九月 モデム電話購入 十二月 日本語ワープロ太郎購入 0購入

<p>一九八六 五月 Macintosh Plus リリース</p> <p>六月 漢字Talk II リリース</p> <p>七月 日本初Mac 専門誌「MACワールド」誌創刊</p>	<p>一月 O A 書齋竣工</p> <p>三月 日本機械工業連合会調査研究発表 (情報のパーソナル化と電子出版)</p> <p>五月 日刊工業記念パネル参加 (パソコンの未来)</p> <p>六月 シャープ書院購入</p> <p>七月 アップルコンベンション参加</p> <p>十月 M D B 加入</p> <p>十一月 川崎産業図書館講演「ネットワーク社会の到来」</p> <p>十二月 「パソコン宇宙の博物誌」(河出書房刊)</p>	<p>二月 P C i 9 8 0 1 V M 2 購入 七月十九日〜二十日 我が国初のアップル・コンベンション開催</p>	<p>一九八七 二月 Macintosh SE、Macintosh II 発表</p> <p>八月 ポストンでの MacWorld Expo で、HyperCard がデビュー</p>	<p>五月 アスキーネット加入</p> <p>九月 「ワープロ現学」(共著、日本ソフトバンク刊)</p> <p>十月 Macintosh II 購入</p> <p>十二月 P C i 2 8 6 V 購入</p>	<p>一月 「入門マッキントッシュ」(共著、日本実業出版社刊)</p> <p>四月 N I F T Y S e r v e の C G F オールラムシスオベ業務開始</p> <p>六月 「キーブックス図形処理名人花子」(技術評論社刊)</p> <p>七月 ロサンゼルスで開催された C G ショー「SIGGRAPH'87」に参加</p> <p>八月 Macintosh II 購入</p> <p>九月 「図形処理名人花子の事例集」(技術評論社刊)</p>	<p>一九八八 二月 漢字Talk III リリース</p> <p>三月 フロントエンドプロセッサ Turbo II リリース</p> <p>九月 P C V A N にコンピュータビルスが...の記事が朝日新聞十四日朝刊第一面に載る</p> <p>Macintosh II X 発表</p> <p>フロントエンドプロセッサ Mac V J E リリース</p>	<p>四月 オリベッティ講演(現代のメディアと出版企画)</p> <p>五月 日本出版学会講演(体験的 O A 書齋論)</p> <p>五月 パソコン協会講演(パソコンへのユーザからの提言)</p> <p>七月 日本電子工業振興協会講演(文筆家より見たるコンピュータ像)</p> <p>十一月 浦安図書館講演(情報ネットワーク社会と図書館)</p>	<p>一月 サンフランシスコの MacWorld Expo に参加</p> <p>二月 Super MAC 19 インチモニタ購入</p> <p>五月 MacPaint 3.0 が届く</p> <p>十月 「Let's シルエット」(丸善刊)</p>
--	--	--	--	--	--	---	--	---

## ■あとかき

本書の企画はひよんなことから私の思い付きでスタートしたのですが、当初はFAXの原稿そのものがあるのだから、編集には大した苦勞はしないだろうとタカをくくっていました。しかし予想に反して大変手間のかかる作業になってしまい、紀田先生をはじめ技術評論社にもおおいにお手数をおかけることになりました。冷静に考えればそれも当然なこと、まったく個人レベルの私信を多くの方の目に触れるようにするので、それ相応の神経は使わなければなりません。

実際のFAX通信記録には、実在のパソコンショップや互いの知人の実名などが、本書に掲載されている以上に飛び交っているので、良くも悪くもそのままにするわけにはいきません。また量的にも原文は本書の五倍以上のボリュームがあり、どの文章を削ってどれを生かすかという単純な作業にも、時間がかかってしまいました。そのような理由で本書には消化不良のところも多々ありますが、Macの事情に詳しい読者の方々がご覧になればお察しいただけるものと思います。また噂で右往左往したり、勘違いや間違いをしておかしている箇所もありますが、基本的には当時の原文のまま載せましたので、ご了承ください。

本書はもともと、FAXという新しい意思疎通の媒体を使った紀田先生と私の交信の楽しさ、有用さをアピールする意図から生まれましたが、内容をあらためて見てみると、Macの話題がほとんどなのに我ながら驚きました。そして企画が進行するにしたがい、交遊録主体のものから、Macの本という色合いが濃くなり、ご覧のような仕上りのものとなりました。

この交信は現在でもなお続いています、それも話題の内容がMac中心だからこそ、そして評論家としてのご多忙の日々の傍ら、返事をまめにお送りくださった紀田先生のご理解があつてこそこれまで続いてきたのでしょう。

最後に、面倒な企画を推進進行してくださった技術評論社の加藤博部長、そしておおいにお手数をおかけしました担当の大塚葉さんに、改めてお礼を申し上げます。

## ■ 著者略歴

・紀田順一郎 (1935～)

1935年神奈川県に生まれる。商社勤務を経て、1965年より評論家として独立。日本ペンクラブ、日本文芸家協会、日本出版学会に所属し、書誌、情報論、近代史などを専攻する評論活動を行っている。著書に「文庫の整理学」(講談社)、「ワープロ書齋生活術」(双葉社)、「パソコン宇宙の博物誌」(河出書房)など。

・松田純一 (1948～)

1948年東京に生まれる。光進ケミー(株)の取締役ならびに情報企画室長を兼任。著書に「凶形処理名人花子」(技術評論社)、「Let's シルエット」(丸善)、「一夜漬 Z'sSTAFF Kid98」(ラジオ技術社)など。

## MAC の達人

—— 紀田 & 松田の FAX 交遊録

---

平成元年 1 月 25 日 初版 第 1 刷発行

著者 紀田順一郎・松田純一  
発行者 片岡 巖  
発行所 株式会社技術評論社  
東京都千代田区九段南2-4-13

電話 03(262)9351 営業部  
03(262)7671 編集部

印刷/製本 凸版印刷株式会社

---

定価はカバーに表示してあります。

本書の一部または全部を著作権法の定める  
範囲を超え、無断で複写、複製、転載する  
ことを禁じます。

---

©1989 紀田順一郎・松田純一

ISBN4-87408-989-5 C3055

